

# 1986～1987年冬期の降積雪に伴う被害

五十嵐 高 志\* 宮 本 誠\*\*

国立防災科学技術センター

## Snow Damage in Winter of 1986/87

By

Takashi Ikarashi and Makoto Miyamoto

*National Research Center for Disaster Prevention,*

### Abstract

Data of snow damage in a winter of 1986/87 were collected from articles of newspapers to make actual snow damage conditions clear.

Those reached 396 articles in which held about two thousand cases of snow damage occurred in 32 prefectures including Tokyo and Hokkaido.

Casualties were reported in 1,493 cases; 104 persons were killed and 737 persons were wounded. In detail, 43 drivers were killed in traffic accidents due to slipping of cars and 10 mountaineers were frozen to death, and 462 persons were wounded in traffic accidents due to slipping of cars, 216 pedestrians were wounded in tumbling down on slippery, freezed or snowy roads.

The number of snow damage to buildings and facilities was small in number. However, the damage to electric power lines and facilities and to railways had a great influence on daily life for many people in wide areas.

The snow damage period was mainly from the first of January to the first of March.

This period corresponds to the heavy snowfall season; in this period, Japanese archipelago was covered with cold air, and the air temperature at the 700 mb surface above Wajima in Ishikawa prefecture was lowered to about  $-20^{\circ}\text{C}$ . Particularly during snowfalls, snow damage occurred frequently.

---

\*\* 長岡雪氷防災実験研究所

\*\* 管理部企画課資料調査室

## 目 次

|                            |    |                       |    |
|----------------------------|----|-----------------------|----|
| 1. はじめに .....              | 2  | 4.3.5 教育関係の被害 .....   | 13 |
| 2. 1986～1987年冬期の気象概況 ..... | 2  | 4.3.6 その他の被害 .....    | 14 |
| 2.1 全国の気象概況 .....          | 2  | 5. 雪崩災害現地調査および        |    |
| 2.2 今冬の降積雪の特徴 .....        | 4  | 積雪の断面観測 .....         | 14 |
| 3. 調査期間・調査方法 .....         | 6  | 5.1 観測の方法 .....       | 15 |
| 4. 調査結果 .....              | 6  | 5.2 使用計測器・道具 .....    | 15 |
| 4.1 降積雪に伴う被害記事一覧 .....     | 6  | 5.3 観測の順序と観測項目 .....  | 16 |
| 4.2 被害の発生分布 .....          | 6  | 5.4 積雪断面観測結果 .....    | 17 |
| 4.3. 被害の内容 .....           | 7  | 6. おわりに .....         | 29 |
| 4.3.1 人的被害 .....           | 7  | 参考文献 .....            | 29 |
| 4.3.2 路上での被害・道路の被害 .....   | 10 | 付図 天気図と気象概況 .....     | 30 |
| 4.3.3 鉄道の被害 .....          | 12 | 付表 降積雪に伴う被害記事一覧 ..... | 44 |
| 4.3.4 航空・船舶・路線バスの被害 .....  | 12 |                       |    |

## 1. はじめに

1986年から1987年の冬期（以下今冬という）の降積雪に伴う被害を、新聞記事から収集して、被害の実態と特徴をまとめたので報告する。

降積雪に伴う被害の発生は、新聞に掲載された記事の収集によると、32都道県で2,000件を超えている。これらの被害は、都市や集落内を始め、交通機関などに関連した道路、鉄道、空港、海上や港、電気や通信施設、水道施設、レジャー施設、農地や農業施設、森林や果樹園などである。これらの多くの人々が活動している生活圏で降積雪に伴う被害が発生するため、通常の世界生活が阻害され、人命が奪われ、あるいは生産活動の鈍化となって表れるなど、さまざまな影響がもたらされている。

## 2. 1986～1987年冬期の気象概況

日本気象協会提供の1986年11月1日から1987年4月30日までの、毎日午前9時の天気図と気象概況を巻末に付図として示した。以下の気象概況は、日本気象協会提供資料および新潟県気象月報に基づいて述べる。

## 2.1. 全国の気象概況

日本列島の今冬は、10月から11月に時々冬型の気圧配置が現れたために、各地で初雪が平年より早めとなった。

11月上旬は、気圧の谷の接近や寒冷前線の通過などで冬型の気圧配置となり、北海道や東北地方に降雪があったが、周期的に高気圧に覆われて、晴天や曇りの日があり、降水量は少なかった。

中旬は、冬型の気圧配置が強まり、強い季節風が吹いて、しぐれる日が続いたが、高気圧に覆われて晴天の日もあった。各地の気温は平年より低く経過したが、降水量は平年並みで

あった。

下旬は、前半に高気圧に覆われて晴れたが、その後は冬型の気圧配置が強まって、各地に降雪があり、平年より1～7日早い初雪が観測された。また、気温も各地とも低目に経過した。

12月の上・中旬は、3～4日周期で低気圧が次々と本州付近を通過して、雨の日が多かったが、低気圧の通過後は、大陸の高気圧が移動性となって本州付近を覆い、周期的な天気変化で初冬らしくない温暖な日があった。

下旬は、前半で冬型の気圧配置が弱かったが、後半には冬型の気圧配置が強まり各地に降雪があった。

12月の全般的な天候としては、低気圧の通過に伴う季節風が、上・中・下各旬とも吹き荒れ、強風による被害の発生した地域もあったが、気温は平年並み、降雪は少な目に推移した。

1月の上旬は、本州付近を低気圧が通った後、冬型の気圧配置となったが、長続きしなかった。しかし、旬末に非常に強い寒気が日本の上空に入り、冬型の気圧配置が強まり大雪が降った。気温は平年値よりやや低く、降水量は各地とも平年並みであった。

中旬は、旬初めと終りに冬型の気圧配置が強まり、気温が下り冷え込みが厳しかった。旬初めには季節風が吹き荒れ、各航路の船舶に欠航便が続出するなどの被害があった。旬中頃は冬型の気圧配置が緩んで温暖な陽気であった。降雪は旬末には各地とも平年値近くに達した。気温は各地とも平年並み、降水量は平年値よりやや少なかった。

下旬は、中頃および旬末に強い冬型の気圧配置となり、各地に一時的な大雪が降った。月平均気温は、北日本で平年より1℃ぐらい低く、その他の地域は高く暖冬ぎみに経過した。降水量は各地とも平年値よりやや少な目であった。

2月の上旬は、冬型の気圧配置が次第に緩み、後半は晴れる日が多く、暖かな4月上旬並みの陽気となった。旬の気温は各地とも平年値より1℃前後高く、降水量は少なかった。

中旬は、中頃と終り頃に冬型の気圧配置が強まって、東北地方と北陸地方を中心に降雪が続いた。気温は旬初めはかなり高かったが、旬平均では平年並み、降水量はやや多く、日照は少なかった。

下旬は、移動性高気圧に覆われ、晴れる日が多かったが、降半は強い冬型の気圧配置となり、低気圧が北海道の東海上で猛烈に発達し、強い風雪模様の天気が続いた。月平均気温は、北日本で平年並みか1℃ぐらい低くなったが、その他の各地は逆に1℃ぐらい高くなった。日照は各地とも平年より多くなり、降水量は少な目となった。

3月は上旬の初めと中頃に、かなり強い冬型の気圧配置が現れ、降雪が続いたため、各地で今冬の最深積雪を観測し、積雪の深さも平年値に達した所が多くなった。

中・下旬は、高気圧と低気圧が交互に通過して、天気は周期的に変わり、春らしい天気が続いた。多雪地帯では融雪水による洪水や雪崩が発生した。月平均気温は、大平洋側で1℃前

後高くなったが、その他の各地はほぼ平年並みであった。

4月 は、上旬の初めに冷たい大陸の高気圧に覆われ、気温は平年値を大幅に下回る低温で、各地に雪も降ったが、その後は高気圧と低気圧が交互に通過して、天気は周期的に変わり暖かくなった。

中旬は、前半では厳しい寒の戻りで記録的な寒さとなり、各地に遅い降雪があったが、後半は逆に初夏の陽気となり、寒暖の差が非常に大きかった。

下旬は、移動性高気圧に覆われ、晴れて暖かく、日本海側では旬初めに各地でフェーン現象となって、30℃を越す記録的な暑さとなった所があった。旬半ばは寒気の南下で平年を大幅に下回る低温の日が2～3日続いた。

月平均気温は平年並み、日照時間は平年より20%ぐらい各地で多かった。降水量は平年の半分と少なく、空気の乾燥した状態が続いたため、山火事や火災が多発した。

## 2.2 今冬の降積雪の特徴

今冬の降積雪の特徴を表す一つの目安として、石川県の輪島の上空700 mbの毎日午前9時の温度と、各地で発生した降積雪に伴う被害の日発生件数を図1に示した。また、図1の寒波の上側に、特に降雪の中心となった地域を対応されて示した。輪島の上空700mbの温度が、-20℃前後になった時を寒波の目安と考え、図1からもわかるように、1月中の小周期の寒波を長期的な1回の寒波とみなすと、今冬の寒波は5回あった。これらの寒波と対応して、各地に降雪があり、積雪も降雪のたびに増加した。

今冬の積雪の量は、各地とも平年値前後で推移したが、東北地方南部から北陸地方では、少雪となった所が多かった。しかし、特に東京で雪の降った日数は12日(回)で、平年の6.7日(回)を大きく上回ったのも、今冬の特徴の一つである。

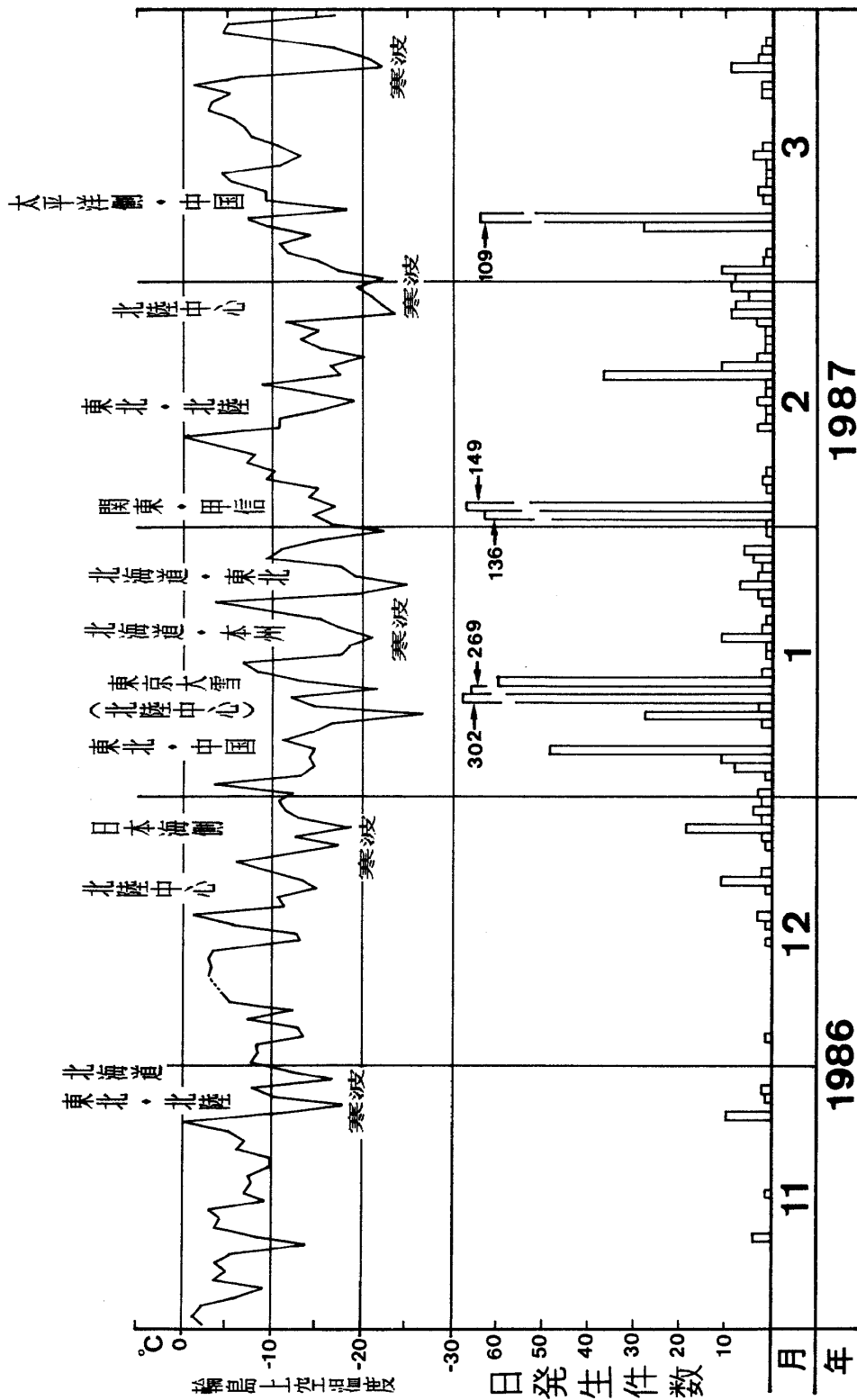


図1 石川県輪島上空の700mbの温度、寒波、被害の日発生件数

### 3. 調査期間・調査方法

調査期間は、昭和61年11月10日から昭和62年5月31日までとした。

調査方法は、新聞に掲載された降積雪、吹雪、雪崩、凍結、結氷、融雪水などに伴う被害記事を、朝日新聞<sup>\*</sup>、毎日新聞<sup>\*</sup>、読売新聞<sup>\*\*\*</sup>、日本経済新聞<sup>\*\*\*</sup>、の各朝夕刊、新潟日報<sup>\*\*</sup>、中国新聞<sup>\*\*\*</sup>の各朝夕刊、茨城新聞<sup>\*\*\*</sup>、日本海新聞<sup>\*\*\*</sup>、山陰中央新報<sup>\*\*\*</sup>、日刊工業新聞<sup>\*</sup>から収集した。

また、雪崩災害現地および降積雪に伴う被害の発生地域で、現地調査および積雪の断面観測を行った。これらの調査内容および観測結果については、5の雪崩災害現地調査および積雪の断面観測で述べる。

### 4. 調査結果

#### 4.1 降積雪に伴う被害記事一覧

新聞から収集した資料を、1986～1987年冬期の降積雪に伴う記事一覧として、巻末に付表として示した。数紙に掲載された同一内容の記事については、情報の多い新聞記事を付表に収録した。

付表は、新聞から得た積雪地域の被害や行政機関等の被害への対応や処理などを、発生日順に整理して、記事の内容がわかるように、発生日の下に簡単な事項を示してある。また、発生場所の下に掲載新聞名、月日、頁などの出典を示した。新聞名については、新聞名の頭文字1字で示してある。例えば、新聞名の「日」は、日本海新聞を指す。これは、日本経済新聞、日本工業新聞、日刊工業新聞の記事が、他紙に掲載されていて、付表に収録されなかったためである。

#### 4.2 被害の発生分布

1986～1987年冬期に、新聞に掲載された降積雪に伴う被害記事を、都道府県別に集計して表1および図2に示した。表1および図2でもわかるように、北海道、東北地方、北陸地方、関東地方、山陽・山陰地方、九州と広い地域の32都道県で被害が発生している。

---

\* 管理部企画課資料調査室および雪害実験研究所第1研究室の両方で収集した。前者は茨城県つくば市天王台地域で配達されている新聞（夕刊を含む）、また、後者は新潟県長岡市地域で配達されている新聞である。

\*\* 雪害実験研究所第1研究室で収集。

\*\*\* 管理部企画課資料調査室で収集。

表1 収集した新聞に掲載された記事の都道県別数

| 都道県名 | 収集記事数 | 都道県名 | 収集記事数 | 都道県名 | 収集記事数 |
|------|-------|------|-------|------|-------|
| 北海道  | 6     | 東京   | 48    | 愛知   | 3     |
| 青森   | 3     | 千葉   | 8     | 三重   | 1     |
| 岩手   | 7     | 神奈川  | 8     | 滋賀   | 3     |
| 宮城   | 3     | 新潟   | 152   | 兵庫   | 3     |
| 秋田   | 4     | 富山   | 4     | 鳥取   | 22    |
| 山形   | 2     | 石川   | 1     | 島根   | 9     |
| 福島   | 7     | 福井   | 2     | 岡山   | 1     |
| 茨城   | 19    | 山梨   | 2     | 広島   | 23    |
| 群馬   | 5     | 長野   | 26    | 山口   | 6     |
| 栃木   | 3     | 岐阜   | 9     | 大分   | 1     |
| 埼玉   | 3     | 静岡   | 2     | 合計   | 396   |

#### 4.3 被害の内容

生活圏における降積雪に伴う被害は、多岐にわたっている。以下に今冬の被害の内容について述べる。

##### 4.3.1 人的被害

降積雪に伴う人的被害の原因別死者・負傷者（人）を表2および図3，図4に示した。

人的被害は表2に示したような、多くの人々が生活している身近な所で発生している。

人的被害のあった件数は、1493件、死者104人、負傷者737人であった。表2で明らかに、路上での人的被害が最も多く、その中では走行中の車両のスリップ事故、歩行者の転倒によるものが圧倒的に多い。

また、図3および図4でも明らかのように、走行中の車両のスリップ事故による死者、負傷者とも、それぞれ全体の41.4%、62.7%と第1位になっている。死者の第2位は、登山者の山での凍死や歩行者の吹雪などによる凍死が16.3%、負傷者の第2位は、歩行者の転倒が29.3%となっている。

一方、屋根の雪下ろし作業中の転落による死傷、河川や用水路、側溝、流雪溝などへの排雪中や歩行中の転落死亡事故も増えて来ている。

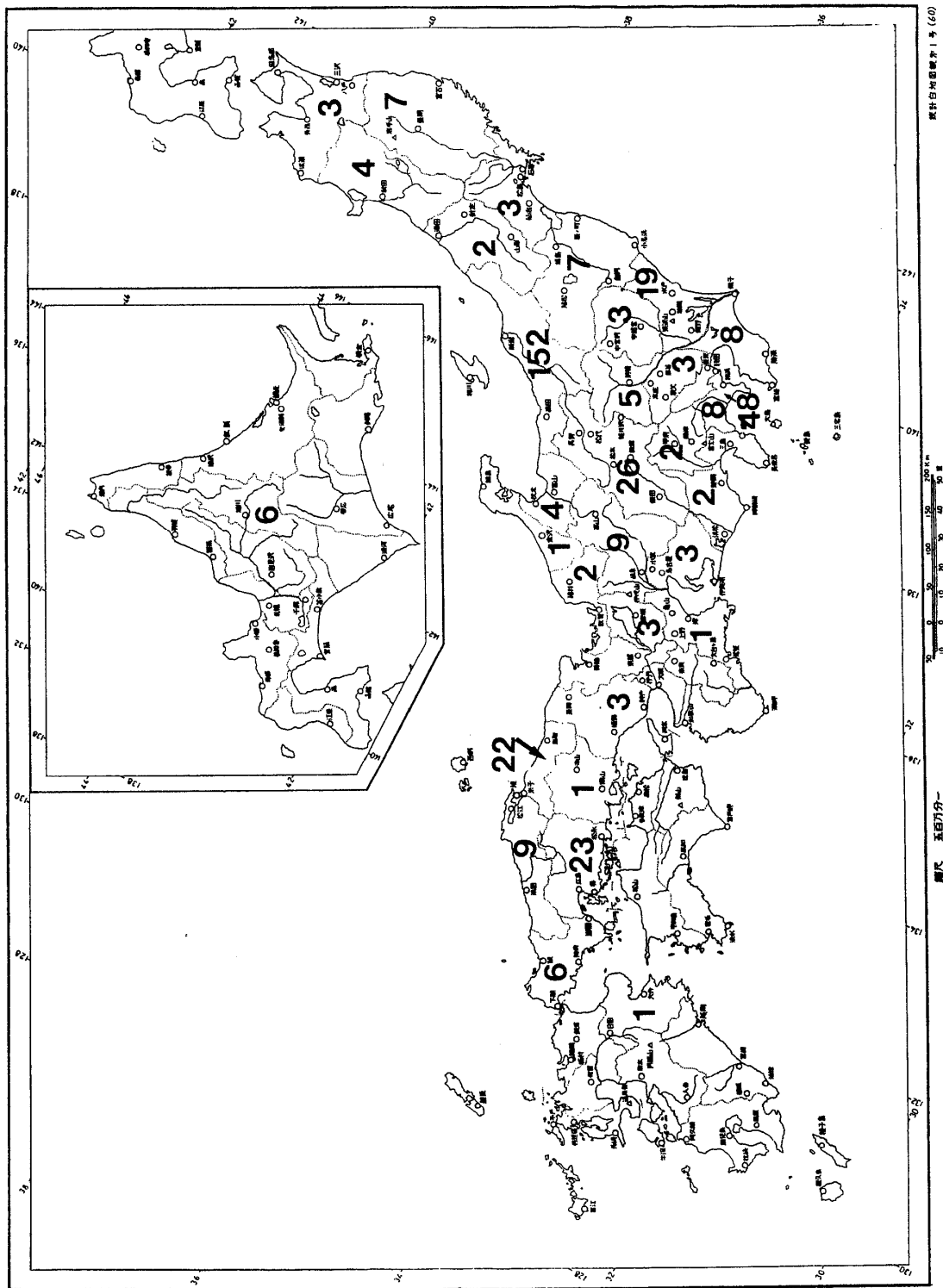


図2 1986～1987年冬の降積雪に伴う被害の発生都道県  
(収集した新聞の記事数を示した)

表2 降積雪による原因別死者・負傷者数（人）

| 被害の種別            |         | 件数    | 死者  | 負傷者 |
|------------------|---------|-------|-----|-----|
| 雪崩               | 作業中，その他 | 5     | 3   | 6   |
|                  | 登山者     | 3     | 3   | 2   |
| 雪下ろし中に転落         |         | 20    | 3   | 17  |
| 河川，用水路，側溝，流雪溝    |         | 13    | 7   | 0   |
| 除雪作業中            |         | 5     | 2   | 3   |
| 歩行者の転倒など         |         | 264   | 3   | 216 |
| 車両のスリップ事故        |         | 1,124 | 43  | 462 |
| 視界悪化（吹雪，降雪，積雪）   |         | 5     | 2   | 3   |
| 列車に關した事故         |         | 7     | 2   | 4   |
| スキーヤー，スキー授業，スキー場 |         | 8     | 3   | 6   |
| 火災，ガス爆発          |         | 5     | 5   | 0   |
| 凍死               | 道路その他   | 7     | 7   | 0   |
|                  | 登山者（凍傷） | 7     | 10  | （3） |
| 滑落（登山者）          |         | 19    | 10  | 15  |
| その他              |         | 1     | 1   | 0   |
| 合 計              |         | 1,483 | 104 | 737 |

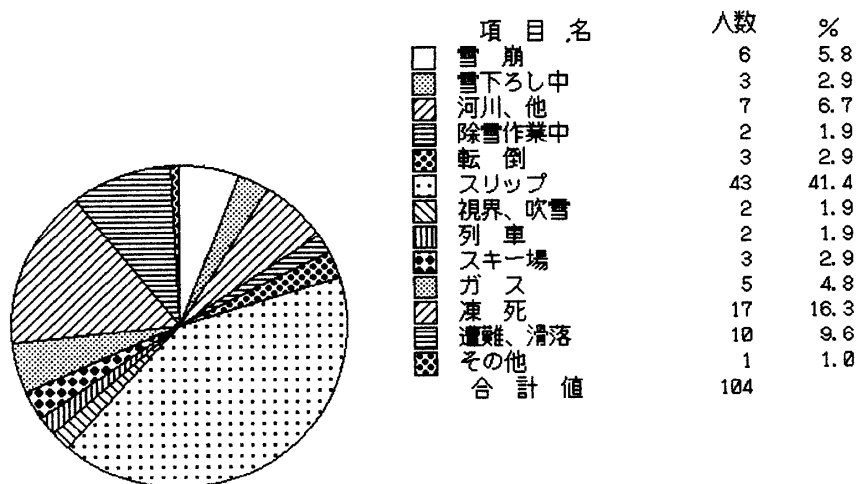


図3 降積雪に伴う原因別死者

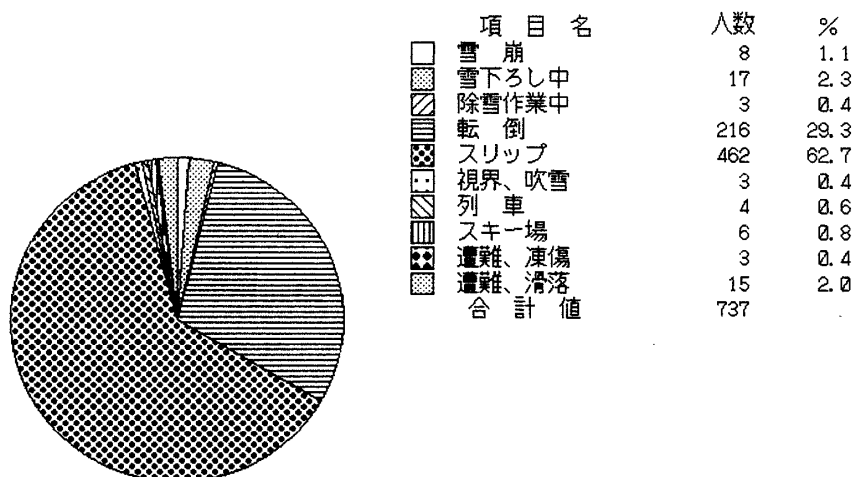


図4 降積雪に伴う原因別負傷者

#### 4.3.2 路上での被害・道路の被害

都道県別の車両のスリップ事故発生状況とスリップ事故による人的被害を表3に、また、降積雪に伴う道路の被害を表4に示した。

都道県別の車両のスリップ事故発生件数は、表3でも明らかのように、関東地方、山陽・山陰地方で多くなっている。

降積雪に伴う道路の被害は、融雪水などによる道路の欠壊、雪崩などによる道路施設の損壊がある。

高速道路では降雪や積雪、路面圧雪、路面凍結などの自然条件で、速度規制やチェーン規制（車両のタイヤにチェーンを着けて走行することを義務付けること）、通行止め、道路閉鎖などの規制が実施される。このため、車両の通行が出来なくなり、高速道路の機能が低下する被害と、走行中の車両が事故を起し、雪のため事故が大規模化し、負傷者の救出や事故処理が終るまでの道路閉鎖などの規制で、高速道路の機能が低下する被害が起きている。両者の規制時間は、数時間から数10時間である。

一方、一般道路での被害は、降雪や積雪、雪崩、土砂崩れ、高波や強風などで通行規制され、多くの場合は長期間（もちろん短時間の場合もある）にわたって通行止めになる傾向がある。

また、道路や道路施設の損壊や車粉（スパイクタイヤによる粉塵）公害の二次的被害が起きている。

表3 都道県別車両のスリップ事故発生状況

| 都道県名 | 件数  | 死者 | 負傷者 | 都道県名 | 件数    | 死者 | 負傷者 |
|------|-----|----|-----|------|-------|----|-----|
| 北海道  | 1   | 3  | 3   | 石川   | 0     | 0  | 0   |
| 青森   | 2   | 0  | 1   | 福井   | 0     | 0  | 0   |
| 岩手   | 5   | 13 | 30  | 山梨   | 2     | 0  | 36  |
| 宮城   | 3   | 1  | 7   | 長野   | 1     | 1  | 0   |
| 秋田   | 0   | 0  | 0   | 岐阜   | 0     | 0  | 0   |
| 山形   | 0   | 0  | 0   | 静岡   | 1     | 1  | 1   |
| 福島   | 7   | 2  | 0   | 愛知   | 0     | 0  | 0   |
| 茨城   | 258 | 3  | 55  | 三重   | 1     | 0  | 25  |
| 群馬   | 1   | 0  | 7   | 滋賀   | 0     | 0  | 0   |
| 栃木   | 3   | 5  | 31  | 兵庫   | 2     | 1  | 4   |
| 埼玉   | 51  | 1  | 58  | 鳥取   | 73    | 2  | 7   |
| 東京   | 205 | 2  | 96  | 島根   | 81    | 0  | 4   |
| 千葉   | 3   | 1  | 0   | 岡山   | 0     | 0  | 0   |
| 神奈川  | 128 | 0  | 12  | 広島   | 171   | 1  | 35  |
| 新潟   | 121 | 6  | 36  | 山口   | 3     | 0  | 7   |
| 富山   | 0   | 0  | 0   | 大分   | 1     | 0  | 7   |
|      |     |    |     | 合計   | 1,124 | 43 | 462 |

表4 降積雪に伴う道路の被害

|        | 内 容  | 高速道路 | 一般道路 |
|--------|------|------|------|
|        |      |      |      |
| 規<br>制 | 通行止め | 42   | 66   |
|        | チェーン | 43   | 7    |
|        | 速度   | 43   | 0    |
|        | 事故   | 17   | 4    |
|        | 濃霧   | 2    | 0    |
|        | 地吹雪  | 3    | 0    |
|        | 雪崩   | 0    | 5    |
|        | 土砂崩れ | 0    | 11   |
|        | 高波   | 0    | 13   |
|        | 融雪洪水 | 0    | 2    |
|        | 強風   | 0    | 1    |
|        | その他  | 1    | 0    |
|        | 合 計  | 106  | 81   |

## 4.3.3 鉄道の被害

降積雪に伴う鉄道（国鉄・現ＪＲ各社）の被害は、表５に示したような、降雪や積雪の影響で、鉄道施設の機能低下による運行障害と、雪で列車や鉄道施設が損壊する被害が起きている。

国鉄の雪害対策には、自然条件に対する列車の運行規則がある。豪雪時や大雪時には、運行規制や列車の運転規制などが実施されている。

列車の運行規制としては新幹線では速度規制、在来線では運転規制が実施されている。このため、前者は列車を減速運転することから、列車の遅延が多く生じる。また、後者は遅延列車が多く生じる。

国鉄は冬期間に運行規則に準じて、前述の規制を実施するため、多くの利用客に影響を与えてしまうが、乗客の安全確保と列車ダイヤの混乱を低減する上で、運行規則が雪害対策の一つの方法として役立っている。

今冬の列車の遅延や遅延で影響を受けた人は、約85万人であった。

表５ 降積雪に伴う鉄道（国鉄）の被害

| 内 容     | 新幹線     | 在来線    |
|---------|---------|--------|
| 不 通     | 1       | 5      |
| 速度規制    | 15      | 0      |
| 運転規制    | 0       | 4      |
| 運 休     | 22      | 235    |
| 打ち切り    | 1       | 2      |
| 事 故     | 0       | 4      |
| 停 電     | 0       | 2      |
| 故 障     | 4       | 8      |
| 遅 延     | 1,169   | 95     |
| そ の 他   | 0       | 1      |
| 合 計     | 1,212   | 356    |
| 影響を受けた人 | 829,500 | 22,338 |

## 4.3.4 航空機・船舶・路線バスの被害

航空関係の被害は、降雪や積雪の影響のため、空港施設の機能低下となって表れ、航空機の離着陸が出来なくなってしまう。これは滑走路が雪で覆われたり、航空機の誘導装置が雪の影響で電波障害を受けて、航空機の離着陸が困難になってしまうことなどによる。

今冬の航空便の欠航は220便、遅延9便、空港の閉鎖20回などであった。

一方、船舶航路の定期船は、降積雪に伴う被害は少ないが、主に強風（悪天候やシケ）による欠航が多い。しかし、港湾では係留中の船舶が、降り積もる雪の重みで沈没するなどの被害が生じている。

今冬の船舶航路の定期船の欠航は、109便であった。これらの欠航は、短期間ではあるが交通の途絶を引き起し、島民を孤立状態に陥れて不安感を与えている他、利用客には一時的に大きな影響を与えている。

また、各地の路線バスも、降雪や吹雪による視界悪化、路面圧雪や路面凍結などの路面状態の悪化で、バスダイヤがマヒ状態となり、多くの利用客に影響を与えている。

## 4.3.5. 教育関係の被害

降積雪に伴う教育関係の被害を表6に示した。教育関係の被害は表6に示したように、降雪や積雪、吹雪、雪崩の危険、積雪の重みで校舎が危険になるなどの影響で、授業時間の繰り下げや授業時間の短縮（午後の授業の打ち切り）、休校などである。この被害は、都市部では交通機関の混乱、都市周辺の郊外では吹雪や雪崩の危険などが多くなっている。

一方、豪雪や吹雪などで、学生（生徒）の校内や登下校時の安全確保のために、教育関係者が実施する措置によるものがある。両者とも授業への影響は大きいが、適切な判断で実施されることによって、大きな混乱を避け、学生（生徒）の安全を考えると、二次的な被害（例えば、登下校中の転倒などで負傷したり、吹雪や雪崩で遭難するなど）を未然に防止することが出来る方法として効果が得られている。

今冬の教育関係の被害は、表6で明らかのように、休校は養護学校で多い。また、授業時間の繰り下げは小、中学校で多く実施されている。これは一般成人に比較すると、いわゆる弱者と言われ、保護が必要なためである。

表6 降積雪に伴う教育関係の被害

| <div>学校の種別</div> <div>障害の内容</div> | 養<br>護<br>学<br>校 | 特<br>殊<br>学<br>校 | 小<br>学<br>校 | 中<br>学<br>校 | 高<br>等<br>学<br>校 | 小<br>・<br>中<br>学<br>校 | 小<br>・<br>中<br>・<br>養<br>護<br>学<br>校 | 小<br>・<br>中<br>・<br>高<br>等<br>学<br>校 | 不<br>明 | 合<br>計 |
|-----------------------------------|------------------|------------------|-------------|-------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------|--------|
| 休 校                               | 22               | 0                | 6           | 3           | 4                | 0                     | 0                                    | 0                                    | 0      | 35     |
| 1 時間繰り下げ                          | 6                | 5                | 253         | 105         | 2                | 65                    | 13                                   | 17                                   | 0      | 466    |
| 2 時間繰り下げ                          | 0                | 0                | 13          | 6           | 7                | 35                    | 13                                   | 0                                    | 0      | 74     |
| 午後の授業打ち切り                         | 0                | 0                | 19          | 0           | 0                | 0                     | 0                                    | 0                                    | 0      | 19     |
| 自宅学習                              | 1                | 0                | 0           | 0           | 0                | 0                     | 0                                    | 0                                    | 0      | 1      |
| 下校を早めた                            | 0                | 0                | 6           | 2           | 0                | 15                    | 0                                    | 0                                    | 0      | 23     |
| その他の影響                            | 0                | 5                | 0           | 0           | 34               | 249                   | 0                                    | 0                                    | 13     | 301    |
| 合 計                               | 29               | 10               | 297         | 116         | 47               | 364                   | 26                                   | 17                                   | 13     | 919    |

## 4.3.6 その他の被害

生活圏における降積雪に伴うその他の被害としては、水道施設の損壊や水道の凍結による断水、電気施設の損壊による停電、通信施設の損壊や電波障害（テレビジョンの受信障害やオンライン情報の混乱やマヒなど）による情報の途絶、急患の搬送や火災時の救急消防活動の阻害、融雪洪水による住宅や農地の流失や橋や道路の欠壊による交通の途絶などがあり、日常生活が直撃されている。

## 5. 雪崩災害現地調査および積雪の断面観測

新潟県内で発生した雪崩災害現地および降積雪に伴う被害の発生地域で、積雪の状態を観測して、災害時および被害の発生地域の積雪の状態を明らかにするため、自然状態の積雪の断面観測を行った。

調査日および調査内容を表7に示す。

表7 現地調査および被害資料収集

| 調 査 者                          | 調査期間                           | 調 査 内 容                                                                                                  |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 五十嵐高志<br>山田 稔<br>納口 恭明<br>林 与一 | 1987年2月7日                      | 新潟県長岡市浦瀬町鷺の巣沢（狩猟中）における雪崩災害現地調査<br>雪崩災害現地の自然積雪の断面観測<br>雪崩被害、雪崩規模、雪崩の走路、地形、植性、見通し角などの調査を実施                 |
| 林 与一<br>五十嵐高志                  | 1987年3月18日<br>～19日             | 被害の発生地域の自然積雪の断面観測<br>新潟県北魚沼郡入広瀬村大白川<br>新潟県北魚沼郡守門村細野<br>新潟県北魚沼郡湯之谷村下折立<br>新潟県南魚沼郡大和町雷土新田<br>新潟県南魚沼郡六日町美佐島 |
| 五十嵐高志<br>宮本 誠                  | 1986年11月11日<br>）<br>1987年5月31日 | 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、日本工業新聞、日刊工業新聞、新潟日報、茨城新聞、日本海新聞、山陰中央新報、中国新聞から雪、結氷、凍結、融雪水などに伴う被害の記事を収集                |

## 5.1 観測の方法

観測は「積雪の観測法（清水弘, 1965）」および「積雪の分類名称（日本雪氷学会, 1967）」, および「地上気象観測法（気象庁編, 1971）」に準拠した。

## 5.2 使用計測器・道具

観測に用いた計測器・道具は、以下の通りである。

- (1) スコップ：アルミ製角型スコップにパラフィンを塗って使用した。
  - (2) 雪べら：ステンレス製で平面部の周縁には、雪を切るための刃をつけたものを使用した。
  - (3) 雪尺：積雪の深さおよび雪層境界の位置測定用に、アルミ製 3 m の伸縮式スタッフ（箱尺）を使用した。
  - (4) 秤：雪の重量測定用に、アイコーエンジニアリング<sup>®</sup>製の秤量 2 kg, 最小単位 1 g のデジタル式プッシュプルゲージ（型式 7002N）を使用した。
  - (5) 採雪器：雪層の密度測定には、ステンレス製 100-30 型（容積 100cc, 採雪部の大きさは厚さ 30mm, 幅 60mm, 長さ 55mm）のスノーサンプラーを使用した。また、積雪全層の平均密度測定には、アルミ製神室型スノーサンプラー（採雪面積 20cm<sup>2</sup>, 1 m<sup>3</sup> 本継ぎ）を使用した。
  - (6) 硬度計：積雪の硬度測定には、カナディアンゲージを使用した。この硬度計は、2 種類の本体（測定範囲 0～1 kg および 0～10 kg）と 7 種類のアタッチメント（測定面積 10 cm<sup>2</sup>, 5 cm<sup>2</sup>, 1 cm<sup>2</sup>, 0.5 cm<sup>2</sup>, 0.4 cm<sup>2</sup>, 0.2 cm<sup>2</sup>, 0.1 cm<sup>2</sup>）からなり、それらの組合せによって、硬い雪から軟い雪まで測定が可能である。
  - (7) 温度計：気温および雪温の測定には、宝工業<sup>®</sup>製ポケットブル複合モード温度計 DIGIMULTI D611 を使用した。この温度計は、小型軽量でサーミスタ温度センサ 2 本付属の携帯型温度計で、測定範囲 -43.2℃～+120.7℃, 分解能 0.1℃, 4桁液晶表示などの機能を備えている。
  - (8) ラムゾンデ：先端角 60°のステンレス製ラムゾンデ（原位置硬度測定具）で、1 本 1 m 1 kg 5 本組を使用した。このラムゾンデには、重り 0.5 kg, 1 kg, 2 kg と重りのガイド棒 1 m 1 kg が付属している。重りは 1 kg と 2 kg がネジで接続して、3 kg として使用出来るようになっている。
  - (9) 粒度ゲージ：雪粒の大きさの測定は、黒地に白抜きのミリメートル方眼紙をプラスチックケース入りのものと一對の偏光板からなるものを使用した。
  - (10) その他の用具：雪層の目視を容易にするために噴霧器と着色液（ブルーブラックインクと水を 1：10 の割合で混合したもの）および写真機を使用した。
- これらの用具は必要に応じて使用するだけで、常時は使用しなかった。

### 5.3 観測の順序と観測項目

積雪の断面観測は、乱されていない平坦地の自然積雪について行った。

図5に積雪の断面観測の観測項目と測定位置を示した。観測項目および測定方法を、観測の順序に従って示すと、以下の通りである。

- (1) 雪温 ( T ) : 断面に沿って10cmごとに温度センサを、雪壁の中に水平に15~20cm差し込み、数分間おいて読み取った。
- (2) 雪質 ( F ) : 断面の小さな凹凸は雪べらで削り、鉛直な平面に仕上げて、この断面から「積雪の分類名称」に基づいて雪質を目視観測、雪層境界を雪尺から読みとった。
- (3) 粒度 ( D ) : 10cm間隔で測定するとともに、薄い雪層に関しては、それぞれの雪層の粒度も測定した。

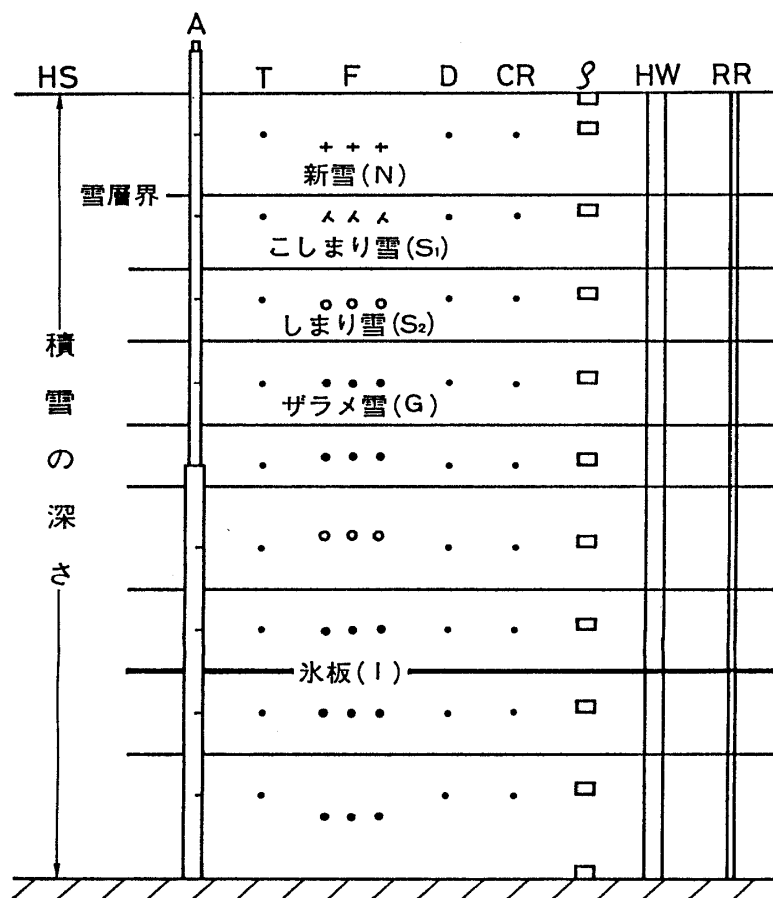


図5 積雪断面観測の順序、項目、位置  
 HS: 積雪の深さ (cm)      A: 雪尺 (cm)  
 T: 雪温 (°C)      F: 雪質  
 D: 雪粒の大きさ (P.18参照, a, b, c, d, e)  
 CR: カナディアン硬度 (kgf/cm<sup>2</sup>)  
 $\rho$ : 雪層の密度 (g/cm<sup>3</sup>, kg/m<sup>3</sup>)  
 HW: 積雪相当水量 (g/cm<sup>2</sup>, kg/m<sup>2</sup>)  
 $\bar{\rho}$ : 積雪の全層平均密度 (g/cm<sup>3</sup>, kg/m<sup>3</sup>)  
 RR: ラム硬度 (kgf)

- (4) 硬度 (CR) : 10cm 間隔で測定するとともに, 薄い雪層に関しては, それぞれの雪層の硬度も測定した。

カナディアンハードネスゲージを写真1に, また, 測定方法を図6に示す。測定方法は図6に示したように, カナディアンハードネスゲージ本体(i)に適当なアタッチメント(ii)を接続し, 測定しようとする雪層壁面(v)に, アタッチメントの平面部を密着させて, 静かに矢印方向(iii)へ押し込む。雪層壁面をアタッチメントが突き破った時の指示値を, 抵抗値読みとりスケール(iv)で読み取る。この読み取り値を使用したアタッチメントの面積で除して, 測定した雪質壁面の雪の硬度 ( $\text{kgf}/\text{cm}^2$ ) を求めた。

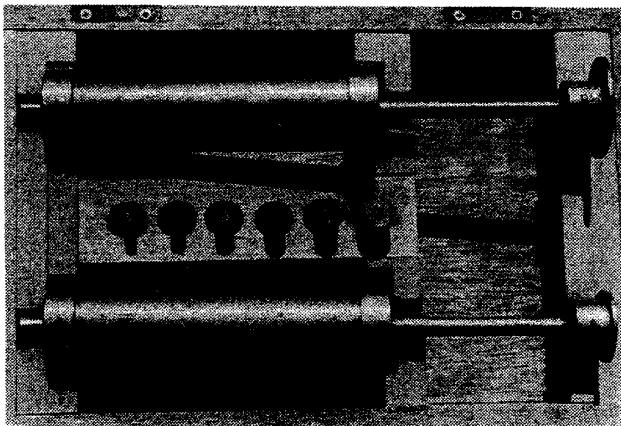


写真1 カナディアンハードネスゲージ

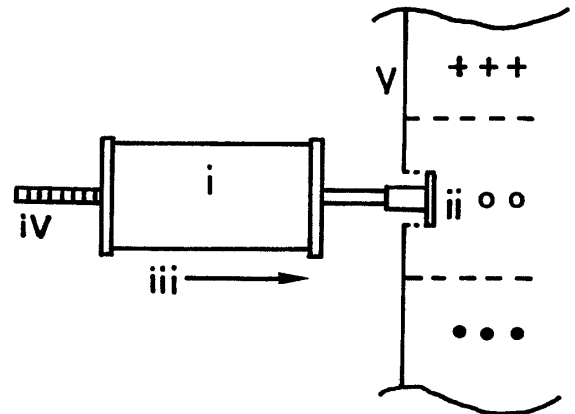


図6 カナディアンハードネスゲージの測定法  
i : カナディアンハードネスゲージ本体  
ii : 測定法アタッチメント  
iii : 押し込む方向  
iv : 抵抗値読みとりスケール  
v : 積雪の断面 (鉛直面)

- (5) 雪層の密度 ( $\rho$ ) : 10cm 間隔で測定するとともに, 薄い雪層に関しても, それぞれの雪層の密度も測定した。しかし雪層の密度は, スノーサンプラーの厚さ30mmの制約により, 少数ではあるが上下の雪層を含めて測定したものもある。
- (6) 積雪相当水量 (HW) : 積雪の表面から地面までの積雪を, 神室型スノーサンプラーで採雪した雪の重量を測定して HW ( $\text{g}/\text{cm}^2$ ) を求めた。また, 採雪した雪の深さ, つまり積雪の深さから, 積雪全層の平均密度  $\bar{\rho}$  ( $\text{g}/\text{cm}^3$ ) を求めた。
- (7) ラム硬度 (RR) : 積雪表面から地面までの積雪のラム硬度 ( $\text{kgf}$ ) を, 5 cm 沈下を目安に測定した。

#### 5.4 積雪の断面観測結果

積雪の断面観測結果は, 表8および図7に新潟県長岡市浦瀬町の雪崩災害現地, 表9および図8に新潟県北魚沼郡入広瀬村大白川, 表10および図9に同郡守門村細野, 表11および図10に同郡湯之谷村下折立, 表12および図11に同県南魚沼郡大和町雷土新田, 表13および図12

に同郡六日町美佐島の自然積雪を示した。これらの表や図は、過去に報告された「長岡における積雪断面観測資料(1986～1987)」、(五十嵐・1987)」の形式を用いた。また、図7から図12は、前述の「積雪の観測法」に基づいて表示してある。表8から表13および図7から図12で使った記号および符号を、まとめて表示して簡単な説明を付記しておく。

#### 記号の説明

天気……晴：① 曇：◎ 雨：●

F-雪質……こしまり雪 :  $S_1$ および  $\wedge \wedge \wedge \wedge$

しまり雪 :  $S_2$ および ○○○○

ざらめ雪 : Gおよび ●●●●

しまり雪 } 混合 :  $S_2 G$ および ○●○●  
ざらめ雪

氷 板 : Iおよび太い — と i

D-粒度…… a : 0.5 mmより小さい

b : 0.5 ～ 1.0 mm

c : 1.0 ～ 2.0 mm

d : 2.0 ～ 4.0 mm

e : 4.0 mmより大きい

T-雪温(℃)……図7～12では実線でつないだ黒丸

$\rho$ -密度( $g/cm^3$ )……図7～12では従の短い棒、それぞれの棒は密度の測定区間を表し、測定位置は棒の下端である。

$\bar{\rho}$ -積雪全層平均密度( $g/cm^3$ )……表8～13の下側に計算式とも示してある。

HW-積雪相当水量( $g/cm^3$ )……表8～13の下側に計算式とも示してある。

HS-積雪の深さ(cm)……図5の左側に示してある。

CR-硬度( $kgf/cm^2$ )……図7～12では破線でつないだ白丸

RR-ラム硬度( $kgf$ )……図7～12では右側に階段状に示してある。階段の高さの範囲では硬度が同じ。

H-位置(cm)……表8～13では、地面からの距離を表し、雪質および雪粒の大きさ、ラム硬度(RR)は上限、下限の範囲を示した。

注) 図7から図12の雪層境界は、氷板のない場合とある場合を区別して、前者を細い—, 後者を太い— と i で表した。

表8 積雪の断面観測値(長岡市浦瀬町, 通称鷹ノ巣沢)

62年2月7日 積雪の深さ 天気 気温 観測時刻  
 111cm ◎ 5.6℃ 10時50分～11時15分

| 雪質       |                | 雪温       |        | 雪粒の大きさ   |    | 密度       |                             | 硬度       |                           | 硬度         |           |
|----------|----------------|----------|--------|----------|----|----------|-----------------------------|----------|---------------------------|------------|-----------|
| 位置<br>cm | 名称             | 位置<br>cm | T<br>℃ | 位置<br>cm | D  | 位置<br>cm | $\rho$<br>g/cm <sup>3</sup> | 位置<br>cm | CR<br>kgf/cm <sup>2</sup> | 位置<br>cm   | RR<br>kgf |
| 111～100  | G              | 110      | 0.0    | 111～100  | cd | 108      | 0.318                       | 110      | 0.140                     | 111<br>～40 | 2.00      |
| 100～97   | G              | 100      | 0.0    | 100～97   | b  | 100      | 0.218                       | 100      | 0.060                     | ～25        | 0.42      |
| 97～93    | G              | 90       | 0.0    | 97～93    | c  | 95       | 0.296                       | 95       | 0.090                     | ～20        | 16.25     |
| 93～90    | S <sub>1</sub> | 80       | 0.0    | 93～90    | b  | 90       | 0.224                       | 90       | 0.120                     | ～8         | 2.92      |
| 90～81    | S <sub>1</sub> | 70       | 0.0    | 90～81    | a  | 85       | 0.212                       | 85       | 0.120                     | ～5         | 10.83     |
| 81～56    | G              | 60       | 0.0    | 81～56    | c  | 78       | 0.368                       | 80       | 0.140                     | ～0         | 14.50     |
| 56～43    | G              | 50       | 0.0    | 56～43    | cd | 70       | 0.408                       | 70       | 0.120                     |            |           |
| 43～38    | G              | 40       | 0.0    | 43～38    | cd | 60       | 0.400                       | 60       | 0.120                     |            |           |
| 38～28    | G              | 30       | 0.0    | 38～28    | cd | 50       | 0.318                       | 50       | 0.400                     |            |           |
| 28～18    | G              | 20       | 0.0    | 28～18    | c  | 40       | 0.370                       | 40       | 0.140                     |            |           |
| 18～0     | G              | 10       | 0.0    | 18～0     | cd | 30       | 0.402                       | 30       | 0.500                     |            |           |
|          |                | 0        | 0.0    |          |    | 20       | 0.380                       | 20       | 0.500                     |            |           |
|          |                |          |        |          |    | 10       | 0.438                       | 10       | 0.600                     |            |           |
|          |                |          |        |          |    | 0        | 0.420                       | 5        | 0.500                     |            |           |

スノーサンプラー

雪重量÷断面積÷積雪深＝積雪平均密度

$$\frac{\text{g}}{\text{cm}^2} \div \frac{\text{cm}}{\text{cm}} = \frac{\text{g}}{\text{cm}^3}$$

$$\boxed{788.0} \div \boxed{20} \div \boxed{111} = \boxed{0.354}$$

$$\parallel \frac{\text{g}}{\text{cm}^2}$$

$$\text{積雪相当水量} \quad \boxed{39.40}$$

表9 積雪の断面観測値(北魚沼郡入広瀬村大白川)

| 62年3月18日 |                  | 積雪の深さ    |        | 天気       | 気温   | 観測時刻          |                             |          |                            |             |            |
|----------|------------------|----------|--------|----------|------|---------------|-----------------------------|----------|----------------------------|-------------|------------|
| 198cm    |                  | ●        |        |          | 4.4℃ | 13時30分～14時15分 |                             |          |                            |             |            |
| 雪質       |                  | 雪温       |        | 雪粒の大きさ   |      | 密度            |                             | 硬 度      |                            | 硬 度         |            |
| 位置<br>cm | 名称               | 位置<br>cm | T<br>℃ | 位置<br>cm | D    | 位置<br>cm      | $\rho$<br>g/cm <sup>3</sup> | 位置<br>cm | CR<br>kg f/cm <sup>2</sup> | 位置<br>cm    | RR<br>kg f |
| 198～194  | G                | 195      | 0.0    | 198～194  | c    | 195           | 0.298                       | 195      | 0.060                      | 198<br>～188 | 1.00       |
| 194～182  | G                | 190      | 0.0    | 194～182  | d    | 190           | 0.374                       | 190      | 0.100                      | ～185        | 6.30       |
| 182～175  | G                | 180      | 0.0    | 182～175  | c    | 180           | 0.404                       | 180      | 0.160                      | ～158        | 3.19       |
| 175～164  | S <sub>2</sub> G | 170      | 0.0    | 175～164  | b    | 170           | 0.396                       | 170      | 0.120                      | ～153        | 17.00      |
| 164～154  | G                | 160      | 0.0    | 164～154  | d    | 160           | 0.494                       | 160      | 0.550                      | ～148        | 15.00      |
| 154      | I                | 150      | 0.0    | 154～141  | cd   | 155           | 0.472                       | 155      | 0.450                      | ～142        | 13.00      |
| 154～141  | G                | 140      | 0.0    | 141～133  | cd   | 150           | 0.466                       | 150      | 0.300                      | ～139        | 23.00      |
| 141      | I                | 130      | 0.0    | 133～125  | c    | 142           | 0.384                       | 142      | 0.650                      | ～133        | 6.30       |
| 141～133  | G                | 120      | 0.0    | 125～119  | b    | 135           | 0.434                       | 135      | 0.300                      | ～126        | 8.70       |
| 133～125  | G                | 110      | 0.0    | 119～110  | de   | 130           | 0.426                       | 130      | 0.400                      | ～123        | 16.30      |
| 125～119  | S <sub>2</sub> G | 100      | 0.0    | 110～105  | b    | 120           | 0.496                       | 120      | 0.700                      | ～118        | 19.00      |
| 119～110  | G                | 90       | 0.0    | 105～102  | b    | 115           | 0.402                       | 115      | 0.400                      | ～113        | 15.00      |
| 110～105  | G                | 80       | 0.0    | 102～96   | cd   | 110           | 0.450                       | 110      | 0.550                      | ～108        | 15.00      |
| 105      | I                | 70       | 0.0    | 96～86    | bc   | 102           | 0.460                       | 102      | 0.650                      | ～103        | 11.00      |
| 105～102  | G                | 60       | 0.0    | 86～74    | a    | 98            | 0.442                       | 98       | 0.600                      | ～98         | 15.00      |
| 102      | I                | 50       | 0.0    | 74～64    | b    | 90            | 0.452                       | 90       | 0.400                      | ～94         | 8.00       |
| 102～96   | G                | 40       | 0.0    | 64～58    | c    | 80            | 0.448                       | 80       | 2.000                      | ～90         | 9.00       |
| 96～86    | G                | 30       | 0.0    | 58～50    | b    | 70            | 0.520                       | 70       | 2.000                      | ～88         | 14.00      |
| 86～74    | S <sub>2</sub>   | 20       | 0.0    | 50～40    | b    | 60            | 0.402                       | 60       | 1.100                      | ～83         | 20.00      |
| 74～64    | S <sub>2</sub> G | 10       | 0.0    | 40～33    | b    | 50            | 0.458                       | 50       | 1.400                      | ～78         | 16.00      |
| 64～58    | S <sub>2</sub>   | 0        | 0.0    | 33～29    | c    | 40            | 0.472                       | 40       | 3.000                      | ～73         | 20.00      |
| 58～55    | S <sub>2</sub> G |          |        | 29～26    | a    | 30            | 0.478                       | 30       | 4.000                      | ～68         | 36.00      |
| 55～50    | S <sub>2</sub> G |          |        | 26～20    | b    | 20            | 0.574                       | 20       | 5.000                      | ～63         | 34.00      |
| 50～40    | G                |          |        | 20～12    | b    | 10            | 0.506                       | 10       | 1.000                      | ～58         | 22.00      |
| 40～33    | S <sub>2</sub> G |          |        | 12～5     | c    | 0             | 0.468                       | 5        | 1.400                      | ～53         | 22.00      |
| 33～29    | G                |          |        | 5～0      | c    |               |                             |          |                            | ～48         | 40.00      |
| 29～26    | S <sub>2</sub>   |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～43         | 22.00      |
| 26～20    | S <sub>2</sub> G |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～38         | 16.00      |
| 20～12    | S <sub>2</sub> G |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～33         | 34.00      |
| 12～5     | G                |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～28         | 40.00      |
| 5～0      | G                |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～23         | 64.00      |
|          |                  |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～18         | 70.00      |
|          |                  |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～13         | 53.00      |
|          |                  |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～8          | 29.00      |
|          |                  |          |        |          |      |               |                             |          |                            | ～0          | 10.00      |

スノーサンプラー

雪重量÷断面積÷積雪深=積雪平均密度

$$\frac{1,775.4 \text{ g}}{20 \text{ cm}^2} \div 198 \text{ cm} = 0.443 \text{ g/cm}^3$$

$$\text{積雪相当水量} = 87.77 \text{ g/cm}^2$$

表10 積雪の断面観測値（北魚沼郡守門村細野）

|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               |             |             |
|------------|----|-----------|--------|-----------|----|---------------|-------------------------------|-----------|-------------------------------|-------------|-------------|
| 62年 3 月18日 |    | 積雪の深さ     |        | 天 気       |    | 気 温           |                               | 観測時刻      |                               |             |             |
| 1 4 0cm    |    | ●         |        | 4.2℃      |    | 11時25分～12時00分 |                               |           |                               |             |             |
| 雪 質        |    | 雪 温       |        | 雪粒の大きさ    |    | 密 度           |                               | 硬 度       |                               | 硬 度         |             |
| 位 置<br>cm  | 名称 | 位 置<br>cm | T<br>℃ | 位 置<br>cm | D  | 位 置<br>cm     | $\rho$<br>g / cm <sup>3</sup> | 位 置<br>cm | C R<br>kg f / cm <sup>2</sup> | 位 置<br>cm   | R R<br>kg f |
| 140～133    | G  | 140       | 0.0    | 140～133   | c  | 137           | 0.360                         | 135       | 0.080                         | 138<br>～124 | 1.00        |
| 133～120    | G  | 130       | 0.0    | 133～120   | c  | 130           | 0.390                         | 130       | 0.300                         | ～119        | 3.50        |
| 120～109    | G  | 120       | 0.0    | 120～109   | d  | 120           | 0.432                         | 120       | 0.300                         | ～113        | 4.60        |
| 109        | I  | 110       | 0.0    | 109～98    | d  | 110           | 0.456                         | 110       | 0.500                         | ～108        | 7.50        |
| 109～98     | G  | 100       | 0.0    | 98～88     | d  | 100           | 0.388                         | 100       | 0.550                         | ～103        | 10.50       |
| 98         | I  | 90        | 0.0    | 88～83     | de | 90            | 0.426                         | 90        | 0.500                         | ～98         | 7.00        |
| 98～88      | G  | 80        | 0.0    | 83～70     | d  | 80            | 0.442                         | 80        | 0.550                         | ～96         | 8.00        |
| 88         | I  | 70        | 0.0    | 70～58     | d  | 70            | 0.388                         | 70        | 0.400                         | ～85         | 3.91        |
| 88～83      | G  | 60        | 0.0    | 58～42     | d  | 60            | 0.442                         | 60        | 0.400                         | ～78         | 8.70        |
| 83～70      | G  | 50        | 0.0    | 42～32     | d  | 50            | 0.432                         | 50        | 0.550                         | ～75         | 6.30        |
| 70         | I  | 40        | 0.0    | 32～25     | d  | 40            | 0.464                         | 40        | 0.600                         | ～68         | 4.43        |
| 70～58      | G  | 30        | 0.0    | 25～10     | c  | 30            | 0.410                         | 30        | 1.400                         | ～66         | 8.00        |
| 58～42      | G  | 20        | 0.0    | 10～7      | d  | 20            | 0.444                         | 20        | 0.600                         | ～61         | 5.00        |
| 42～32      | G  | 10        | 0.0    | 7～0       | c  | 10            | 0.630                         | 10        | 1.000                         | ～59         | 8.00        |
| 32～25      | G  | 0         | 0.0    |           |    | 0             | 0.510                         | 5         | 1.500                         | ～53         | 13.00       |
| 25         | I  |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～48         | 16.00       |
| 25～10      | G  |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～43         | 16.00       |
| 10         | I  |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～38         | 16.00       |
| 10～7       | G  |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～33         | 16.00       |
| 7～0        | G  |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～28         | 18.00       |
|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～23         | 34.00       |
|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～17         | 17.30       |
|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～13         | 14.00       |
|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～8          | 36.00       |
|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～3          | 36.00       |
|            |    |           |        |           |    |               |                               |           |                               | ～0          | 37.30       |

スノーサンプラー

雪重量÷断面積÷積雪深＝積雪平均密度

$$\frac{1,244.2 \text{ g}}{20 \text{ cm}^2} \div 140 \text{ cm} = 0.444 \text{ g/cm}^3$$

$$\text{積雪相当水量} = 66.21 \text{ g/cm}^2$$

表11 積雪の断面観測値（北魚沼郡湯之谷村下折立）

62年3月18日 積雪の深さ 天気 気温 観測時刻  
173cm ◎ 3.8℃ 15時35分～16時05分

| 雪 質       |                  | 雪 温       |        | 雪粒の大きさ    |    | 密 度       |                             | 硬 度       |                           | 硬 度         |           |
|-----------|------------------|-----------|--------|-----------|----|-----------|-----------------------------|-----------|---------------------------|-------------|-----------|
| 位 置<br>cm | 名称               | 位 置<br>cm | T<br>℃ | 位 置<br>cm | D  | 位 置<br>cm | $\rho$<br>g/cm <sup>3</sup> | 位 置<br>cm | CR<br>kgf/cm <sup>2</sup> | 位 置<br>cm   | RR<br>kgf |
| 173～165   | G                | 170       | 0.0    | 173～165   | c  | 170       | 0.318                       | 170       | 0.070                     | 168<br>～159 | 1.00      |
| 165～156   | G                | 160       | 0.0    | 165～156   | d  | 160       | 0.374                       | 160       | 0.040                     | ～140        | 2.63      |
| 156～149   | G                | 150       | 0.0    | 156～149   | c  | 155       | 0.376                       | 155       | 0.090                     | ～132        | 2.81      |
| 149～146   | G                | 140       | 0.0    | 149～146   | d  | 150       | 0.430                       | 150       | 0.300                     | ～128        | 4.38      |
| 146～132   | G                | 130       | 0.0    | 146～132   | de | 140       | 0.412                       | 140       | 0.140                     | ～123        | 5.00      |
| 132       | I                | 120       | 0.0    | 132～120   | de | 130       | 0.430                       | 130       | 0.250                     | ～118        | 21.50     |
| 132～129   | G                | 110       | 0.0    | 120～119   | de | 120       | 0.400                       | 120       | 0.400                     | ～104        | 3.36      |
| 129～120   | G                | 100       | 0.0    | 119～112   | d  | 110       | 0.468                       | 110       | 0.500                     | ～98         | 8.80      |
| 120       | I                | 90        | 0.0    | 112～108   | b  | 105       | 0.482                       | 105       | 0.300                     | ～93         | 11.00     |
| 120～119   | G                | 80        | 0.0    | 108～103   | c  | 100       | 0.498                       | 100       | 0.300                     | ～88         | 9.00      |
| 119       | I                | 70        | 0.0    | 103～99    | c  | 90        | 0.466                       | 90        | 0.300                     | ～84         | 10.50     |
| 119～112   | G                | 60        | 0.0    | 99～90     | de | 85        | 0.456                       | 85        | 0.400                     | ～78         | 9.70      |
| 112～108   | S <sub>2</sub> G | 50        | 0.0    | 90～83     | c  | 80        | 0.486                       | 80        | 0.400                     | ～74         | 8.00      |
| 108～103   | G                | 40        | 0.0    | 83～79     | d  | 70        | 0.490                       | 70        | 0.400                     | ～64         | 4.00      |
| 103～99    | G                | 30        | 0.0    | 79～70     | d  | 60        | 0.472                       | 60        | 0.450                     | ～58         | 16.30     |
| 99～90     | G                | 20        | 0.0    | 70～54     | d  | 50        | 0.474                       | 50        | 0.750                     | ～53         | 25.00     |
| 90～83     | G                | 10        | 0.0    | 54～44     | c  | 40        | 0.470                       | 40        | 0.750                     | ～48         | 28.00     |
| 83        | I                | 0         | 0.0    | 44～35     | b  | 30        | 0.462                       | 30        | 0.500                     | ～43         | 16.00     |
| 83～79     | G                |           |        | 35～20     | d  | 20        | 0.468                       | 20        | 0.600                     | ～39         | 9.00      |
| 79～70     | G                |           |        | 20～15     | b  | 10        | 0.534                       | 10        | 2.000                     | ～33         | 20.70     |
| 70～54     | G                |           |        | 15～10     | b  | 0         | 0.556                       | 5         | 3.000                     | ～28         | 36.00     |
| 54～44     | G                |           |        | 10～0      | a  |           |                             |           |                           | ～23         | 12.00     |
| 44～35     | S <sub>2</sub> G |           |        |           |    |           |                             |           |                           | ～18         | 12.00     |
| 35        | I                |           |        |           |    |           |                             |           |                           | ～13         | 16.00     |
| 35～20     | G                |           |        |           |    |           |                             |           |                           | ～8          | 44.00     |
| 20～15     | S <sub>2</sub> G |           |        |           |    |           |                             |           |                           | ～3          | 60.00     |
| 15～10     | G                |           |        |           |    |           |                             |           |                           | ～0          | 30.70     |
| 10～0      | S <sub>2</sub> G |           |        |           |    |           |                             |           |                           |             |           |

スノーサンプラー

雪重量÷断面積÷積雪深＝積雪平均密度

$$\frac{\text{g}}{\text{cm}^2} \div \frac{\text{cm}}{\text{cm}^2} = \frac{\text{g}}{\text{cm}^3}$$

$$\frac{1,617.2}{20} \div 173 = 0.467$$

||

$$\text{積雪相当水量} \quad \frac{\text{g}}{\text{cm}^2}$$

$$\text{積雪相当水量} \quad 80.86$$

表 1 2 積雪の断面観測値 (南魚沼郡大和町雷土新田)

|            |                  |           |        |           |    |                 |                               |           |                              |             |            |
|------------|------------------|-----------|--------|-----------|----|-----------------|-------------------------------|-----------|------------------------------|-------------|------------|
| 62年 3 月19日 |                  | 積雪の深さ     |        | 天気        |    | 気 温             |                               | 観測時刻      |                              |             |            |
| 138cm      |                  | ①         |        | 6.4℃      |    | 9 時 5 分～ 9 時35分 |                               |           |                              |             |            |
| 雪 質        |                  | 雪 温       |        | 雪粒の大きさ    |    | 密 度             |                               | 硬 度       |                              | 硬 度         |            |
| 位 置<br>cm  | 名称               | 位 置<br>cm | T<br>℃ | 位 置<br>cm | D  | 位 置<br>cm       | $\rho$<br>g / cm <sup>3</sup> | 位 置<br>cm | CR<br>kg f / cm <sup>2</sup> | 位 置<br>cm   | RR<br>kg f |
| 138～127    | G                | 135       | 0.0    | 138～127   | cd | 135             | 0.334                         | 135       | 0.060                        | 138<br>～123 | 1.00       |
| 127        | I                | 130       | 0.0    | 127～124   | cd | 130             | 0.408                         | 130       | 0.060                        | ～122        | 5.00       |
| 127～124    | G                | 120       | 0.0    | 124～120   | d  | 120             | 0.448                         | 120       | 0.120                        | ～116        | 2.92       |
| 124        | I                | 110       | 0.0    | 120～117   | d  | 110             | 0.360                         | 110       | 0.140                        | ～113        | 15.00      |
| 124～120    | G                | 100       | 0.0    | 117～110   | d  | 100             | 0.408                         | 100       | 0.110                        | ～111        | 8.00       |
| 120        | I                | 90        | 0.0    | 110～103   | cd | 90              | 0.384                         | 90        | 0.140                        | ～100        | 3.45       |
| 120～117    | G                | 80        | 0.0    | 103～90    | cd | 80              | 0.418                         | 80        | 0.170                        | ～98         | 10.50      |
| 117～110    | G                | 70        | 0.0    | 90～88     | d  | 70              | 0.464                         | 70        | 0.300                        | ～92         | 8.00       |
| 110～103    | G                | 60        | 0.0    | 88～79     | d  | 60              | 0.452                         | 60        | 0.400                        | ～81         | 3.91       |
| 103～90     | G                | 50        | 0.0    | 79～64     | d  | 50              | 0.408                         | 50        | 0.300                        | ～76         | 5.00       |
| 90～88      | G                | 40        | 0.0    | 64～53     | c  | 40              | 0.484                         | 40        | 0.600                        | ～73         | 6.30       |
| 88～79      | G                | 30        | 0.0    | 53～44     | cd | 30              | 0.432                         | 30        | 0.400                        | ～68         | 7.00       |
| 79～64      | G                | 20        | 0.0    | 44～38     | b  | 20              | 0.396                         | 20        | 0.550                        | ～63         | 9.00       |
| 64～53      | G                | 10        | 0.0    | 38～30     | d  | 10              | 0.420                         | 10        | 3.000                        | ～58         | 9.00       |
| 53～44      | G                | 0         | 0.0    | 30～26     | b  | 0               | 0.442                         | 5         | 0.900                        | ～53         | 13.00      |
| 44～38      | S <sub>2</sub> G |           |        | 26～24     | c  |                 |                               |           |                              | ～48         | 13.00      |
| 38         | I                |           |        | 24～12     | b  |                 |                               |           |                              | ～43         | 14.00      |
| 38～30      | G                |           |        | 12～10     | c  |                 |                               |           |                              | ～38         | 36.00      |
| 30         | I                |           |        | 10～0      | d  |                 |                               |           |                              | ～34         | 19.00      |
| 30～26      | S <sub>2</sub> G |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～30         | 9.00       |
| 26～24      | G                |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～28         | 14.00      |
| 24～12      | S <sub>2</sub>   |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～23         | 16.00      |
| 12～10      | G                |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～18         | 18.00      |
| 10         | I                |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～13         | 28.00      |
| 10～0       | G                |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～8          | 36.00      |
|            |                  |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～3          | 24.00      |
|            |                  |           |        |           |    |                 |                               |           |                              | ～0          | 30.70      |

スノーサンプラー

雪重量÷断面積÷積雪深＝積雪平均密度

$$\frac{\text{g}}{\text{cm}^2} \div \frac{\text{cm}}{\text{cm}^2} = \frac{\text{g}}{\text{cm}^3}$$

$$\boxed{1,200.0} \div \boxed{20} \div \boxed{130} = \boxed{0.435}$$

||

g/cm<sup>2</sup>積雪相当水量  $\boxed{60.00}$

表13 積雪の断面観測値(南魚沼郡六日町美佐島)

| 62年3月19日 |     | 積雪の深さ |     | 天気     |    | 気温    |                   | 観測時刻          |                     |           |       |
|----------|-----|-------|-----|--------|----|-------|-------------------|---------------|---------------------|-----------|-------|
|          |     | 78cm  |     | ①      |    | 10.9℃ |                   | 10時15分～10時35分 |                     |           |       |
| 雪質       |     | 雪温    |     | 雪粒の大きさ |    | 密度    |                   | 硬 度           |                     | 硬 度       |       |
| 位 置      | 名 称 | 位 置   | T   | 位 置    | D  | 位 置   | $\rho$            | 位 置           | CR                  | 位 置       | RR    |
| cm       |     | cm    | ℃   | cm     |    | cm    | g/cm <sup>3</sup> | cm            | kgf/cm <sup>2</sup> | cm        | kgf   |
| 78～70    | G   | 75    | 0.0 | 78～70  | cd | 75    | 0.392             | 75            | 0.300               | 78<br>～63 | 1.00  |
| 70～62    | G   | 70    | 0.0 | 70～62  | c  | 70    | 0.418             | 70            | 0.200               | ～58       | 9.50  |
| 62       | I   | 60    | 0.0 | 62～54  | c  | 60    | 0.492             | 60            | 0.600               | ～53       | 7.50  |
| 62～54    | G   | 50    | 0.0 | 54～49  | de | 50    | 0.392             | 50            | 0.500               | ～48       | 14.00 |
| 54～49    | G   | 40    | 0.0 | 49～42  | d  | 40    | 0.404             | 40            | 0.400               | ～44       | 15.50 |
| 49～42    | G   | 30    | 0.0 | 42～36  | d  | 30    | 0.450             | 30            | 0.300               | ～41       | 6.33  |
| 42～36    | G   | 20    | 0.0 | 36～26  | d  | 20    | 0.450             | 20            | 0.600               | ～33       | 4.25  |
| 36～26    | G   | 10    | 0.0 | 26～19  | d  | 10    | 0.466             | 10            | 0.700               | ～29       | 5.50  |
| 26～19    | G   | 0     | 0.0 | 19～8   | c  | 0     | 0.442             | 5             | 0.600               | ～23       | 8.00  |
| 19～8     | G   |       |     | 8～0    | d  |       |                   |               |                     | ～18       | 13.00 |
| 8～0      | G   |       |     |        |    |       |                   |               |                     | ～13       | 15.00 |
|          |     |       |     |        |    |       |                   |               |                     | ～8        | 43.00 |
|          |     |       |     |        |    |       |                   |               |                     | ～3        | 23.00 |
|          |     |       |     |        |    |       |                   |               |                     | ～0        | 16.03 |

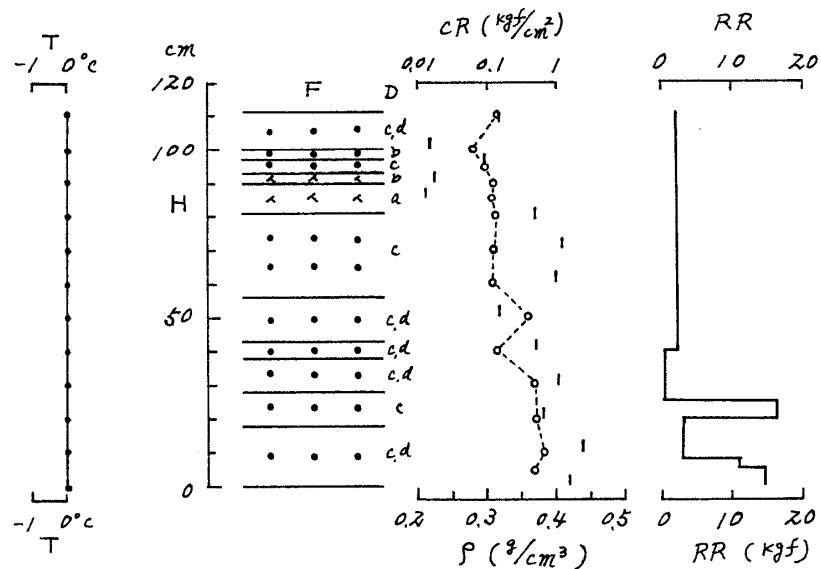
スノーサンプラー

雪重量÷断面積÷積雪深=積雪平均密度

$$\frac{g}{cm^2} \div \frac{cm}{cm} = \frac{g}{cm^3}$$

$$\boxed{660.2} \div \boxed{20} \div \boxed{77} = \boxed{0.429}$$

$$\text{積雪相当水量} \boxed{33.01} \frac{g}{cm^2}$$


 図7 雪崩災害現地の自然積雪の断面観測図  
(新潟県長岡市浦瀬町, 通称鷺の巣沢)

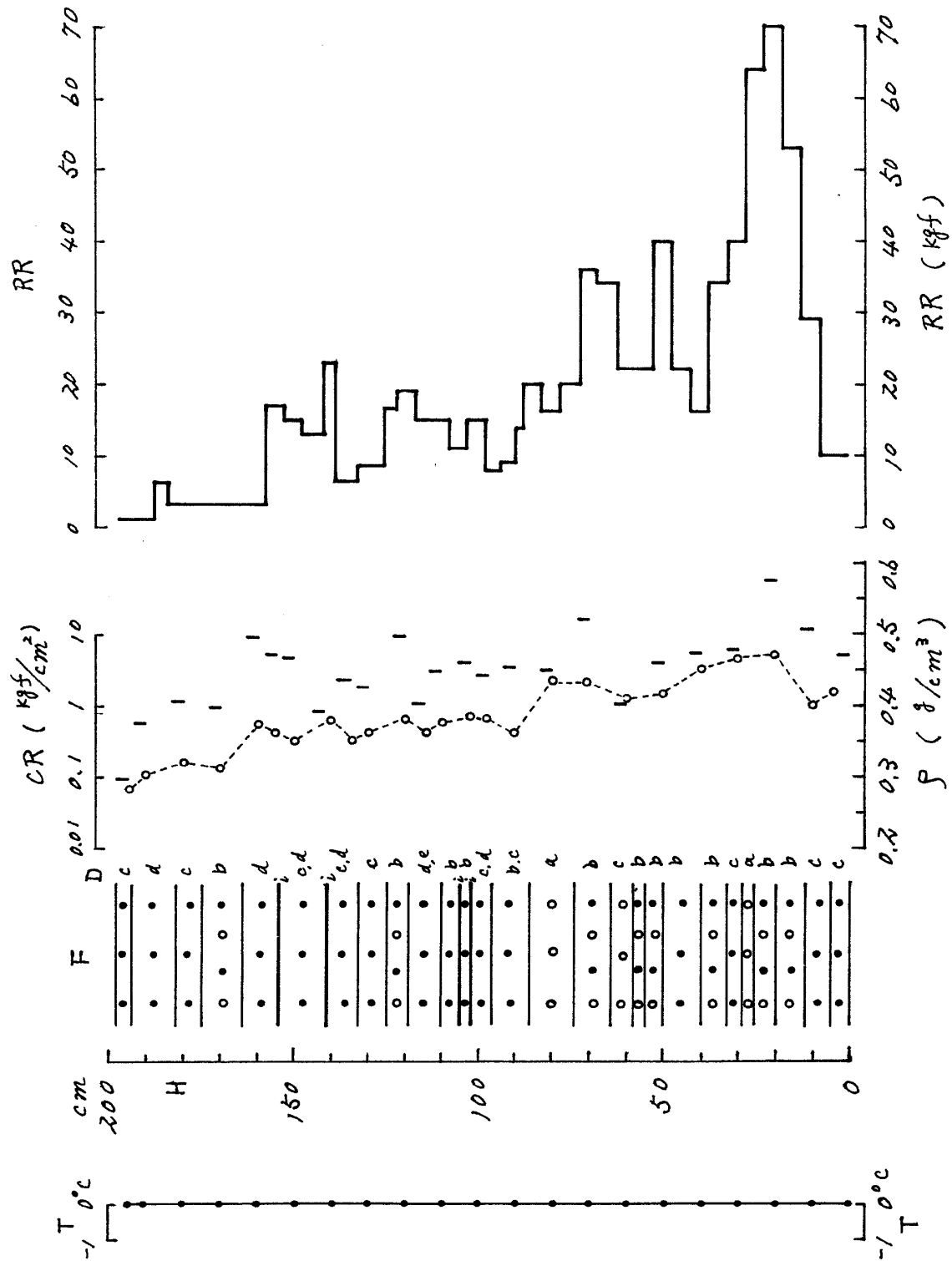


図8 積雪の断面観測図(新潟県北魚沼郡入広瀬村大白川)

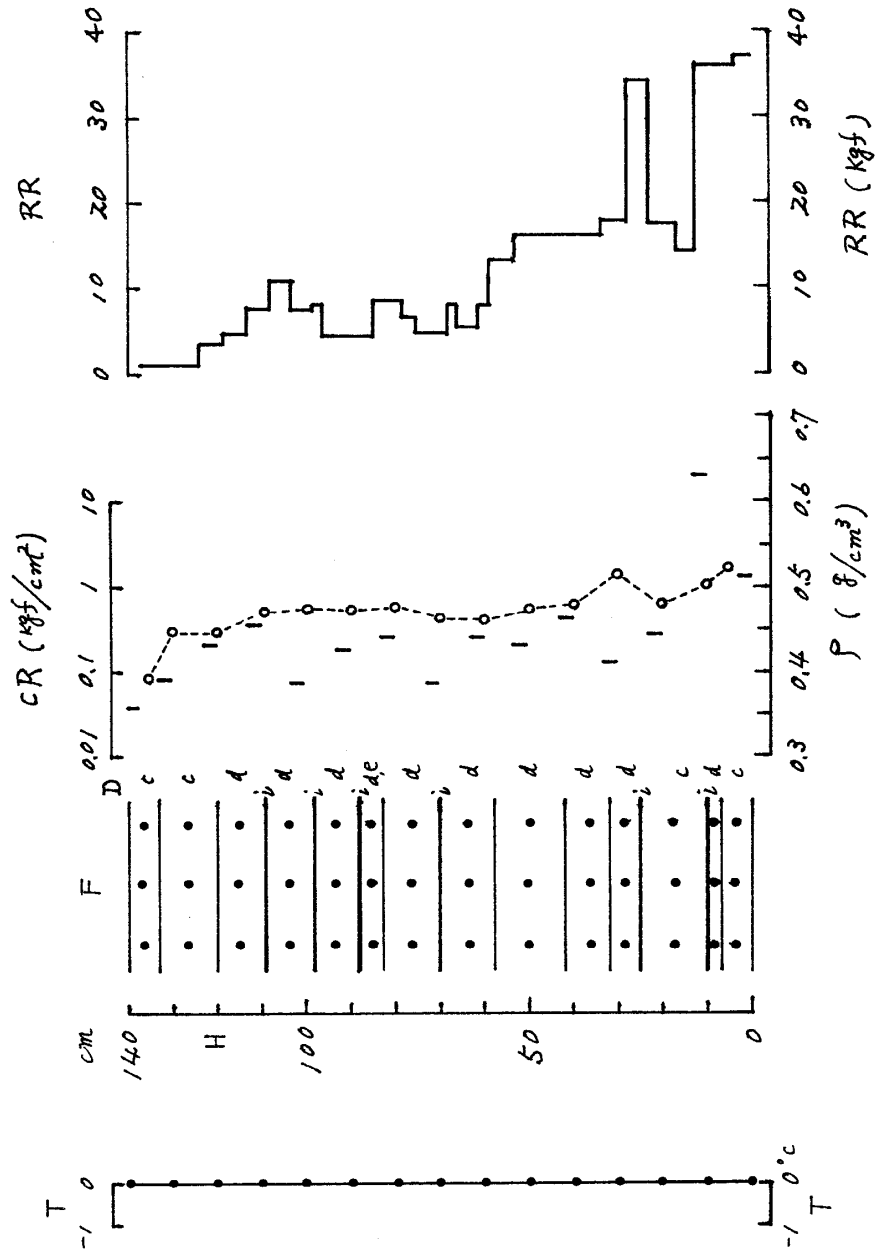


図9 積雪の断面観測図(新潟県北魚沼郡守門村細野)

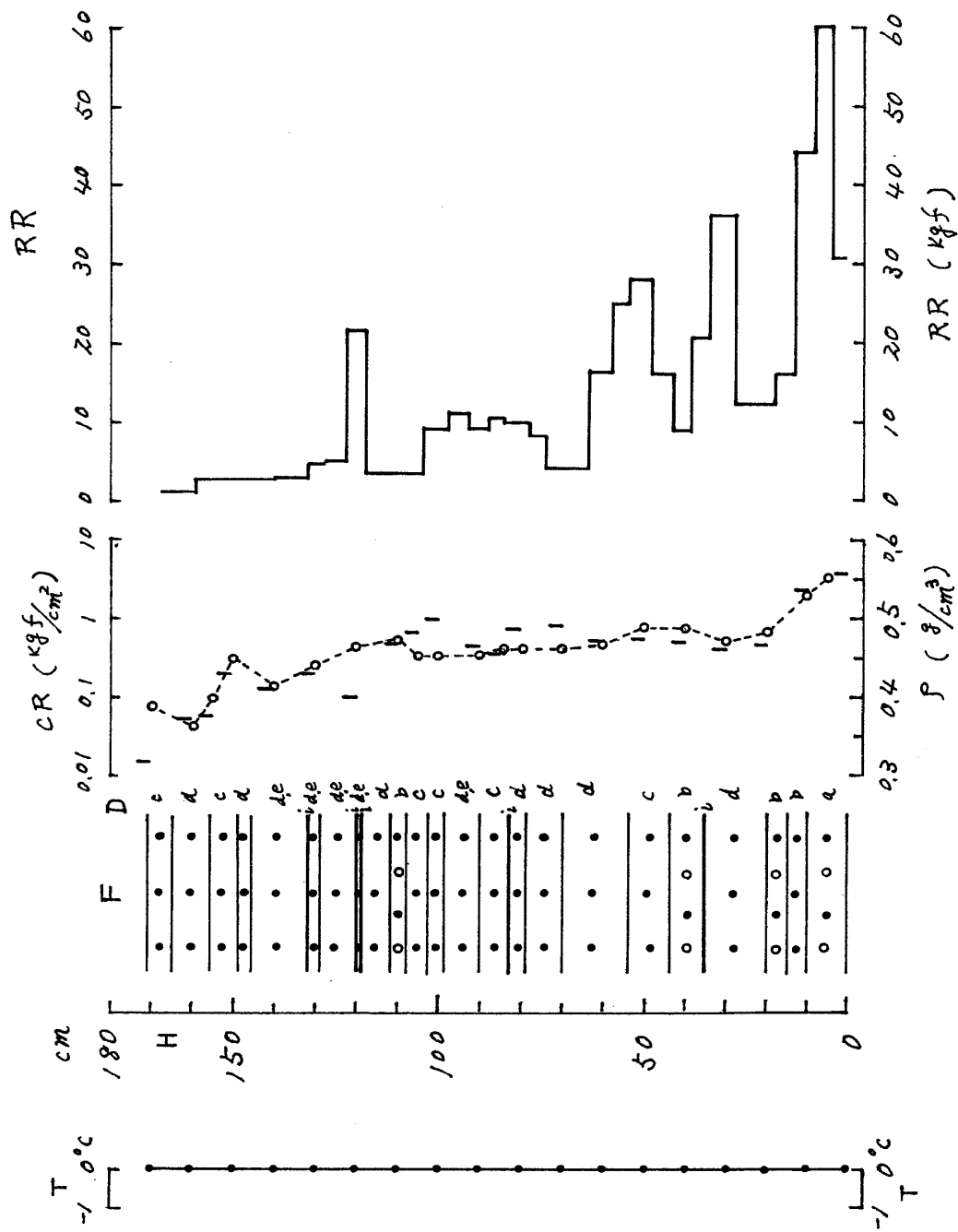


図 10 積雪の断面観測図 (新潟県北魚沼郡湯之谷村下析立)

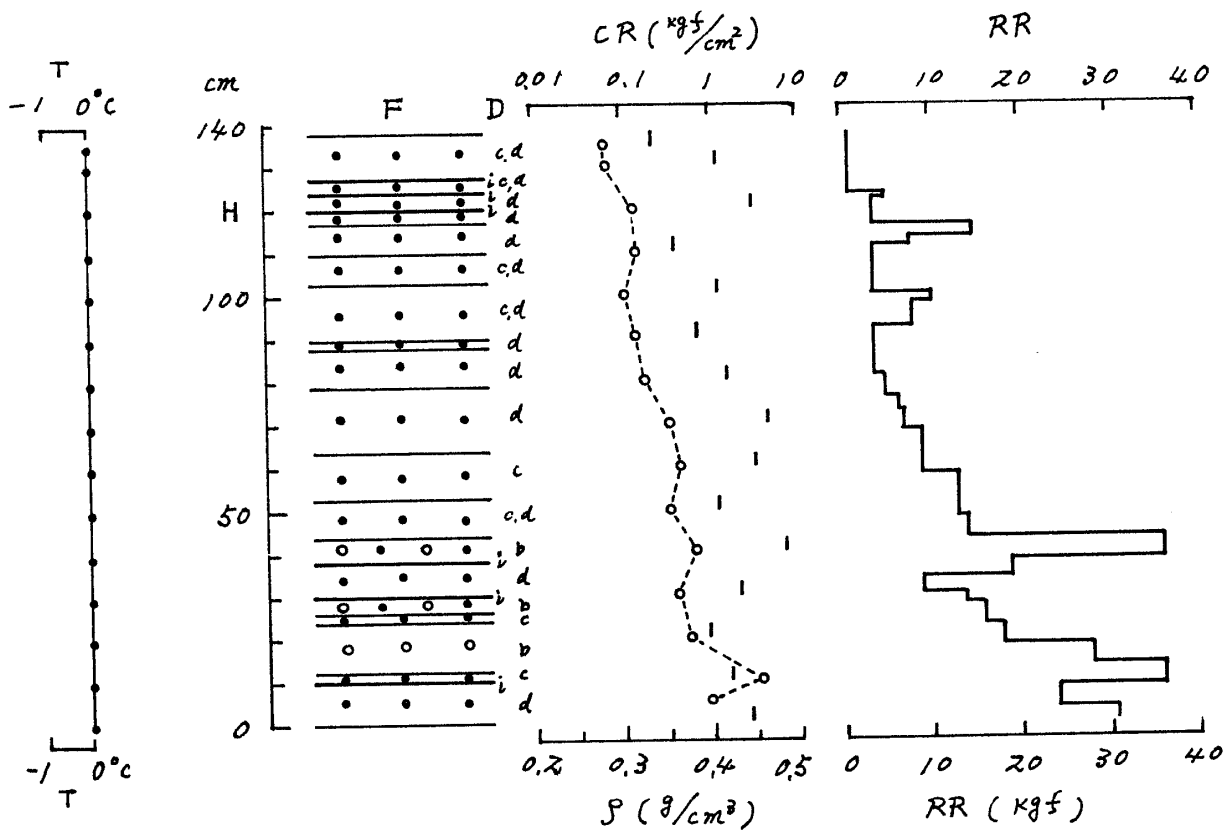


図 11 積雪の断面観測図（新潟県南魚沼郡大和町雷土新田）

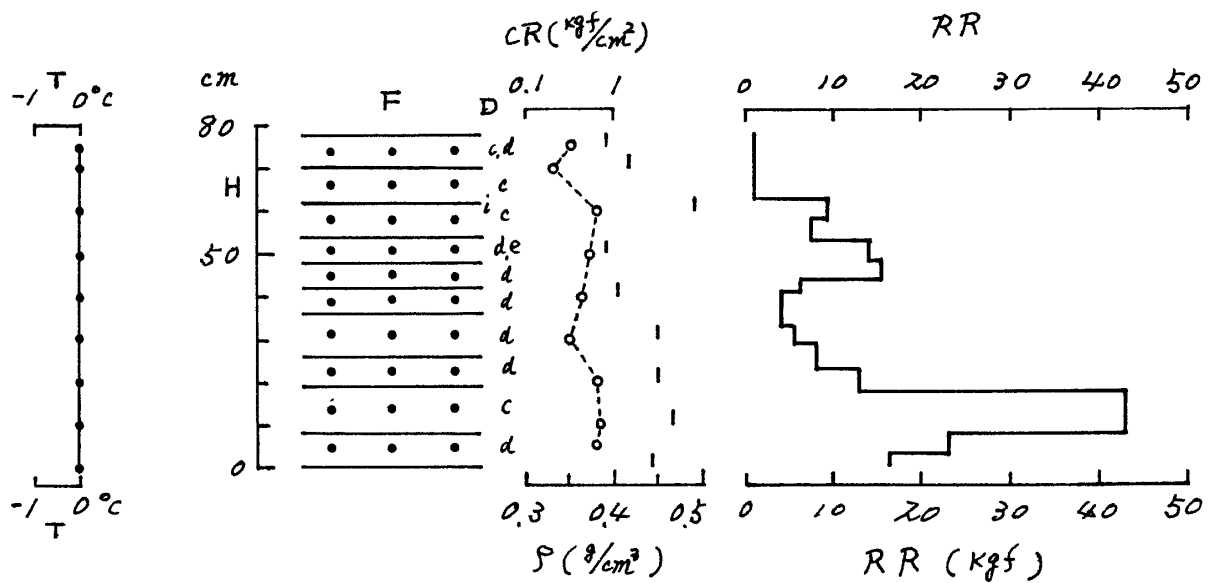


図 12 積雪の断面観測図（新潟県南魚沼郡六日町美佐島）

## 6. おわりに

本報告は、研究テーマ「雪氷災害の発生に関する統計的研究」において、当センター管理部企画課資料調査室で収集した資料も含めて、1986～1987年冬の降積雪に伴う被害の実態をまとめた。

基本資料が新聞を通して得た情報が中心になっているため、各分野の機関や担当者の資料とは異なる。これは新聞の情報が、降積雪に伴うすべての被害を記事として扱うのではなく、新聞社の扱うニュースの量や価値によって、情報が取捨選択された記事を掲載しているためである。

降雪や積雪に伴う被害は、規模が比較的小さい場合が多い。しかし、1件1件の被害は小さいが、広い範囲で長期間にわたって発生するため、結果として大きな被害になってしまう。

最近の被害の発生傾向としては、高速道路での凍結路面や圧雪路面などの、路面状態による走行車両のスリップ事故の連結的大規模化と、家屋の屋根雪下ろし作業者の転落、歩行者や除雪作業者の河川、用水路、側溝、流雪溝などでの死傷事故の増大が指摘出来る。前者は積雪地域の道路機能の向上やモーターリゼーションの急激な進展から、後者は生活様式（除雪や雪処理方法の変化）の著しい変化から生じて来たと考えられる。

科学的な雪害対策が重要なことは言うまでもないが、新しい技術や用具を取り入れて生活している積雪地域の住民が、生活様式や社会構造の変化を認識し、十分に理解して生活することも、今日では雪害を低減する重要な要素となって来たと言えるだろう。

## 参 考 文 献

- (1) 五十嵐 高志 (1987): 1985～1986年冬の積雪に伴う被害, 防災科学技術研究資料, 第118号, 143pp.
- (2) 五十嵐 高志 (1987): 長岡における積雪の断面観測資料. 防災科学技術研究資料, 第122号, 72pp.
- (3) 五十嵐 高志 (1987): 今冬の降積雪の特徴と雪害の現れ方. 防災科学技術, No. 59, 22-25.
- (4) 五十嵐 高志 (1987): 今冬の降積雪の特徴と雪害の現れ方. 昭和62年度日本雪氷学会全国大会講演予稿集, 日本雪氷学会, 東京, 講演No. 129.
- (5) 五十嵐 高志 (1987): 雪害とその対策, 月刊消防, 第10巻, 第1号, 4-13.
- (6) 気象庁編 (1971): 地上気象観測法. 気象庁, 東京, 266pp. 101-104, 141-157.
- (7) 気象庁編 (1986～1987): 700MB 1200 GMT. 天気図, 気象庁, 東京. 1986年11月1日～1987年5月31日.
- (8) 与五沢和良 (1986～1987): 天気図日記, No. 373～379, 気象, P. 22～25 参照.
- (9) 日本雪氷学会 (1967): 積雪の分類名称. 雪氷の研究, No. 4 (1970) 日本雪氷学会, 東京, 57pp. 31-50.
- (10) 新潟県地方気象台 (1986～1987): 気象概況. 新潟県気象月報, 1986年11月～1987年5月, P. 1 参照.
- (11) 納口恭明・山田穰・五十嵐高志 (1987): 雪害実験研究所から見通せる自然斜面上での雪崩発生状況. 昭和62年度日本雪氷学会全国大会講演予稿集, 日本雪氷学会, 講演No. 416, P. 144.
- (12) 大島 広美 (1987): 全国 地点の気温の経年変化, 気象, No. 359, P. 41～43 参照.
- (13) 清水 弘 (1965): 積雪観測法. 雪氷の研究, No. 4 (1970), 日本雪氷学会, 東京, 57pp. 1-28.
- (14) 田中 康夫 (1987): 1987年日本の天候 — 冬の天候経過 — 気象, No. 363, p. 8～10 参照.

(1988年6月23日 原稿受理)

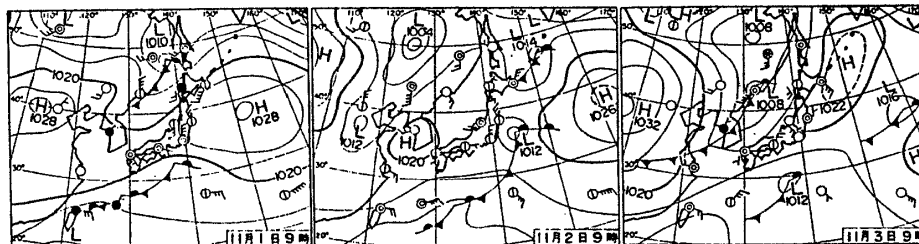
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

1986年11月

## 三原山噴火

- ・この7月から噴気活動を続けていた伊豆大島火山は今日21日に大噴火した。
- ・火口列のび、1421年以來の山腹割れ目噴火となる。その後小康となるが、道路亀裂などが拡がり住民避難のまま長期化の様相。
- ・降水量が少なく近畿、東海地方はダム放流など渇水対策スタート。



### 1日(土) 一の西

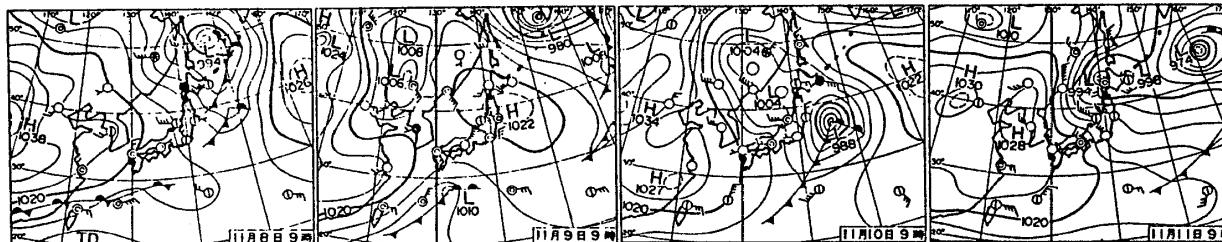
移動Hにおかれ、ほぼ全国的に①。朝の内冷え込み、新庄から初霜、初氷の便り。日中も寒く宮崎16.2°Cで平年比-6°C。南西諸島には暖湿流入り、日雨量宮古島250mmの大●。

### 2日(日) 小春日和

南岸の雲域は東海上に抜け、ほぼ全国的に①。特に東日本～北日本では○でmaxも平年より+2～3°C。東京は昨日より+6°Cの20.8°C。日光・秩父屋外スケートリンク、オープン。

### 3日(月) フェーン現象

日本海をc・f下り、日本海側の各地昇温。新潟max22.0°C(平年比+6°C)。c・f活発なため、1010頃足摺岬で竜巻。関東の南にL発生し夜●。木更津日雨量30mm。大船渡Ⅲ。大島Ⅲ。



### 8日(土) 穏やかな立冬

谷が抜けて一時的な冬型となるも寒気は弱い。南西諸島F帯で南大東島の日雨量35mm。朝の内、日本海側～北日本●。夜、北海道では③に変わる。石川県宝達山、日雨量20mm。

### 9日(日) 雨域、東北へ

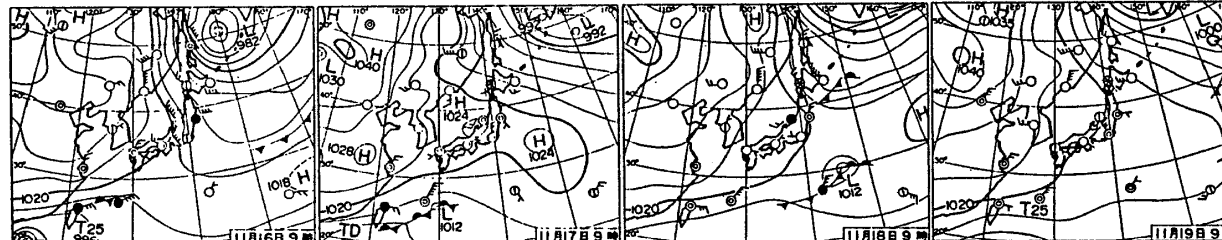
九州のL、発達しながら南岸に。夜には関東・北陸・東北まで本格的な●。関東から九州にかけては12月上旬頃の肌寒さ。奥多摩・箱根紅葉見頃。菊花賞メジロデュレン制覇。

### 10日(月) 帯広、初雪

発達しながら東海上へ。別のLが北海道の西に残っているが、大陸のHが日本付近に張り出し冬型となる。関東明け方小●、のち急速に①で冬型の天気分布。アキノ比大統領来日。

### 11日(火) 冬型、強まる

沿岸州上空500mbで-36°Cの寒気団。富士山頂も06時で-16.8°Cまで下る。Lに近い羅臼で強いエコー、06時のアメダスで23mmの降水。酒田0830最大瞬間30.0m/s。金沢峠20cm③。



### 16日(日) 大島有感55回

1846頃大島Ⅳを第ⅢにⅢクラスの地震ノックりなしに起る。溶岩噴出も高度200～300mに達する激しさ。日本付近は強い冬型が続き、旭川では38cmの③。南西諸島F帯で●。

### 17日(月) 北高型

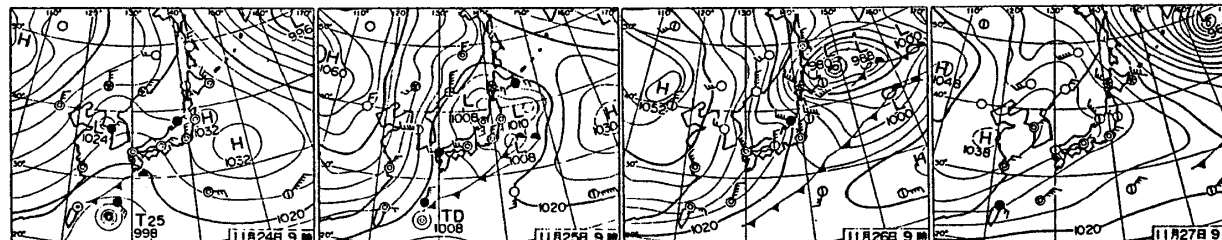
北東流入り、関東は日中12月中旬の肌寒さ。明け方の冷え込みも強く、宇都宮で-0.5°C、初の氷点下。前橋初霜。水戸・小名浜初氷。南西諸島はF帯で沖縄の本邦日雨量108mm。

### 18日(火) ゆるやかな冬型

放射冷却が加わり各地で強い冷え込みとなる。長野min-1.8°Cなど。熊谷・岐阜初霜。石巻・仙台・八王子・前橋初氷。日中①で小春日和。建設省渇水対策本部スタート。大島Ⅳ。

### 19日(水) 山腹へ溶岩流

1035頃大島警察署で確認。火口茶屋も炎上。有感地震は、16日以来152回となる。日本付近は移動Hにおおわれたが、関東南岸は弱い谷。札幌積雪2cm、max1.3°Cで平年比-6°C。



### 24日(月) 三原山、小康

噴気も弱まり、有感地震も減るが海面の変色域や地割れ発見。不気味な沈黙。台25号1500にTDとなり北上中。活発なF上にL発生。屋久島の尾之間では2日間の雨量255mm。

### 25日(火) 3億3千万強奪

有楽町駅前0824頃現金輸送車襲われる。水不足の南岸地方に昨夜から●が降ったが、渇水の名古屋7mm、大阪3mm。伊豆大島では噴火以来初の●となり24mm。2玉L抜け冬型。

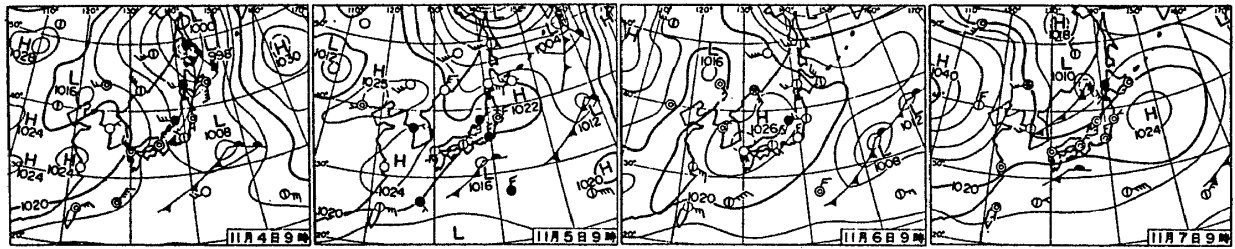
### 26日(水) 近畿、木枯し1号

冬型強まり、平年より19日遅い木枯し1号。千島近海のLは夜968mbとなりさらに発達中。札幌に暴風雪波浪警報、空便止まる。大島の児童は都内の小中校に編入、頑張る。

### 27日(木) 赤城山初冠雪

午後移動H型となるが、しぐれは続いて。日雨量新潟県川谷36mm、大海22mmなど。四国・九州放射冷却強まり冷え込む。min熊本0.8°C、松山1.5°C。河口湖初雪。天神平③75cm滑走可。

## 付図 天気図と気象概況

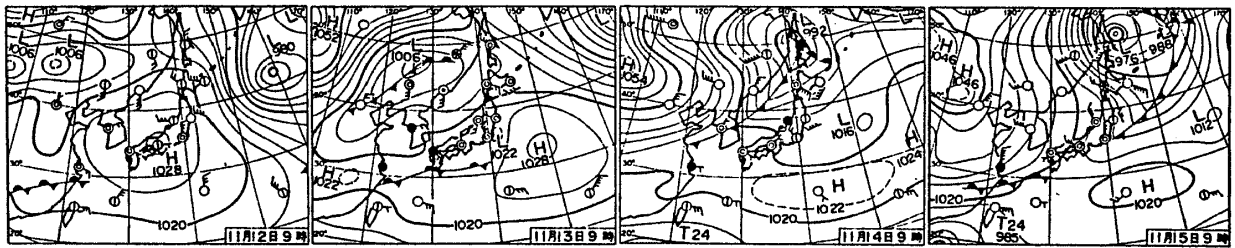


4日(火)米, 民主党大勝  
中間選挙の結果, レーガン苦境に。  
午後からc・f南下し冬型となる。北  
陸から北の各地しぐれて, 時間10mm  
ぐらいの●。関東も①の●で所々  
●。相模原46mmの日雨量となる。

5日(水)小名浜, 水戸Ⅲ  
1100頃福島県沖で深さ約40Kと推定。  
八丈島の南西にL発生東進。昼前後  
から関東各地で小●。本州中部も①  
で所々小●だが, その他は①。北東  
流が入り東京は夜中がmaxで肌寒い。

6日(木)明け方冷え込む  
0600長野県開田-5.0°C。放射冷却  
が強まり, 米子・境・松江では半月ほ  
ど早い初霜。明け方の冷え込みが尾  
を引き, maxも北海道西部で平年比  
-5°C, その他-2~3°C。全国的①。

7日(金)気圧の谷に入る  
移動H東海上に去り, 日本海にFを  
伴うL北東進。四国沖から南西諸島  
もF帯。北海道と九州で所々●。そ  
の他も曇多い。日雨量, 稚内40mm。  
秋田県阿仁谷47mm。ヤツデ花盛り。

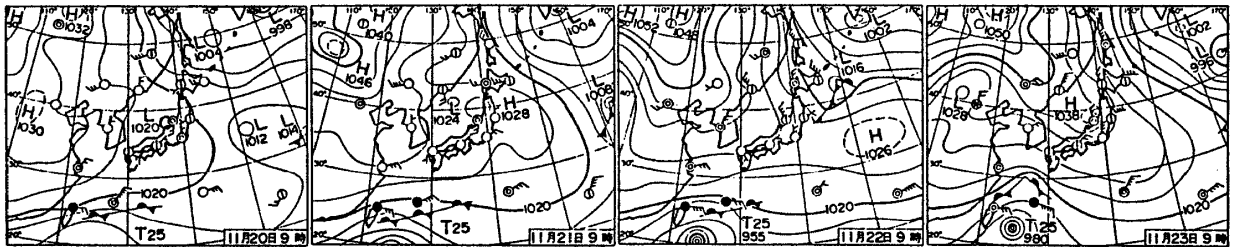


12日(水)冬型ゆるむ  
日光, 今朝までの②12cm, 日中はチ  
ラつく程度で移動H型に。冷え込み  
強く松本min-3.1°C, maxも10.7  
°Cでいずれも平年比-3~4°C。ほ  
ぼ全国的①。2151頃日光Ⅱ。海苔農作。

13日(木)米, 中西部大寒波  
-20°Cの寒気団が急速に南下し, 凍  
死者も出るほど。冬じたく前の農薬  
に波及か。天気図上に1052mbのH  
出現するが, 日本付近は谷の中。銚  
子沖にL発生。昼近畿以西は●。

14日(金)『しらせ』鹿島だち  
28次南極観測隊出発。第1次の宗谷  
を同じ暗海に見送ったが装備, 規模  
ともに今昔の感ひとしお。c・f南下  
し気圧傾度急, 寒気団も強く北海道  
大荒れ。伊豆大島, 噴気100m上る。

15日(土)三原山噴火  
1725頃12年ぶりに噴火。谷が抜け,  
北日本強い冬型となる。暴風雪波浪  
警報の出ている稚内では地震計が脈  
動するほどの激しさ。台湾では早朝  
M6.8, M6.3の地震で被害, 与那国Ⅲ。

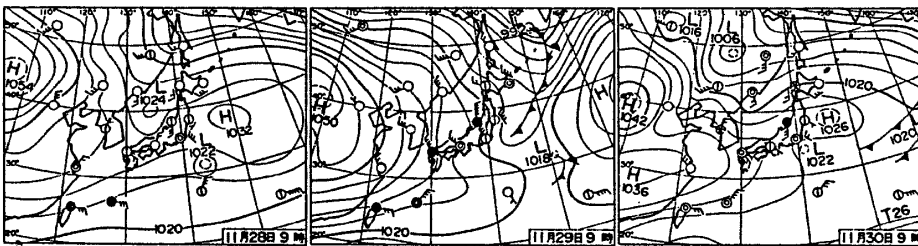


20日(木)全国的に②  
移動Hゆっくり東進, 0300能登半島  
にL発生。沖縄の南にF帯でき, 八  
重山で100mmを超える●。北陸~東北  
でにわか●。北海道西部にわか②。  
千島列島でも大規模な火山噴火確認。

21日(金)大島, 大噴火  
1539から活発化して1617頃大噴火。  
溶岩は外輪山を越えて元町方向に流  
出。Vを含む有感150回を越え2023  
全島に避難命令。関東各地で空振現  
象。館山2300頃降灰, 火山雷も望見。

22日(土)徹夜の脱出  
大島々民と観光客およそ1万人は無  
事離島に成功。0941頃M6.1の地震  
も発生。三宅島・館山Ⅳ。東京・横  
浜Ⅲを始め関東甲信で有感。溶岩流  
は建物まであと100mに迫る。

23日(日)桜島, 噴石  
桜島南南, 空振を伴い16時過ぎ噴石。  
2~3m大, およそ5tの石がホテル直  
撃5人ケガ。三原山は1143頃の噴火  
を最後に小康, 有感60回。台25号の  
暖湿流入り, 種子島に大雨洪水警報。



28日(金)第2次取水制限  
濁水の大坂で今日から始まる。琵琶  
湖の水位-81cm。強い冬型で寒気入  
り, 近畿~中国地方で平年比-4~-  
5°Cのmin。大阪初霜。名古屋初氷。伊  
豆大島の道路亀裂拡大。台26号発生。

29日(土)真冬並の気温  
明け方の気温は平年比+4~+5°C  
と暖かったが, F抜けた後冬型が強  
まり, 日中は全国的に平年比-5~-  
6°C寒さ。H北偏し関東②夜●。C724  
頃茨城県沖でM6.0。小名浜・銚子Ⅳ。

30日(日)九州凍える  
移動H型で冷え込み強まる。九州か  
らは初霜, 初氷の便り多数。H, L  
の動き速く, 夜にはL北海道に接近,  
c・f北日本へ。1500八丈島の東にL  
発生し銚子で小●。札幌積雪14cm。

## 火山用語

火映現象: 大量の溶岩が蓄積され  
ると上空の空が赤く染まって見える  
現象。15日1630頃三原山上空で観察。  
空振現象: 噴火による爆発で空気  
の圧力が上がり, 周辺に衝撃を与える  
現象。窓ガラスなどがガタガタ鳴る。  
割れ目噴火: 火口が岩脈に沿って  
亀裂状に広がる状態。三原山は山  
頂の火口とは別に, 新たな割れ目か  
らマグマが噴出した。  
水蒸気爆発: 赤熱のマグマが水中  
に流れ込み, 水が急激に熱せられて  
膨張し爆発する現象。58年の三宅島  
噴火の際も小規模ながらみられた。

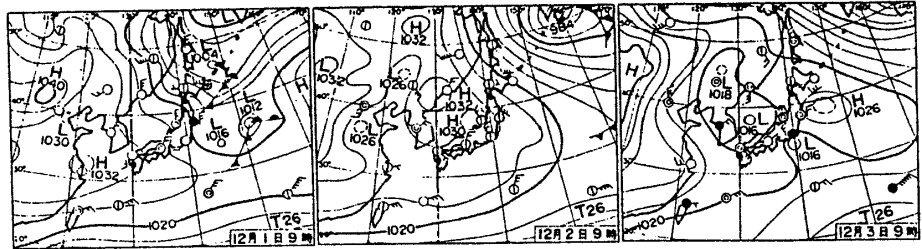
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

1986年12月

伊豆大島帰島

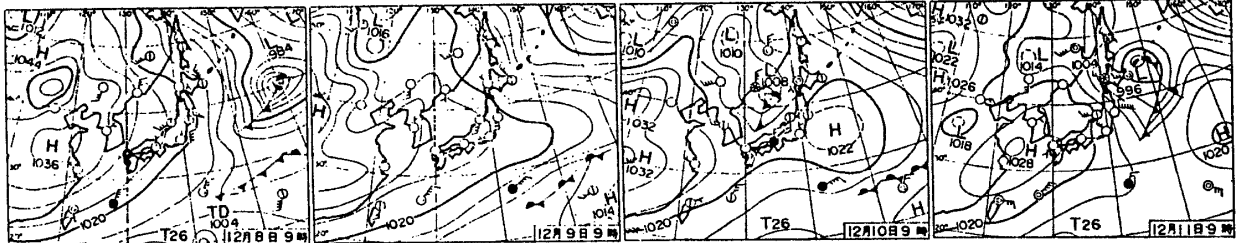
- ・大噴火後、避難をしていた島民の帰島が19日夜から始まり、お正月を自宅で過ごせることになった。前日の18日に再噴火し帰島が危ぶまれたがゴーサイン。
- ・冬型が永續せず天気は短周期変化。このため太平洋側多雨、日本海側では少雨。



**1日(月) 東京、初霜**  
早朝、気圧の谷が抜け冬型となり寒気入る。関東冷え込む。東京平年より4日遅い初霜。0515頃宮城県沖深さ50KでM6.0、大船渡、盛岡、石巻IV。赤ちゃんパンダ命名、トントン。

**2日(火) 北海道、真冬日**  
稚内max-0.8°C、旭川-0.7°Cで平年より3~4°低目。冬型ゆるみ移動H型となる。北海道西部でにわか雪の他はほぼ全国的に日中①。夜谷接近し、九州~四国南部でにわか雪。

**3日(水) 一時帰島始まる**  
早朝、関東の南にL発生し北上。伊豆諸島●。大島19mmと無情の●。北日本は移動Hにおおわれるが日本海にも別のL発生。早朝冷えて新潟、相川初霜。秩父の夜祭り●。銚子Ⅲ。

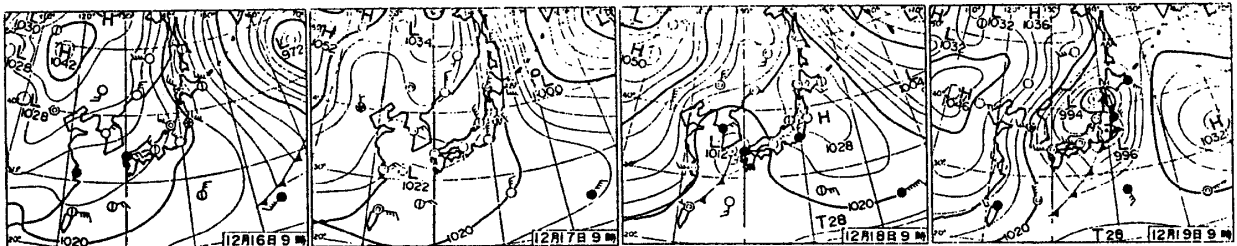


**8日(月) 観測体制強化**  
全面帰島にむけて大島の観測器58台新設。冬型一時的に強まるも次第に季節風収まり、日本海側でも青空ひろがる。1300東京、今冬初の異常乾燥注意報、正午34%、実効51%。

**9日(火) ビートたけし逮捕**  
人気者たけし講談社に集団抗議。本州南部冷えて、房総各地で初霜。館山、宇和島初氷。07時アメダス1300か所中●は宮古島城辺1mmのみ。冬型ゆるみ移動H型に、東京max14.5。

**10日(水) 移動H東へ**  
日本海北部にFを伴うL発達しながら東進。暖気入り、max東京、横浜17.8°C。紀伊半島沖のL東進して房総でも夜●。日雨量、館山5mm。山形の小国35mm。伊良湖で初氷。

**11日(木) 短い冬型**  
一時的に冬型となるが、夜は西からゆるむ。北海道の一部で雪チラチラ。その他①。max上り、弱い谷が通過。1328頃名古屋Ⅲ、新幹線上下におくれる。網走で港内結氷、最早。

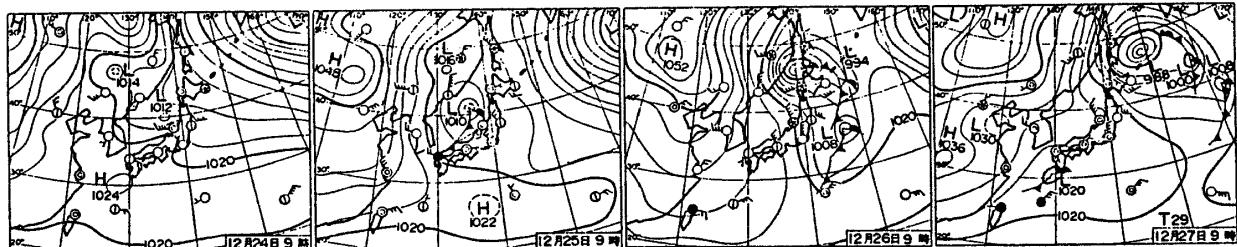


**16日(火) 桜島、活発**  
昨日23時から本日未明にかけて地震322回、火映あり臨時火山情報出る。強い冬型で稚内500mbは-40°。網走、日降雪量49mmで12月第1位の記録、大雪警報も。0912頃八丈島Ⅱ。

**17日(水) 冬型続く**  
15日夜からの雪網走56mm、札幌44mm。夜には大陸東岸にL発生東進。三原山0915頃から火山性微動を観測、歪計のびに転じるなどの変化があり臨時火山情報出る。洲本で初霜。

**18日(木) 三原山、再噴火**  
1723頃激しい爆発音と噴動。火柱を伴い山頂噴火始まる。帰島先発組に避難命令出るが1930頃ほぼ沈静化。日本海にL入り発達。四国~九州で時間40mmの強●。1610南国市で竜巻。

**19日(金) ニツ玉L発達**  
0130頃愛知県下で竜巻。0640富士山頂に落雷、観測不能。突風、強雨で関東~東海地方冬あらし、電車の不通も出る。日雨量天城山147mm、御殿場137mm。大島最大瞬間39.1m/s。



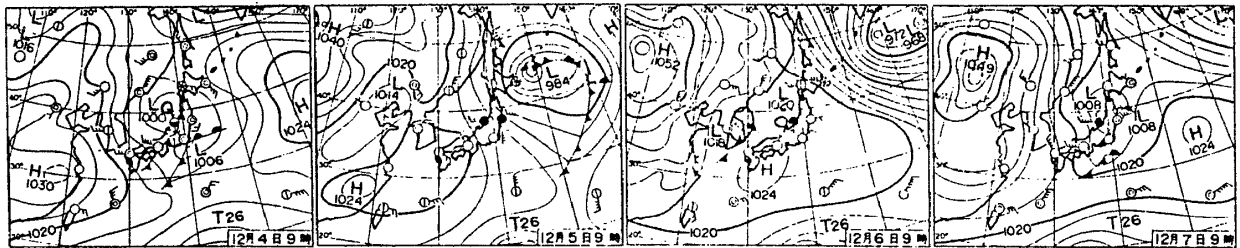
**24日(水) 冬型ゆるむ**  
南H北L型となりmax上る。特に中部、北陸、東北で+6°C前後の1か月以上前の陽気。福井、積雪なしのイヴは23年ぶりのこと。1911頃和歌山Ⅱ。ソ連ドネツク炭田でメタン爆発。

**25日(木) 暖いクリスマス**  
明け方前に日本海でL発生し、発達しながら北海道へ。c.fも本州付近を通過。西日本の●東にひろがる。南分が入り、ほぼ全国的に4°C前後高く、北陸でも●。大分ツバキ開花。

**26日(金) 冬型強まる**  
2100札幌500mbで-44.3°Cの寒気。発達中のLは夜オホーツク海へ進み、北日本は強い冬型となる。1820秋田西北西26.6m/sの突風。全国的に季節風強く気温下る。中日の落合養生。

**27日(土) 新幹線初の雪規制**  
九州のすぐ南にL発生、発達しながら南岸沿いを東進。関東も夜●降り出すが箱根より西では●。広島県下も●のため、新幹線1500過ぎから徐行。1434頃20日より大島Ⅱの有感。

## 付図 天気図と気象概況



## 4日(木)列島,大荒れ

日本海をLが発達しながら東進し、中心からのc-fが列島を縦断。各地で突風吹き荒れ、0730松江で径8mmの降雪、落雷も。早朝、伊豆大島、以嶺南部で雷。午後から冬型。

## 5日(金)大島測候所移転

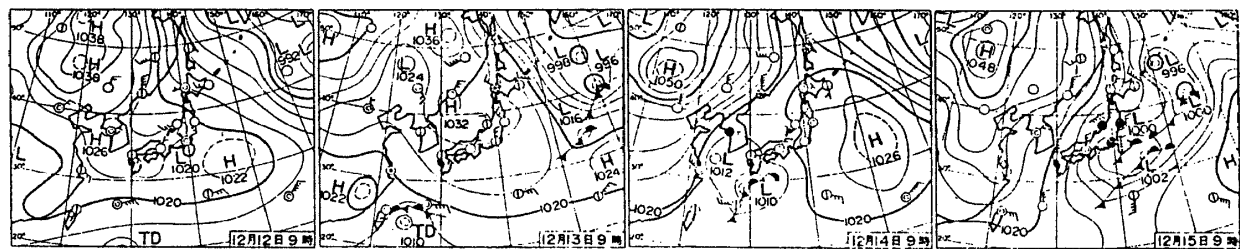
夜中にL発達しながら千島方面へ。H張り出し冬型だが午後から移動Hとなって東シナ海から西日本に進み冬型ゆるむ。大島測候所、火口列上で危険なため、大島支庁倉内へ移転。

## 6日(土)入院患者急増

噴火から半月が過ぎ、避難所暮らしの島民に身体の変調者増える。消防団員も倒れへりて都内の病院に収容。冬型ゆるみ移動H型に。風も弱く穏やかな週末。1500台風27号消滅。

## 7日(日)ポーナスサンデー

日本海をL、Fを伴い北日本から東海上に。本州南部でF弱いものの、八丈島近海で新たに発生。西日本からの●東海地方で足踏み。デパート賑わう。福岡でイカンガー優勝。



## 12日(金)福島で山林火災

異常乾燥下の相馬市山林火災延焼。移動H東に進み、登ころ関東の南にL発生。日雨量山形県差首鍋16mm。酒田13mm。初霜、福岡。初氷、佐世保。熱海の冬至梅はころぶ。京都I。

## 13日(土)宮古島大雨

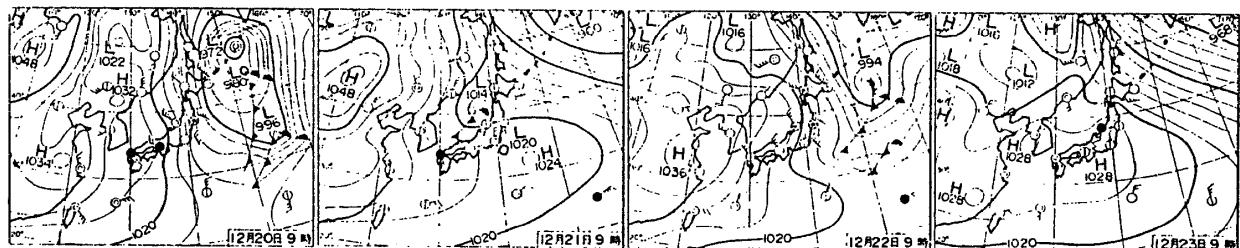
ゆるやかな冬型で午後は移動Hとなるも北偏。TD北上し、南西諸島の南にF発生。日雨量、宮古島伊良部183。城辺158mmの大雨。九州でも午後●。相馬山火事50haを焼き鎮火。

## 14日(日)低気圧、東進

このLは11日に台風26号からTDに変わり、さらに温帯しとなったもの。●域はゆっくりと東に広がる。日雨量屋久島69mm。内之浦56mmなど九州南部～四国南部で40～50mm。

## 15日(月)干天の慈雨

Fを伴うL南岸を東進、東海上へ。大陸のHにおおわれ夕方から冬型となる。東海地方の水源地で30mm前後の●。紀伊半島～関東にかけて明け方雷雨、午後は快晴。異常乾燥も一息。



## 20日(土)大島帰島始まる

北西の季節風強まる中、未明より第1陣1612人の上陸始まる。約1か月ぶりの島に夕の灯ともる。強い冬型で1227白河、北々西33.1m/sの最大瞬間。十勝岳、火山性微動を観測。

## 21日(日)大阪、初氷

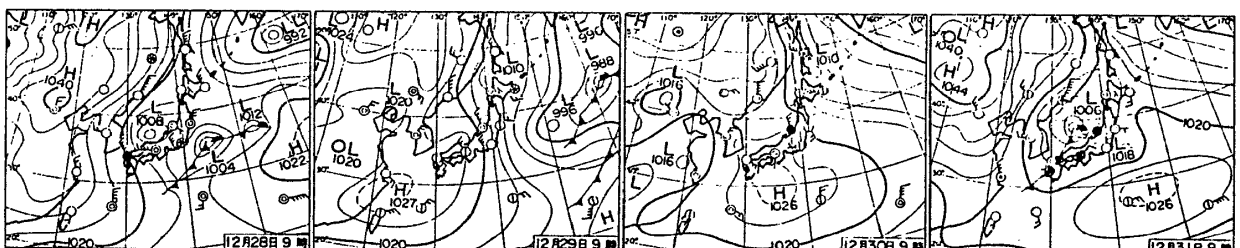
冬型ゆるみ日本海にL東進。関東にも弱いL発生し、東京郊外で朝のうち霰や小雪。西日本を中心にやや冷え込み。大阪、和歌山、徳島などで初氷。駅伝、市立船橋高校優勝。

## 22日(月)インド大寒波

冬型で強い寒気団。500mb天気図上の寒気は、カラフトにあり-45°C以下。札幌も-37.9°C。max北海道で平年比5～6°C低目。インドで20年ぶりの大寒波。凍死者多数の外電。

## 23日(火)月光に導かれて

ボイジャー無給油、無着陸地球一周9日間の快挙。移動H東進して、午後日本海と関東付近にL発生。東北～北陸昇温して雪なしの所多し。東京min 2.2°Cで初氷。台29号発生。



## 28日(日)列車、突風で転落

1330頃山陰線余部駅で、死傷12人。南岸のLは発達しながら東海上へ。山陰沖のL接近し、ふたたび●～●の所多し。東京の積雪2cmは12月として過去30年間で第1位の記録。

## 29日(月)列島ブルブル

広島、勝浦、網代で初氷。03時富士山-26.0はほぼ全国的に冷え込む。min宮崎-1.5、熊本-2.8。輪島500mbで-27.9と昨日より10°C上り。●峠を越える。帰省で都会ガラガラ。

## 30日(火)長野市でIV

0938頃長野県北部深さ10kmでM6.0。市内で石垣崩れ、窓ガラス、水道管破裂。松代、諏訪、松本、軽井沢。静岡県下で新幹線に影響出る。移動Hで東日本放射冷却。宇都宮-6.1°C。

## 31日(水)年末低気圧

発達しながらL、日本海へ。海、山共に大荒れとなる。暖気が入ったので暖い大晦日となったが、夜抜けて冬型。九州の●は本州中部でストップ。1720相川で26m/sの北西の突風。

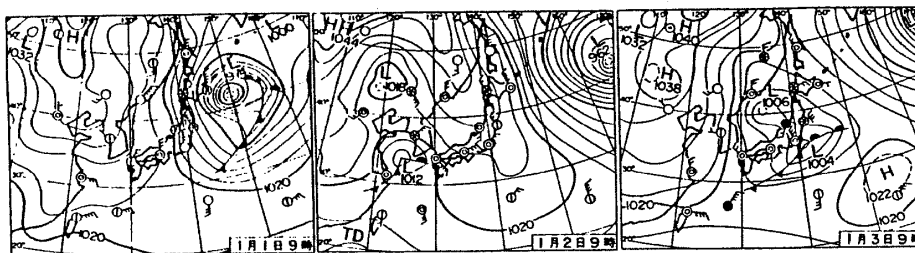
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

1987年 1 月

ヨーロッパ大寒波

- ・ソ連～欧州にかけて巨大な寒気団が居すわり、バイカル湖周辺の油井地帯で-60℃を記録。社会生活に大きな支障となる。
- ・伊豆大島の火山性微動は、元日から活動を増減させながら続く。エネルギーの蓄積が大きく予知連も噴火の可能性を指摘。
- ・月平均気温は北日本で平年より1℃ぐらい低くその他は高く暖冬。



## 1日(木) 東京、異常透明

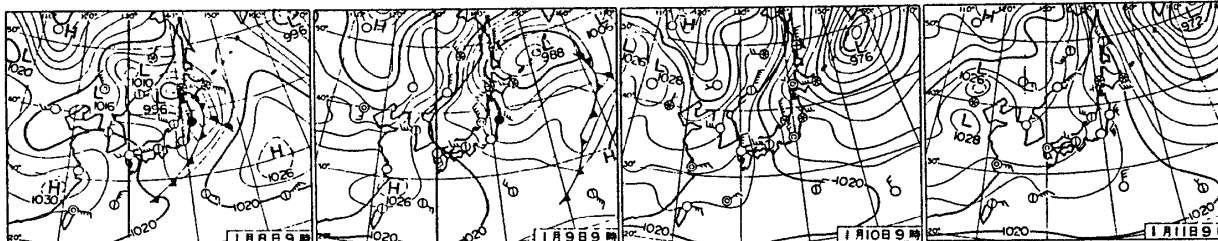
視程70Kで空澄む。早朝から冬型となり、全国的に季節風強まる。三宅島で30.4%の突風も。北海道では風雪が強く、昨日からの雪50cmを越す。2340頃から大島で火山性微動。

## 2日(金) 大島に観光客

年末、元日と大シケだったが、本日フェリー接岸。冬型ゆるみ黄海にシ、発達しながら山陰沖に進み、九州の●は夜には関東へ。越年台風29号南シナ海でTDとなる。沖縄、大●。

## 3日(土) 暖気入る

06時富士山頂-5.1℃。0710三宅島をc-f通り気温が7℃も急降下。朝の内は関東でも1～2mmの弱い●だが御前崎89mm、石廊崎63mmなど、ライスボール京都大日本一に、水戸II。



## 8日(木) モスクワ震える

昨日に続いて市内で-36℃。郊外で-39℃。このため日本人学校の始業式も延期。c-f付近の紀伊半島～東海地方で雷。暖気入り全国的に7°前後高目のmin。松本2.5℃(+9°)。

## 9日(金) 盛岡、大船渡V

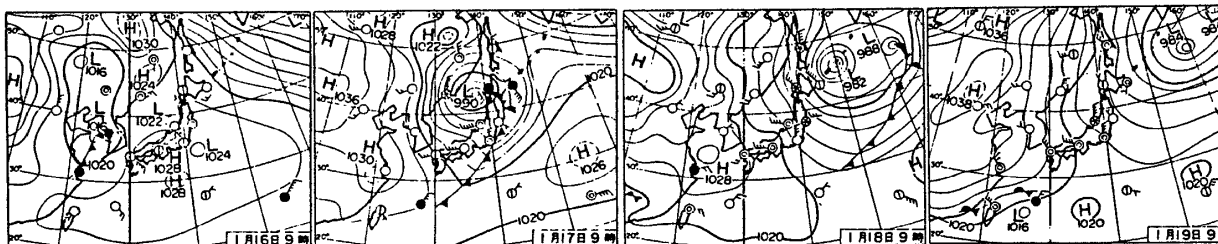
1514頃富古の北西でM6.9。東北中心にグラリ。L抜け一時的な冬型となる。寒気流入して新潟1730今冬初の大雪警報。13時前後から西日本の広域で黄砂。カロリン近海で台1号。

## 10日(土) 未明、余震続く

0240頃盛岡IVを筆頭に昨日の余震続く。強い冬型となりバイカル東方で1060mbのHあらわる。山型で高田でも50cm前後の雪。山形今冬初の大雪警報。欧州寒波で49人凍死の外電。

## 11日(日) 秋田で竜巻

0120頃から県下広域で被害出る。'63、'83年に続き1月としては3度目。大雪続き。スキー場はホクホク。次第に冬型ゆるんで夜、沖縄近海にF。L発生東進。湖畔・長崎で初氷。



## 16日(金) 欧州、寒波続く

凍死、鉄道事故。暴風による船舶の転覆など。寒波による犠牲者多数の外電。日本列島は暖冬傾向続きmaxは4～8℃も平年より高い。夕方から西日本で●。中国、胡耀邦辞任。

## 17日(土) 寒中の「春一番」

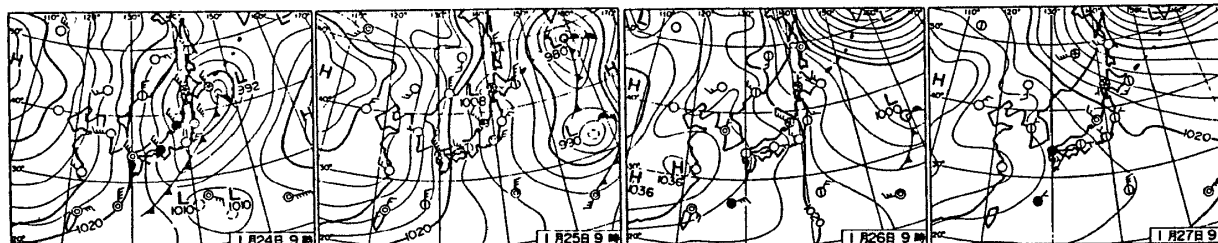
春一番型となり暖気入る。全国的にmax上り。四月中旬から五月上旬の陽気の所も。1430頃から近畿地方に春の使者。黄砂再飛来。L発達し、夜北海道に暴風雪波浪警報。富古IV。

## 18日(日) 都道府県女子駅伝

強風の中、神奈川最終区で逆転優勝。minは昨日の暖気残り。平年比+2℃以上。特に北日本では+7～+10℃ぐらいも。日中のmax急激に下り全国的に平年並。湯島天神の梅はころぶ。

## 19日(月) 円高、140円台に

1130過ぎ149円98銭とドル安円高進む。すぐに反発したが輸出にかけり感出る。冬型ゆるんで谷通過。1840水戸で霰。降も。日降水量新潟県平岩81mm。イイ戦争激化バスラ攻防。



## 24日(土) フロリダは寒波

南下中のc-fに南風入り。関東の明け方の気温16℃台。富士山も-6.3℃。c-fの通った西日本から冬型となり。気温は急速に下降。0610新潟県に今頃としては珍らしい融雪洪水出る。

## 25日(日) 富士山、-30℃

寒気入り。昨日より24℃も下降。輪島500mbで-38.9℃まで下り。0450と1755相次いで大雪に関する情報出る。神奈川～伊豆にかけても所々で小●。夕方、北陸に大雪警報出る。

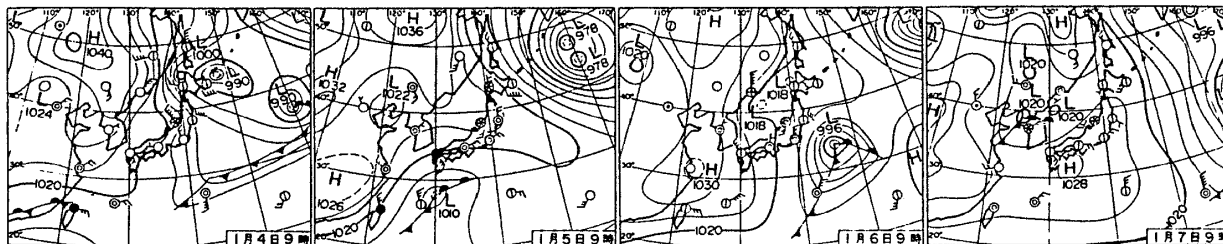
## 26日(月) 石廊崎、初氷

伊豆半島や房総半島でも氷点下となり。は、全国的に0℃以下の強い冷え込み。maxも3℃前後平年より低く寒い一日。降雪続き。北陸で50cmぐらい。夜、西日本から冬型ゆるむ。

## 27日(火) 北日本、冬型

本州南部は冬型がゆるんだものの北日本季節風続く。min釧路-20.2℃で平年比-7℃となり冷え込むが、日中はは全国的に平年並。昨日からの降雪北陸で1mの所も。1030鈍子III

## 付図 天気図と気象概況

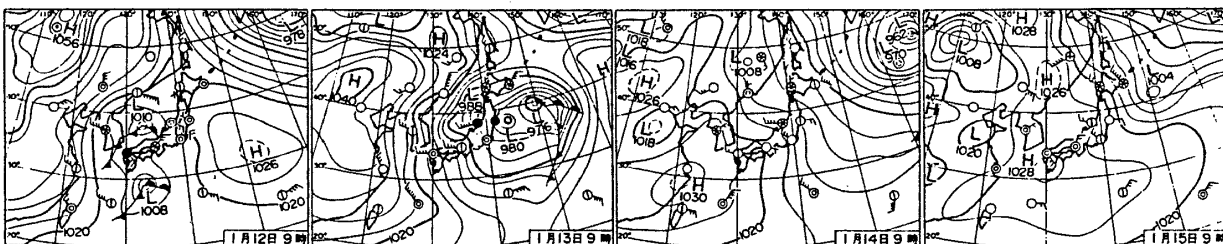


**4日(日) 北日本, 冬型**  
北海道の西のLは千島近海のLに吸収され、午後から冬型強まる。北海道には暴風雪波浪警報も、北日本は寒気が入り平年比-4℃ぐらいだが本州南部は暖い。バヌアツ沖M6.8.

**5日(月)L, 発達し東進**  
早朝、沖縄近海にF, L発生。0725、頃沖縄で竜巻き、c-fに伴うエコー9Kに達する。九州の●域は東にひろがり、夕方関東で●に変わる。東京1755大●注意報発表。

**6日(火) 東京, 積雪5センチ**  
南海上を発達中のL東進して、関東各地で●。都心5cm、多摩地区12cm前後、甲府8cm、熊谷6cmなど。09頃から止んで12時は●。新幹線は始発から徐行運転。三原山、噴気多し。

**7日(水) ソ連大寒波**  
朝鮮半島からのL、日本海へ、南海上にHがあり南H北L型。夜c-f付近で雷●。雨域東進。シベリア東部上空500mbで-40℃以下の寒気南下。北見枝幸流氷初日。モスクワ-35℃。

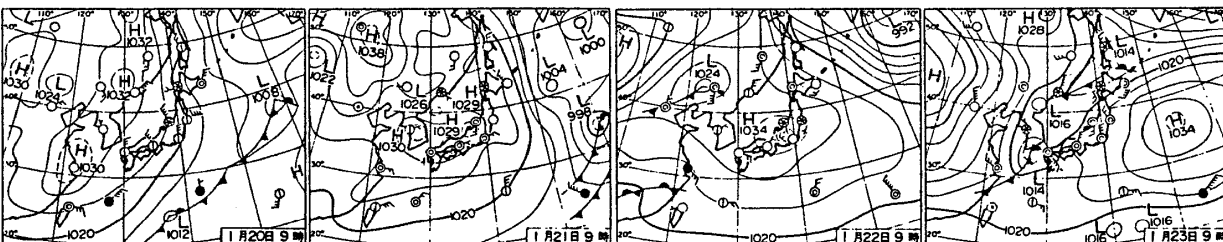


**12日(月) 首都圏, 大雪**  
2ツ玉L東進して本州南部で●。新幹線遅れ出る。首都圏の国電、●に備えて終夜運転。Lの西側には暖域があり、名古屋正午●、15時みぞれ、18時●の変化。流水、雄武に接岸。

**13日(火) 列車ホテル**  
●のため新幹線未明に東京着。都心の積●は5cm、郊外で10~15cm。寒気入り、全国的に北西風強い。1145愛媛県、広島県に大●警報出る。高知09時の積●10cmは最深記録。

**14日(水) 新幹線, 遅れ続く**  
残雪のため始発から。スッテン事故も多発。欧州では11日から猛烈な寒波となり、オイル値上昇。英、弱者に週5ポンド支給。2004頃日高山脈北部でM6.9、釧路Vなど被害も。

**15日(木) 新成人, 140万人**  
丙午の逢魔で昨年より40万人減の社会人誕生。冬型ゆるみ移動H型に。北海道西部で終日●の他は日本海側でも間がひろがり、静穏な旅立ちの日となった。0707頃高山田。

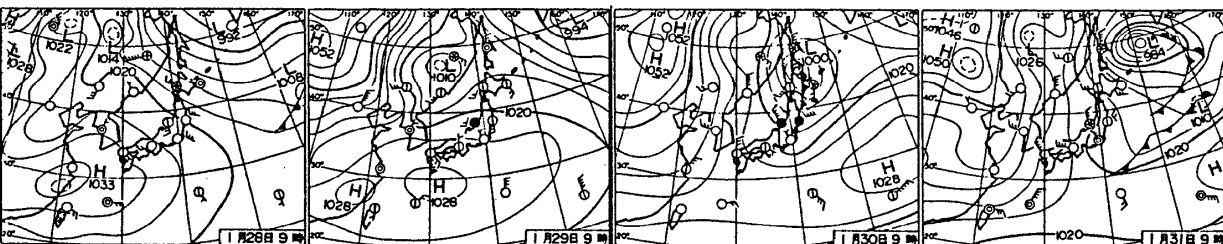


**20日(火) エイズ患者死亡**  
神戸市の初的女性患者、肺炎で死亡。北海道を弱い谷が抜け冬型しめる。北海道上空500mb-40℃以下の寒気流入。昨日からの降●妙高60cm。高田50cmを越える。枕崎で初氷。

**21日(水) 東京, 初の氷点下**  
min-0.1℃となり初の冬日。史上第2位の遅い出現。放射冷却強まり北海道和寒町福原-40.1°。網走流水接岸。大島対策本部2か月ぶりに解散。0836頃仙台などⅢ。新幹線に遅れ。

**22日(木) 東海岸に猛吹雪**  
移動Hゆっくり東進。日本海側でも多少青空がひろがり夜は快晴の所も。日中は平均比2~3℃高く、穏やかな一日。1233頃松代、長野Ⅲ。窓ガラス割れる。米、空の便完全マヒ。

**23日(金) 暖気突風**  
Fを伴うL東シナ海を東進。夜山陰沖から北陸へ。沿海州からも谷。東進して深まる。午後には全国的に●で暖気入る。四月中~下旬の降気。1730刺山で最大瞬間、南54.1%。



**28日(水) 気温上る**  
華南から移動H東進して、夜東シナ海へ。minは北陸から北日本にかけて5℃前後平年より高い。特に帯広では-4.7℃で平年比+13℃。1438頃和歌山Ⅲ。本州南部でフィノトウ。

**29日(木) 北陸などフェーン**  
30°N線上を移動H東進して南H北L型となる。本州の南海上にはHベルトとなり。暖気入る。各地で3月中~下旬の降気。北陸と山陰でフェーン。2020秋田で怪10mmの降雷あり。

**30日(金) 山形市, 積雪ゼロ**  
c-f南下し。早朝暖気入る。06時の気温は仙台10.4℃で五月上旬の降気。山形市では●が消えて、1月の●無しは14年ぶりのこと。西日本に黄砂。平均株価、初の2万円台となる。

**31日(土) 伊豆大島, 椿祭り**  
max 13.3℃で平年比+2.2。穏やかな椿祭り開催。宿泊客は例年の2~3割ほどだが、椿は暖冬気味で今が花盛り。日本付近は冬型となったが、暖かき残る。山陰~北陸、日降水量30mm。

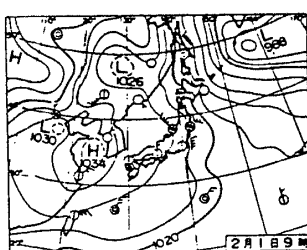
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

1987年 2 月

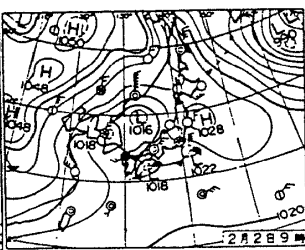
生物季節も駆け足

- ・先月に続き月平均気温は、北日本で平年並か1℃ぐらい低くなったが、その他の各地は逆に1℃ぐらい高かった。
- ・暖冬は生物季節の変化に如実に現われ、ツバキやタンポポの開花やウグイス、ヒバリの初鳴きなど最早の記録を塗り変えた地方も多く、人間社会でも、悲喜こもごもの業界があった。



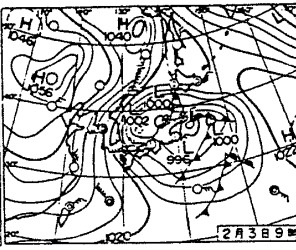
1日(日) 寒い一日

午後から冬型ゆりみ、移動H型となるが北風、max平年比3°前後低く、全国的に北風も強く寒い一日。夜、日本海西部にL、21時頃、千葉でみぞれ、日降水量石狩・西野24mm。



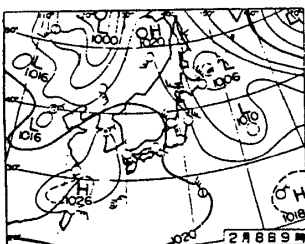
2日(月) 東京、積雪3cm

関東の南に弱いL発生し雪降り出す。東京、早朝の積雪2cm。このLとは別に南岸からもF伴うLが東進して名古屋19時6cm前後の雪。夜、谷に入り全国的に雪や雪、西日本で突風。



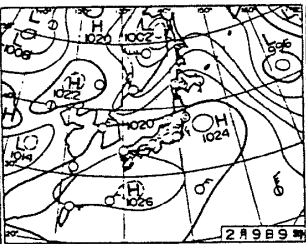
3日(火) 高松宮様、ご逝去

日本海と南岸のL発達しながら東進。名古屋〜岐阜8cmの雪で新幹線は始発から徐行。東京も2日続きの雪。宮崎市2cmの積雪は史上第2位。福島市一晩30cmの積雪は開設以来。



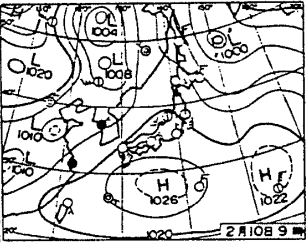
8日(日) マナヅル北帰行

出水市のツル第1陣去る。銚子からはウグイスの初音の便りも。暖冬傾向が続き、生物季節も記録ラッシュであわただしい。秋田、新潟の積雪は0cm。東京国際マラソン谷口優勝。



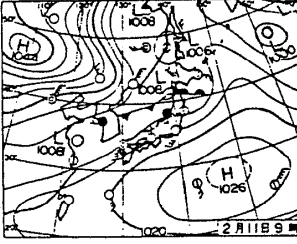
9日(月) 真冬日、道東のみ

全国的に気温が高く、max0℃未満は北海道の一部だけ。函館もmax平年比+7℃の7.5℃で雪ならぬ。西日本〜東日本の一部にも黄砂ひろがる。0330パプアニューギニアM7.4。



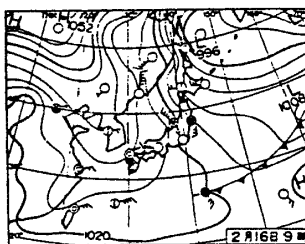
10日(火) 福岡、春一番

南H北L型が続き、昨年より1か月早い春一番となった。北陸はフェーンで平年比+10℃前後の陽気となる。真冬日は網走の-0.1℃だけ。札幌の雪まつりも雪が融け出してさんざん。



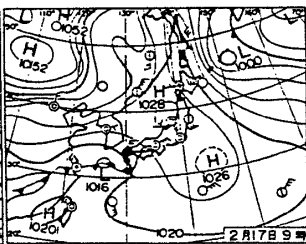
11日(水) 続いて春一番

昨日の福岡に続き九州南部〜関東甲信などで。東京の春一番は第2位の早い記録。宮古、石垣では25℃以上の初の夏日。東京もmax20.8℃。千歳空港で道霧欠航。宇都宮、水戸皿。



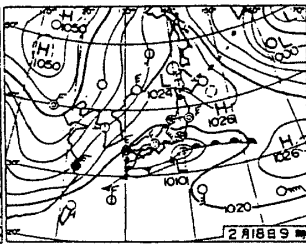
16日(月) 房総で初ガツオ

例年より半月早く勝浦港に500tの水揚げ。大陸東岸にF発生し。冬型も一時的な気配。夜、移動Hとなり北陸へ。北陸から北日本には寒気流入続き。降雪量も30cm前後となる。



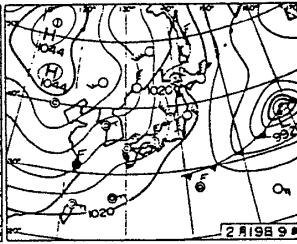
17日(火) 九州から雨

06時に九州の西のF上にL発生。東進。長崎・鹿児島など一時間に20〜30mmの強雨も。首都圏に大雪注意報。1645東京にもこの冬5回目の注意報発表。日雨量。福江94。田浦68mm。



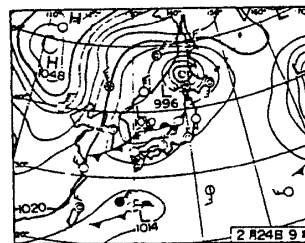
18日(水) 東京、七度目の雪

南岸をL通過し。各地に雪や雪。都心でも09時に2cmの積雪となったが曇前に雪となり午後はあがる。大陸のH張り出し。夜には冬型となる。2100椎内500mbで-43.5℃の寒気団。



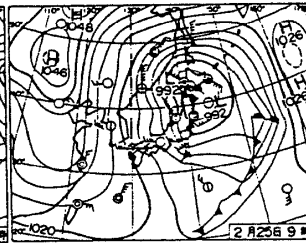
19日(木) もも1号\*打ち上げ

初の海洋観測衛星の打ち上げに成功。高性能センサーを搭載しており分解能は50m。今後の地球観測の成果に期待。山陰東部〜北日本でにわか雪。寒気入り。北海道に異常低温注意報。



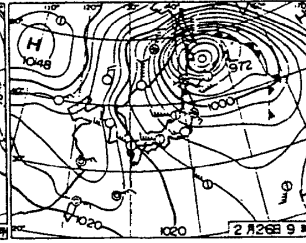
24日(火) 暖気入る

東海方面からFを伴うL。日本海で発達。夜c-f南下するも、max福岡16.7℃。大阪15.1℃。新潟14.5℃でいずれも四月の陽気。石垣島の伊原間で07時のアメダス22mmの強い雪。



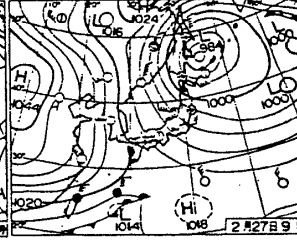
25日(水) 東京湾4mの高波

春一番型でc-f南下。各地で突風。油津0500西北西34.5%。千葉0902南西28.8%の突風で暴風雨波浪警報も。L・F抜けた西日本から強い冬型。21時輪島500mb-41.5℃。御前崎初雪。



26日(木) 東北道で38台追突

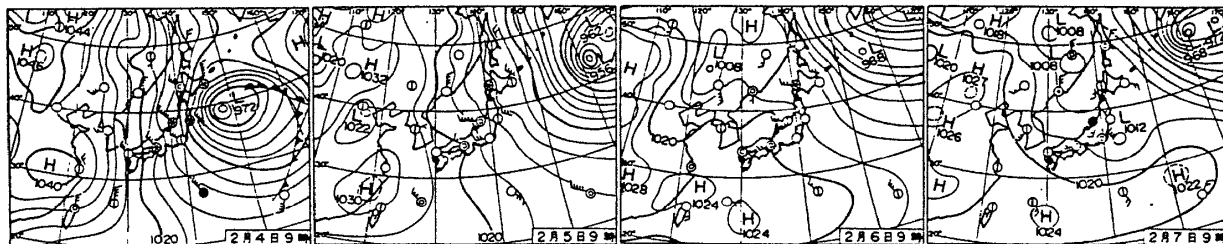
強い冬型で吹雪の中のスリップ事故。昨日からの雪。森宮野原・只見で09時に85cm。関ヶ原30cmの積雪で新幹線も徐行。全国的に強い北西風吹く。太平洋側の地方は、だいたい雪。



27日(金) 群馬県で山火事

1345頃から桐生市で出火。40haを焼き延焼中。オホーツク海のL。ほとんど停滞して冬型続く。太平洋側は乾燥して火事多し。沖縄にF・L発生。西表島大雪85mm。屋久島56mmの雪。

## 付図 天気図と気象概況



## 4日(水) 漁船遭難

①、東海上で発達し強い冬型となる。日本付近大荒れとなり0120頃銚子河口で第65惣宝丸転覆、23名中7名救助。那覇で0225～5分間ぐらい氷救助。1630から余部鉄橋、強風で運転中止。

## 5日(木) 山手線、停電

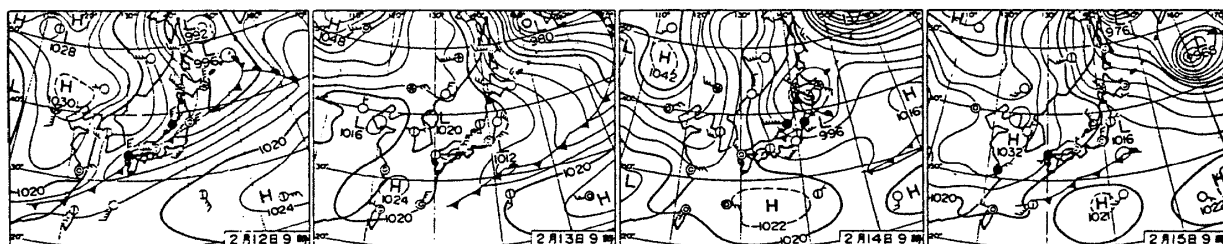
21時過ぎ目黒～代々木駅間で、冬型なるも移動Hゆっくりと大陸東岸に、西日本から等圧線の間隔ひろがり季節風も弱まる。北陸で④のち③の所も、日降水量、新潟県入込瀬42mm。

## 6日(金) 東日本広域で地震

2123頃福島県沖の深さ約20K、小名浜、白河Ⅳ、東京、千葉、横浜など首都圏Ⅲ、2216頃同じ福島県沖の深さ約50KでM6.9、小名浜、白河Ⅴ、首都圏Ⅳ、新幹線、在来線も影響。

## 7日(土) 高压帯

日本の南海上Hベルトとなるが、早朝関東に発生しゆっくりと東進。別の①沿海州から日本海、北海道の北部に接近。全国的にmin高く、銚子平年+8の10.1℃、高田、昼の夜④



## 12日(木) 初夏の陽気

c-f南下し南西風入り、全国的に気温あがる。この暖かきで雫湖、スケート、ワカサギ中止。c-f通過後気温急降下、東京では1600頃11℃も下る。香川県180haの山火事顕大。

## 13日(金) 北高型

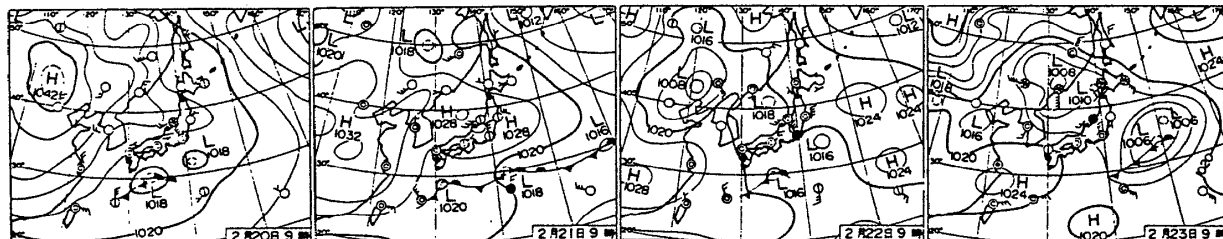
関東終日④で小④もバラつく。東京max7.0℃昨日より16°も低く、陽気に5か月のずれ。西日本は④で快晴の所も多い。1901頃茨城県沖、小名浜Ⅳ、水戸、白河Ⅲ、常磐線に乱れ。

## 14日(土) 北日本冬型

Fを伴う①、北日本を通過し冬型となる。東～北日本で風が強く、東京湾フェリー欠航。仙台1755西北西の風31.2%を記録。関東から西は暖かく、金沢、春一番、オープン観開幕。

## 15日(日) 北日本に寒気

西から移動Hタイプとなるが、06時に沖縄近海で発生し北東進。寒気が北日本に流入してmax平年比5℃前後低い。北陸で50cm前後の降雪も。八ヶ岳連峰で滑落事故、3名死傷。



## 20日(金) 旭川、細氷現象

北海道は厳しい冷え込みとなり、旭川min-22.3℃でダイヤモンドダスト。北高南低型となり、朝方房総各地で小④も、午後は回復して夜は九州まで④。水戸、信楽園梅まつり。

## 21日(土) 砂漠で大雪

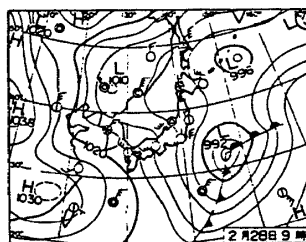
アラブ首長国連邦のアルアイン近くの砂漠で、10～50cmの積雪、有史以来の雪と外電。30°N線上は、F帯となっており、午後八丈島の南に①発生。九州の④成東進、八丈島日雨量36mm。

## 22日(日) 北東気流で低温

東京は6日連続してmaxの平年値を割り込む。南海上にF停滞、日本海にも①。全般に④や④、2135富士五湖に大雪注意報、日雨量屋久島20mm、0539、0550の2回、宇都宮・水戸Ⅱ。

## 23日(月) 西から回復

朝の内関東④、西日本から④。沿海州からの①、夜中に北海道へ、北日本④や④、maxは平年比2～3℃高く、特に北陸では12～13℃もあって+4～+5°。北海道の降雪は20～30cm。

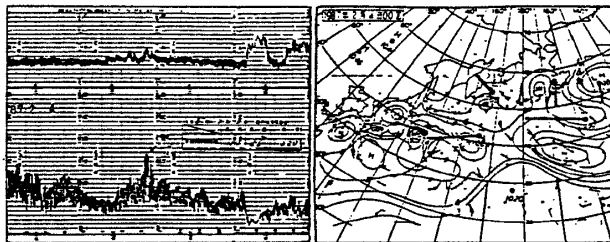


## 28日(土) 東北2度グラリ

日本海に寒冷しあらわれ、冬型ゆるみ始める。1552頃福島県沖約30kmで地震、白河Ⅲ、1632頃宮城県沖約10kmが続き宮古・仙台などⅡ。昨日からの④、新潟県入込瀬で48cm。

## 第65惣宝丸 遭難

2月4日0120頃、八戸のイワシ巻き網船第65惣宝丸(80t)は、銚子河口で大シケのため転覆した。現場付近は、寒明けの頃は“にしこじ波”と地元で呼ぶ三角波が立ち、海流も複雑なところ。昭和44年頃までは、海の難所として遭難が絶えなかったが、昭和46年に銚子港沿いに導流堤が建設されて以来大量遭難は絶えて無かった。当日は、①が発達しながら銚子付近を通過し、北から北西の風が強く、波高も防波堤を越えるほどの大シケとなっていた、地元の船は出漁を見合わせたくらいだった。



## ● 銚子地方気象台の自記紙

遭難時の0120頃には15%を越える強風で、事故直後の0141に北北西17.2%の最大瞬間風速が記録されている。(資料：銚子地方気象台)

## ● 2月4日09時の波浪図

外房から房総にかけては、有義波浪(1/2最高波高)4～5mの高波で、大シケになっていたことがうかがえる。(資料：日本気象協会航路気象部)

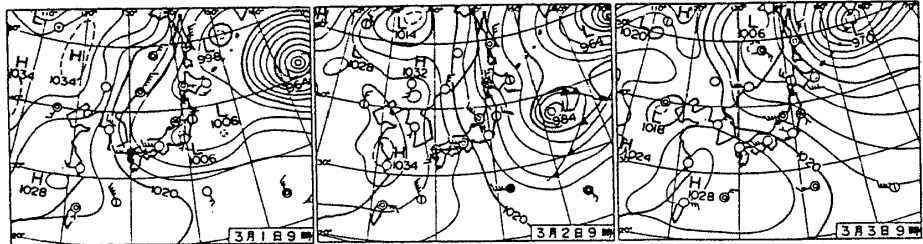
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

1987年 3月

早いサクラ開花

- ・月平均気温は、太平洋側で+1℃前後。他の各地もほぼ平年並。暖冬が尾を引く3月で、サクラ開花の早目の予想を、さらに上回るほどの地方も多かった。
- ・遠地地震を含めて大きな地震があったが、国内での被害は幸いにして局所的に軽微。災害は忘れたところに……の名言もあり、防災の心得をいま一度確認を。



## 1日(日)都心でも雪

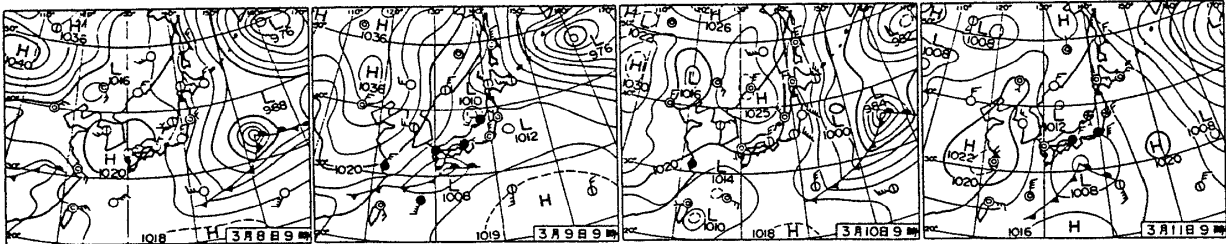
09時に本州中部にL発生。東進しながら発達して夜、冬型となる。日本海側、太平洋側は北西風強く四国や紀伊半島でもにわか雪。鳥取21時61cmの積雪は3月としては1位タイ。

## 2日(月)冬型しまる

強い冬型で寒気入る。山口18時の積雪は16cmで3月として第1位の記録。山陰～北陸地方で20～30cmの降雪。コンピューター処理による“地震活動等総合監視システム”運用開始。

## 3日(火)諏訪湖、半分結水

今回の寒波で5割の結水。全面結水日はなく、御神渡りも8年ぶりになさそう。西日本から冬型ゆるみ。午後移動H。気圧配置は、タテ編型から横編型となる。maxはまだ低目。



## 8日(日)春の大雪

箱根30cm、八王子15cmなど南岸地方で雪。新幹線、国電に除行や遅延による乱れ。H、Lの動き速く。夜東シナ海へFのび。日本海にL発生。0640頃雪と霧で東北道50台の重大事故。

## 9日(月)網走、流水離岸

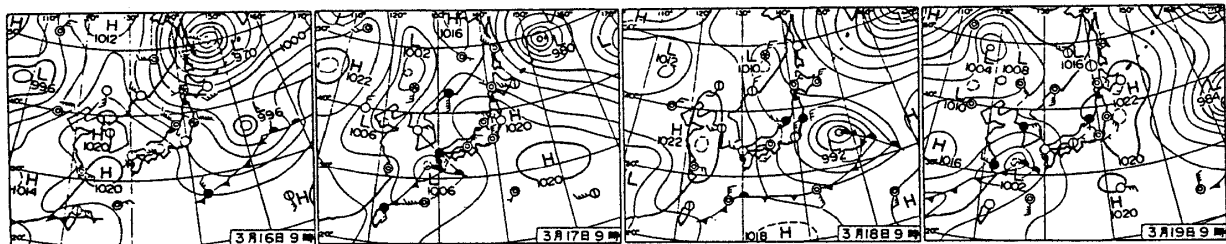
03時F上にL発生。南岸をまとった雪が東進するが中心は南海上に離れて通る。西日本の●、東日本の南岸へ。夜、北陸～東北で●や雪。午後冬型強まり2240日光でW33.2%。

## 10日(火)東北道で追突

0130頃27台の玉突きで13台炎上。アイスバーンでスリップが原因。冬型半日。午後ゆるむ。1200には東シナ海にF、L発生。九州の●西日本へ。0937水戸市、1224仙台市、湖畔初霜。

## 11日(水)南岸低気圧

移動H東に抜け南岸にL。関東は●のち●で午後回復し夜○。max西日本平年並。東～北日本-6℃前後で夜中の気温がmaxとなる。日雨量三宅島66、館山、勝浦42mm。



## 16日(月)北日本冬型

日本南部は移動Hとなり○で快晴の所も多い。午後台湾付近のF上にL発生し北東進。西日本から早くも下り坂。日光1400最大瞬間西風31.3%を記録。東京多摩川でツバメ初見。

## 17日(火)花ダイコン咲く

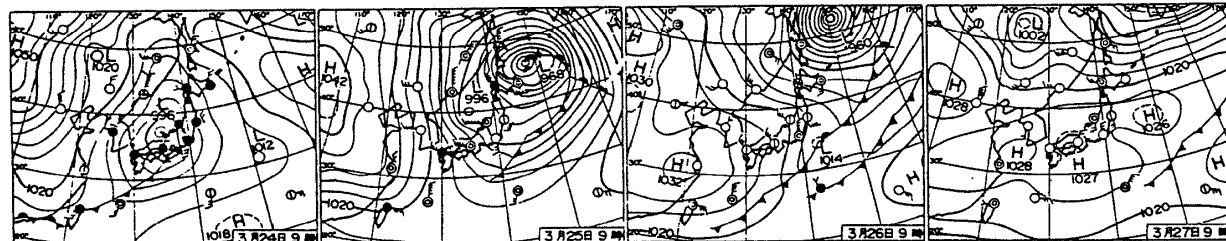
天気の変化が激しく。九州の西のLは発達しながら東進。九州の●も午後は東日本にひろがる。朝鮮半島東岸にも別のLが発生し。日本付近は気圧の谷に。九州南部で50mmの●。

## 18日(水)宮崎V

1236頃宮崎市東方の日向灘でM6.9の地震。ただちに沿岸各地に津波警報発表。大分・熊本・佐賀などでもNの中震。この津波警報をうけて、NHKでは初の緊急警報放送を流す。

## 19日(木)レンギョウ咲く

上海付近のF上にL発生し東進。夕方に九州北部へ。昼、九州西岸から●降り出し。夜関東でも●。午後から夜中までの雨量は屋久島で123mm。2240室戸岬で南33.6%の突風吹く。



## 24日(火)東日本で大雨

東シナ海のL九州に突っかけ。早朝西日本から夕方東日本に東進。夜三陸沖へ。全国各地で時間10mm以上の●も。伊豆天城山昨日から208mm。2149頃新潟県沖M6.5輪島・高田V。

## 25日(水)強風で被害

Lはオホーツク海に進み北日本で強い冬型。ほぼ全国的に北から西の風強まる。1450仙台で西北西36.7%の突風を記録(通年第1位)。強風で新幹線も遅れ出る。2242頃八戸市。

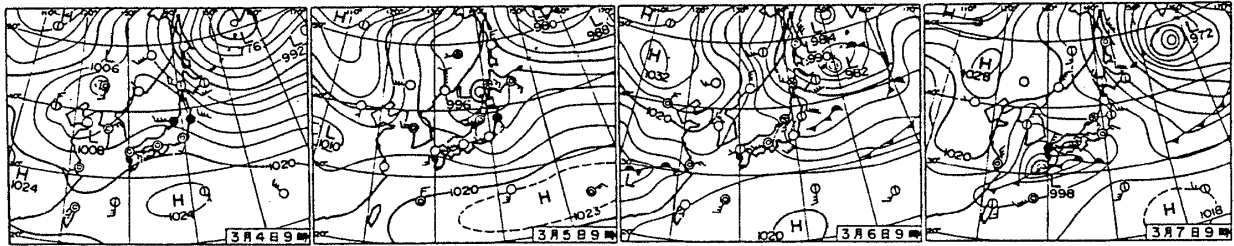
## 26日(木)静岡など霜注意報

移動H。大陸の東岸からゆるやかに日本の南部をおおう。関東の南東には弱いLが発生し。夕方～夜にかけて所々で小●バラリ。上空に寒気入る。館野500mbで-30.3℃の低さ。

## 27日(金)花冷え続く

帯状Hとなり関東から西ではほとんど快晴。寒気の影響で気温は全国的に低く花冷え。福岡min0.9℃。午後、本州中部に弱いLも発生。北陸から北日本で所々霧。勝浦II。

## 付図 天気図と気象概況



## 4日(水)南高北低型

移動Hの中心は小笠原方面へ進み、日本海には入る。暖かく、関東甲信越のmaxは5℃前後も高い陽気。九州では曇頃から●となり。夜には四国・中国地方にひろがる。

## 5日(木)チリ北部M7.5

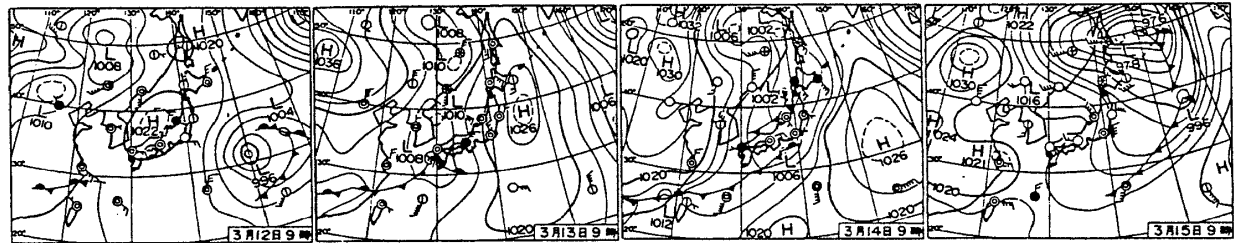
1815頃アントファガスタ付近で発生。津波なしの報に安堵。日本海をL、発達しながら進み暖気入る。max熊谷20.5、横浜20.0℃で平年比+9℃。新潟1140降雪、径11mmで雪を伴う。

## 6日(金)浦河、竜巻

1330小規模なもので約8分後には視界外に去る。北陸から北日本では寒気入るが、関東から西ではmax+8℃で四月半ばの陽気続く。長野でカナヘビが見られ、文字通りの啓蛰。

## 7日(土)英国フェリー転覆

0345ベルギー沖で、死・行方不明者160人以上の惨事。大陸東岸から東へのびたF上の九州の西にL発生。●域昨夜から東にひろがる。四国・中国で明け方前から●。関東午後◎。



## 12日(木)全国的に晴

移動H大型でうす雲の出た程度。全国的に①。maxも並か+2～3℃で穏やか。5～6日にかけてエクアドル北部のアマゾン地帯で地震。パイプライン破壊で送油ストップの外電。

## 13日(金)西から谷接近

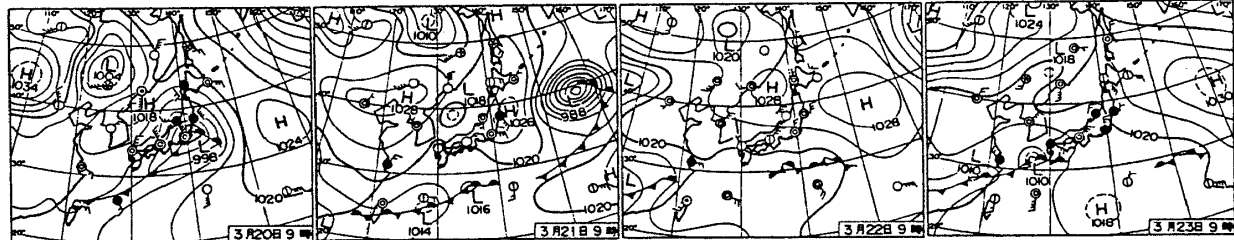
L発達しながら九州北部へ。昨夜からの●急速に東にひろがる。05時のアメダス種子島の上で74mm、06時も33mmの強い●。日本海にも別のLが入り気圧の谷深まる。延岡II。

## 14日(土)最後の捕鯨

南氷洋の漁を終え帰国の途に。半世紀の捕鯨の歴史に終止符。南岸のL。日本海Lそれぞれ発達して東進。暖気入り札幌終日●。北陸～東北にかけても気温高く、福島max19.2℃。

## 15日(日)北日本に寒気

L。F東海上に抜け冬型。関東も朝の内◎のち①。北陸から北では◎で吹雪の所も。0500浦河に暴風雪波浪警報出る。1830室蘭で西の風26.9%の突風。2100稚内500mbで-41.9℃。



## 20日(金)静岡、大雨

Lの東進にともない強い●の範囲も東日本に移る。一時間に30mm前後の●も。静岡県では日雨量稲取138mmを筆頭に10位までを県内で占める大●。午後、西日本から回復して①。

## 21日(土)サクラ開花

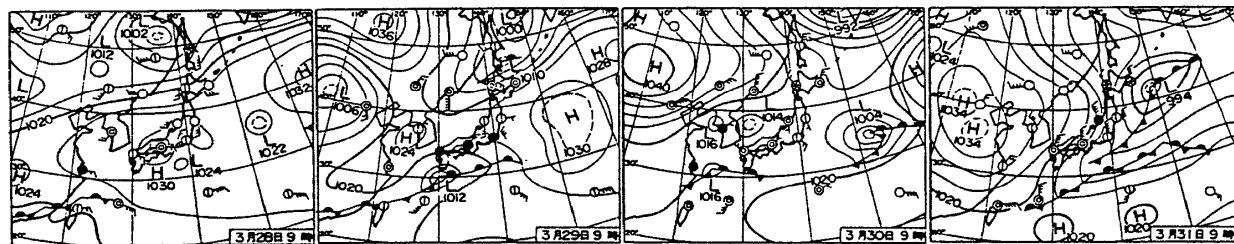
横浜で、平年より9日早くソメイヨシノが開花。日本海と本州の南にL。東～北日本は終日雲多いもの。西日本は①でmax上る。熊本23.3℃。豊岡21.1℃で平年比+9℃。

## 22日(日)サクラ前線上陸

高知、福岡も桜開花し、桜前線はほぼ横並びで上陸。全国的に雲多いが西日本では気温高く、福岡min12.7℃平年比+7℃。関東は北高で午後南部で小●も。大陸東岸に大きな雲域。

## 23日(月)東京もサクラ開花

東シナ海からL東進。1615Lに関する情報出る。九州の●東にひろがり、北東流の関東の●とドッキング。日中鹿児島県下で1時間に30mmぐらいの強い●も。日雨量宮之城103mm。



## 28日(土)次第に花曇り

本州付近は移動Hの勢力残るが、大陸東岸にF発生。午後F上の東シナ海と華南にL発生して東北東進。夕方から九州で●降り出す。その他の各地も次第に◎となるが東北終日①。

## 29日(日)花に無情の雨

Lは九州の南に進み、Fは本州の南海上にのびる。昨夜からの●は九州全域と四国、紀伊半島へひろがる。東海～関東でも日中は●となるが、北陸～東北は①。日雨量鹿児島91mm。

## 30日(月)サクラ前線北陸へ

始め移動H型となったが06時に大陸東岸にL発生。日本海にも別のL進み、夕方から発達して2つ玉型となる。午後●域東進して近畿まで●。米子、金沢でソメイヨシノ開花。

## 31日(火)名残りの冬型

南海上のL消滅してFのみ残り。主体は日本海Lになる。早朝に発達しながら東海上に抜け、北日本冬型で、吹雪の所も。寒気が入り輪島09時は2.2℃で昨日より11℃も下る。

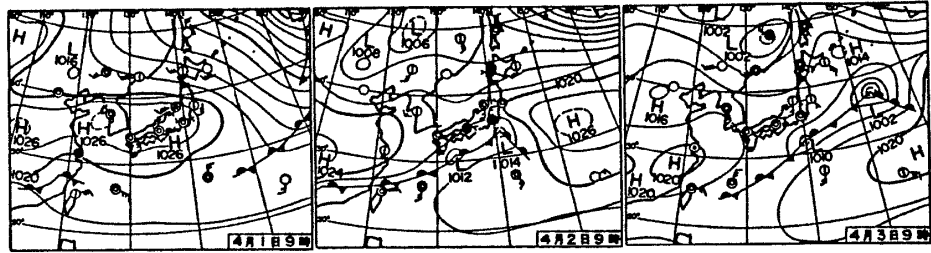
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

1987年 4 月

震度 V 続く

7, 23, 30日とVの強震があい  
ついだ。特に福島県沖の地震が  
目立っているが、この地域は昭  
和13年にM6~7の地震が頻発  
したいわゆる地震の巣。今後、  
観測強化の望まれる地域である。  
・月半ばと下旬に寒気が入り、季  
節外れの寒さとなった。降水量  
は全国的に少く、本州中部で1  
割未満の所も。梅雨期に期待。



1日(水)国鉄からJRへ

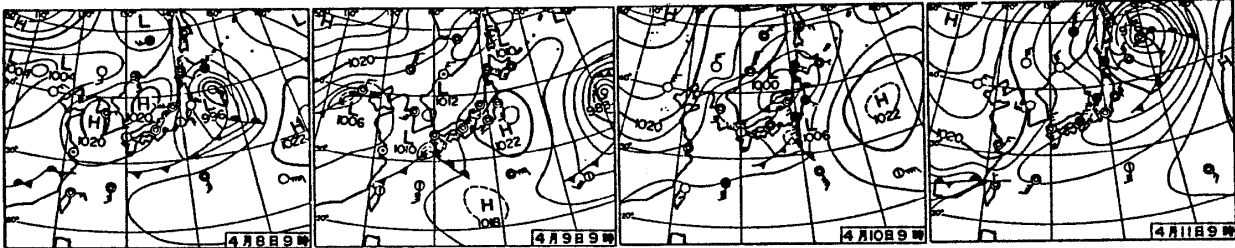
移動Hにお、われたが、午後東に抜  
ける。大陸のFは東シナ海にのびて、  
F上にL発生。夜、九州の南を通過。  
明け方まで全国的に①だが日中は②。  
夜③。東京min2.2で前日比-10℃。

2日(木)ナタネ梅雨

日本の南海上にF停滞。F上をL東進。  
新たに八丈島付近にもL発生。本州  
南部では終日ぐずつく。日光の中禅  
寺湖では昨夜から小③も。03時のア  
メダスで八丈島10mmの強い③。

3日(金)次第に回復

八丈島近海のF上をL通過。午後、大  
陸東岸から移動H進み、西日本をお  
おう。西日本から①間がひろがり夕  
方には①だが、関東だけは終日②。  
静岡で昨年より8日早い茶摘み。



8日(水)北冷南暑

F, L三陸沖に抜けて発達。一時的な  
冬型となるが午後は移動H型に。  
寒気が入り、北陸から北日本でmax  
平年比-3℃前後。本州南部は高く。  
特に甲府や尾鷲では27℃以上となる。

9日(木)九州で強雨

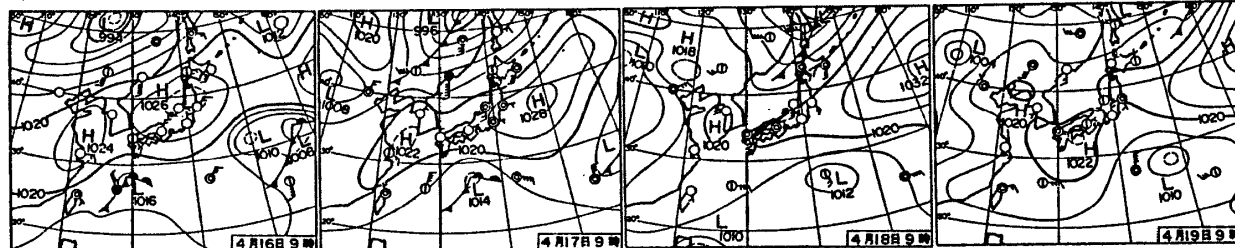
移動H東に抜け、九州にL接近。九  
州、四国では午前中に③となり午後  
は西日本全域にひろがる。九州では  
雷を伴い、鹿児島県尾之間では14時  
のアメダス40mm。高田max25.6℃。

10日(金)2ツ玉低気圧

日本海と本州の南のL、それぞれ発  
達。暖気入りmin全国的に高く5月下  
旬の陽気。松本min13.5℃は平年比  
+10°。1959頃熊谷市。東京、千葉な  
どⅢ。新幹線も一時ストップ。

11日(土)濃霧で海難も

銚子沖で船同士が衝突。漁船沈没。  
また成田空港でも早朝、霧のため離  
着陸に乱れ。午後冬型となり1330白  
河で北々26.1m/sの突風。青森~  
北海道③。台2号、3か月ぶりの発生。



16日(木)ハイベルト続く

移動Hで、は々全国的に①。一方、  
南西諸島にF停滞し、09時F上にL  
発生。九州南部~南西諸島は終日ぐ  
ずつく。大阪近郊局の「通り抜け」  
始まり。花のトンネルに8万人酔う。

17日(金)エトナ火山噴火

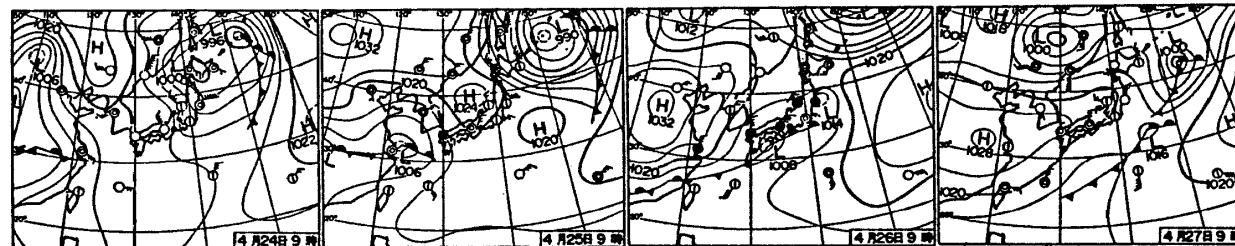
火山弾を噴き上げ、観光客死傷。沖  
縄近海のF, L東進。南岸地方のみ③。  
その他は引き続き①。0423頃福島県  
沖M6.2。東京、小名浜、福島Ⅲ。1633  
頃も横浜、千葉、網代Ⅲ。

18日(土)初のスモッグ注意報

茨城県西部に初の光化学スモッグ注  
意報発表。東海上のHの勢力強まり、  
全国的に①だが、e-1の通過した北海  
道では曇③。気温も上り。本州中  
部から北陸max平年比+7℃。

19日(日)雷雨注意報

四国沖のHにお、われ全国的に①。  
maxも5~6月の陽気。夕方~夜に  
かけて本州中部で雷雲発生。関東甲  
信の広範囲に雷雨注意報。宮古、ヤ  
マセ吹きmax13.3℃(昨日比-10℃)。



24日(金)北日本冬型

発達しながらL。北海道を通過。朝  
の内北陸~東北で時間3mm前後の③。  
寒気も入り。風も強く寒い一日。仙  
台0810西の風27.2m/sの突風。甲府  
の最小湿度5%は第2位。山火事猛威。

25日(土)季節外れの雪

札幌では昨夜から③続くが午後③に  
変わる。山間部では10cm前後の積③も。  
九州ではLが近づく朝から③。東日  
本でも夜は③。福島県下の山火事、  
一昼夜燃えて鎮火。400ha焼失。

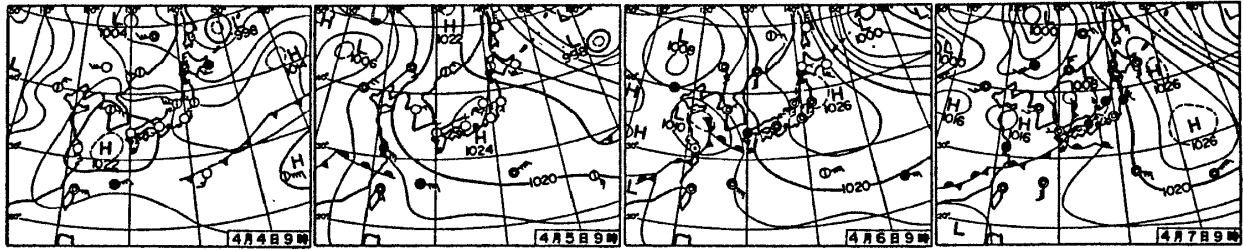
26日(日)富士山、プラス

21時山頂の気温+0.1℃を記録。本州  
南部は暖湿流入り③となるが、Lの  
北側では寒気南下。秋田の③は明治  
23年以來の暖い③。09時青森3cm。  
八戸8cmなど。夜、は々全国的に③。

27日(月)岩手県下で竜巻

1450頃石鳥谷町の小学校々庭で発生。  
運動会中の児童12名重軽傷。明け方  
前後から天気は急速に回復。関東も  
③は朝の内だけでのち①。昨日~今  
日の雨量、箱根53mmなど干天の恵雨。

## 付図 天気図と気象概況

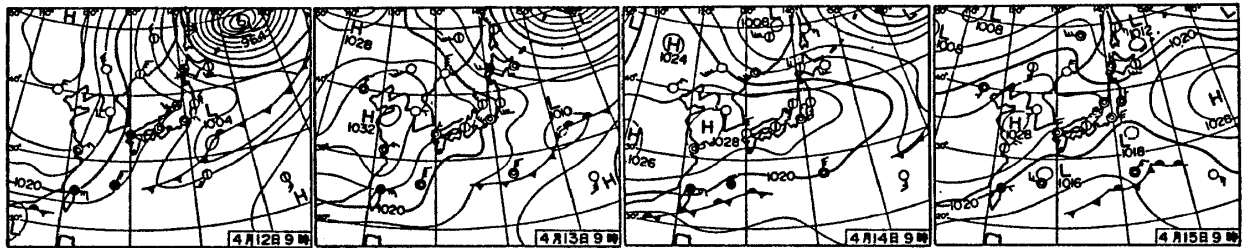


**4日(土)前橋 サクラ満開**  
気圧の谷が北日本を通り、明け方東海上に、北陸から北の日本海側では、にわか●や一部で雷●となるが午後から次第に○。日本の南部は移動Hにおかれ、終日快晴の地方も。

**5日(日)早慶レガッタ**  
サクラ満開の隅田川で、エイトは慶応大差のV。日中はほぼ全国的に○。maxも高く、名古屋24.7°と夏日にもう一步の暖かさ(平年比+7°)。夕方西日本から薄雲ひろがり、下り坂。

**6日(月)九州から雨**  
東海からL接近。九州で●となり夕方には近畿以西●。昨日の暖かさが残り、max高田23.7℃、福井24.1℃で平年比+7℃。南房総では田植えも、日雨量、鹿児島県内之浦136mm。

**7日(火)小名浜V**  
0940頃福島県沖約10KでM6.9の地震。福島、仙台、東京、水戸などIV。新幹線も一時止まる。4区、5区には津波注意報も。昨日からの●域はさらにひろがり午後は北海道も●。

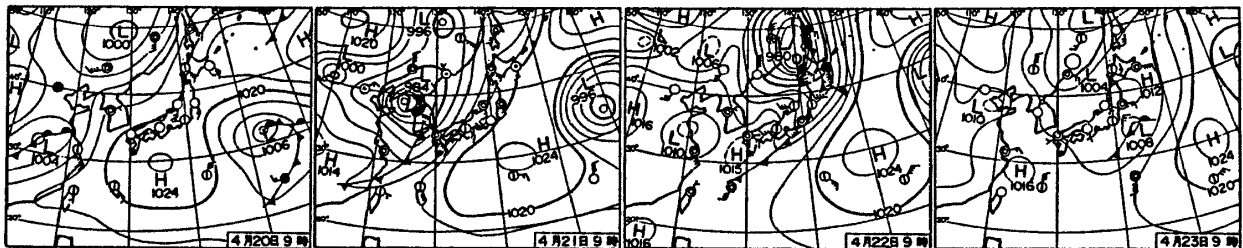


**12日(日)寒気入る**  
全国的に低温で北西風も強く寒い一日。関東は北東気流型で終日○。時々小●も。山陰～北陸●。北海道西部は●続く。台2号は06時にTD。18時間の短寿命台風。統一地方選挙。

**13日(月)開花後の雪**  
午後から移動Hとなるが寒気残る。09時輪島500mbで-31.1℃は真冬並。新潟も●でサクラ開花(8日)後の●は戦後3度目。舞鶴、豊岡で最晩●。軽井沢min-11.6℃は4月第1位。

**14日(火)寒さ続く**  
05時アメダス阿寒湖畔で-13.6°を記録。帯状H型となり、ほぼ全国的に○だが、関東は北高となり南部で終日○。夜、移動Hの一部東海上に、まとまった雪域。南岸沿いを東進。

**15日(水)帯状高気圧**  
気温ゆっくりと上向くが、maxはまだ平年比-3°～-5°。朝、八丈島近海にL発生。関東朝の内○のち○。夕方～夜、各地に霜注意報発表。1144頃八戸田、信州のアンスの花、見頃。

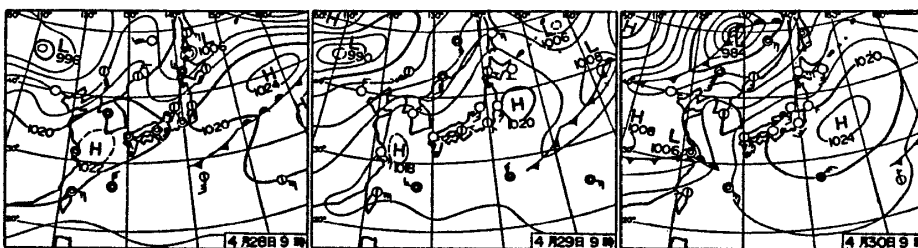


**20日(月)大阪、初の夏日**  
06時～10時までの5時間にわたり、アメダス1地点も●を観測せず。午後～夜にかけて北日本で○となるがその他は○。終日快晴の地方も。豊岡max27.3℃を始め各地で夏日出現。

**21日(火)更埴市で山林火災**  
日本海にL入り発達。南風の吹き上げで全国的に昇温。北陸フェーンで、高田max32.3℃。また剣山の51.9。福岡29.3m/sの突風はいずれも4月として第1位。各地で山火事多発。

**22日(水)東京、初の夏日**  
発達しながらL日本海を北上。c-fの通過した日本海側から気温急降。新潟では00時23.4℃。正午16.7℃。午後、東京西部にヒートL発生し、終日強い南風。旭川1200暴風雨警報。

**23日(木)白河V**  
0513頃福島県沖でM5.5。水戸、福島、小名浜V。東京、千葉、甲府などIV。福島原発3基、自動停止。新幹線や常磐線に乱れ。朝の内○の所も午後は○。名古屋max27.0℃平年比+7°。

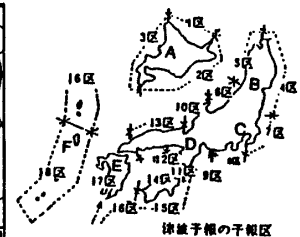


**28日(火)目に青葉**  
移動Hの一部は東海上に抜けるが、東シナ海にH根強く残る。北海道で午前中にわか●。午後は回復して、ほぼ全国的に○。maxも北海道、平年比-4°。その他+2℃。カツオ出漁。

**29日(水)穏やかな晩春**  
東シナ海と三陸沖にH。本州付近は弱い谷で薄雲ひろがるが、夕方はまた○。max全国的に2°～5℃高く、暖かな一日。長野max26.1℃(平年比+7℃)。関東地方、ボクン満開。

**30日(木)名瀬V**  
1010頃奄美大島近海でM5.3。04時～06時アメダス1300か所中●なし。東日本は移動Hだが、大陸東岸にL。豊頃から九州で●。夜中に四国へ。福江21時16mm。日雨量96mm。

**担当予報区**  
1～3区 札幌管区気象台 (A)  
4～5区 仙台管区気象台 (B)  
6～10区 気象庁 (C)  
11～15区 大阪管区気象台 (D)  
16～17区 福岡管区気象台 (E)  
18区 沖縄気象台 (F)



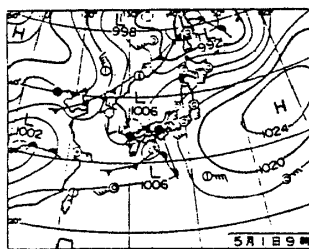
付図 天気図と気象概況

# 天気図日記

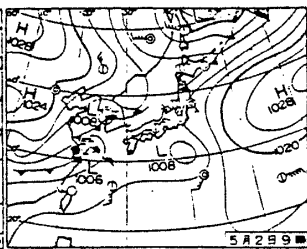
1987年 5 月

大森林 焼失

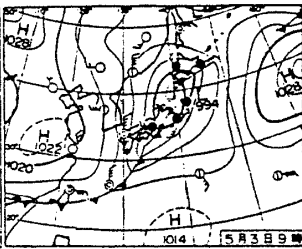
- ・中国大興安嶺で大森林火災、死者191名、森林焼失100万ha。旧に復すには今後数百年かかるとか、国境を接するソ連領でも山火事が発生、1か月以上も延焼中、国内でも50ha以上の大規模山林火災が多発。
- ・先月来の少雨傾向が続き、月間降水量は、関東一帯で50%前後、山陰も1部で70%以下。



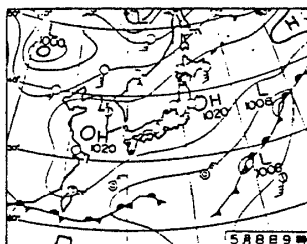
1日(金)サケ・マス漁解禁  
北海道の小型サケ・マス船300隻、解禁即出漁は4年ぶりのこと。九州西岸のL、山陰と四国沖に、沿海州からもc-f南下。西日本の●午後関東へ、日雨量内之浦99mm、足摺96mm。



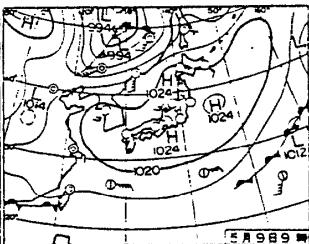
2日(土)トノサマガエル  
奈良で初見。大陸東岸のLは夕方九州へ、八丈島近海のLは動きが遅く東一北日本は○から、西日本は○たがLの接近で下り坂、19時のアメダス鹿児島県中野36mmの強●、福島II。



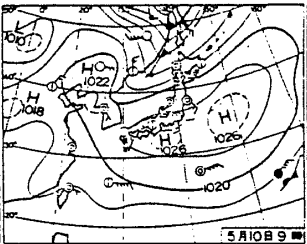
3日(日)朝日新聞社  
阪神支局に暴漢、記者2名死傷、L次第に発達して、夜北海道東部へ、日本海側中心でわか●、その他も雲多いが夜、西日本から○、日雨量北海道広尾75、和歌山県西川73mm。



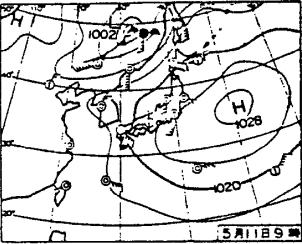
8日(金)啓風丸出航  
梅雨入りを控えてオホーツク海Hの動静観測などのため、Hベルト根強く、終日○、沖縄は下帯で●、日雨量岐阜県黒山30、静岡県三谷16mm、梅子江沖でフェリー転覆、死傷多数。



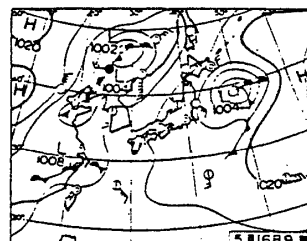
9日(土)気温上がる  
H強まり日本付近をおう、終日○の地方も多い、max上り、6月下旬一7月半ばの陽気、新潟県焼山々頂付近で数か所から噴気、1254頃和歌山III、大阪IIなど、1740頃勝浦III。



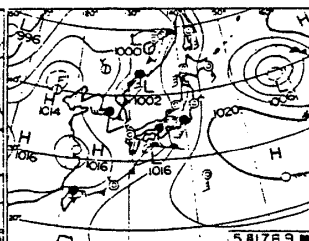
10日(日)大島III、連続4回  
伊豆半島東方沖活発化して有感7回、今日も移動Hでc-f夕方に北海道を通過、北日本に南風が入り昇温、道東一三陸で日中平均比10℃以上も、宮古max29.3℃、帝銀事件平沢死亡。



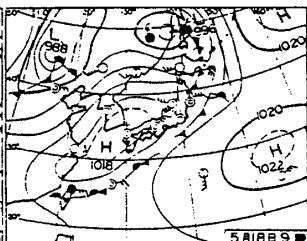
11日(月)湯水対策本部  
小雨に関する全般気象情報を受けて建設省、設置、東日本は移動Hで○、西日本は曇頃から次第に雲増えて下り坂、栃木県栗山村で山林火災、80ha焼失、御巣鷹の尾根でも山火事。



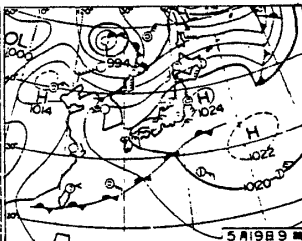
16日(土)九州から雨  
朝の内、関東○のち時々○、その他の各地は○たが、午後F、L接近し九州で●、1600大雨情報出る、雨域は夜、近畿地方にひろがる、伊豆半島東方沖の群発地震で今日も大島II。



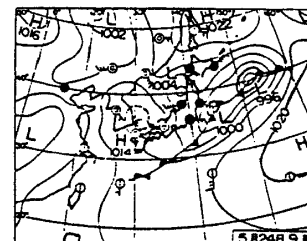
17日(日)風雨強まる  
南岸して西日本一関東●、0500大雨情報2号発表、夜には沿海州からのLも加わり、北海道まで●、風も強く、1230伊吹山31.6m/sの南東の突風、日雨量和歌山県色川111mm、大島III。



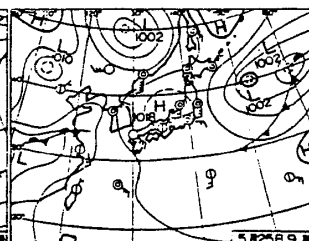
18日(月)不快指数  
東京max23.5℃、湿度66%、不快指数71で蒸し暑い、谷抜け移動H型となったが雲多く、薄曇の射す程度、北見枝幸1210西南西の風26.2m/sの突風も、東一北日本で連続して地震。



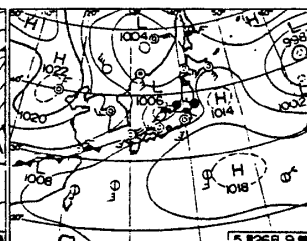
19日(火)「舟下り」転覆  
天竜川で遊覧船が杭に衝突、6名死傷、移動H、東海上に抜け強まる、西日本はほとんど快晴、東一北日本○～○、網走max平均比+10°の23.9°、その他も+3～4℃高目、小笠原II。



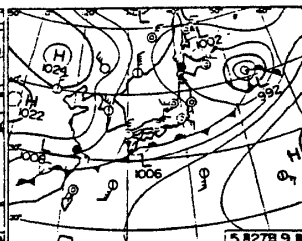
24日(日)西日本回復  
谷抜けのが佐渡付近にL残り、ゆっくり東進、東一北日本の回復は遅れる、04時アメダス栃木県塩谷で40mmの雷●、北東流入り東京の正午14.9°は4月上旬の肌寒さ、ヒルガオ咲く。



25日(月)40°Nに雲域  
朝鮮半島からの雲域、東にひろがり北陸から北日本で●、Hの中心の能登半島付近でも●降り出す、6日頃から燃え続けている中国大興安嶺の大規模森林火災は数mmの●で下火に。

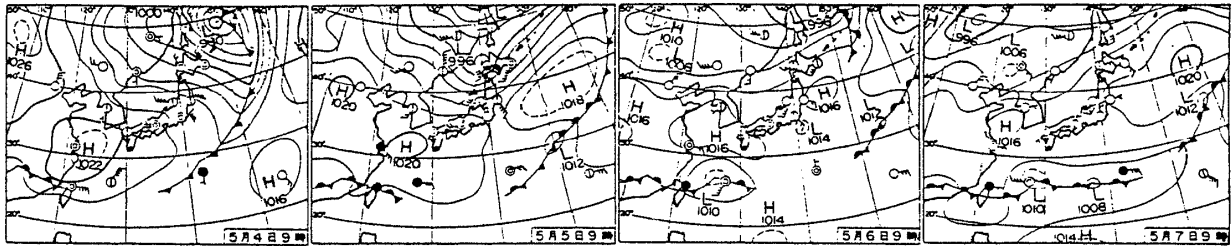


26日(火)東電大井火力爆発  
炎上し、5名死傷、F系、全体に南下して、L夕方には関東の東へ、午後はほぼ全国的に●、北陸一東北では13℃前後の冷めたい●、2108頃宮城県沖M5.8、石巻、大船渡III。



27日(水)走り梅雨  
南岸沿いにF貼りつく、全国的に雲多く、南岸地方では終日●、F、Lに近い宮崎県えびので00時～09時に119mmの●、このところの●で湯水対策本部は、関東地方を残し解散。

## 付図 天気図と気象概況



## 4日(月)春山遭難

春スキー中の主婦。天候急変で疲労凍死(山形天元台スキー場)。北アルプスでも清澄あいだぐ。本州南部は移動H。午後は全国的に○。max北陸～北日本平年比-5℃前後の気温。

## 5日(火)寒気居坐る

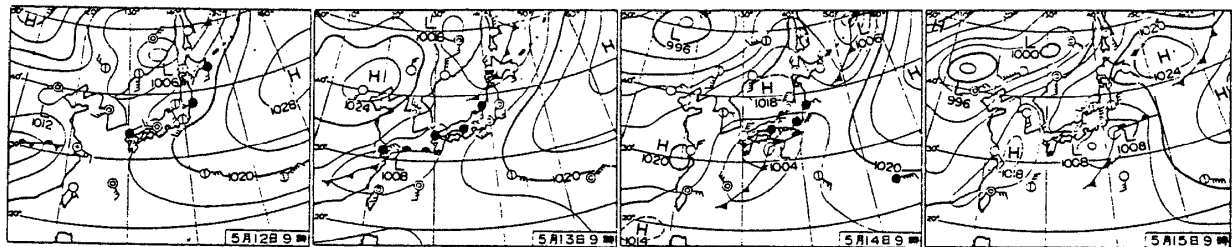
本州南部は帯状Hとなるが、北海道をL。F通過。函館1100径8mmの降雪を伴う雷●。1600頃札幌で●。日雨量北海道で20mm前後。スマトラの採石場で集中豪雨。90人以上埋没。

## 6日(水)札幌、サクラ開花

平年より、1日遅れの開花。移動Hにおかれ、本州中部に曉霧、min松本2.2℃、飯田2.6℃平年比-5～6℃。沖縄近海のF上にL発生。九州で雲多く南部は所々で●。その他は○。

## 7日(木)ハイベルト続く

引き続き日本付近は帯状Hだが、沖縄はF帯。九州は雲多くその他○。max上り大阪26.5℃、名古屋25.1℃など本州中部で夏日。日雨量鹿児島志布志46mm。茨城県下で夜落雷火災。



## 12日(火)水不足深刻

田植え大巾に遅れ。野菜も高騰。時間給水や給食停止など生活を直撃。弱い谷接近し。全国的に○で西日本と北陸～北日本●。夜、大陸東岸からF。0551頃大船渡IV。仙台などIII。

## 13日(水)沖縄・奄美梅雨入り

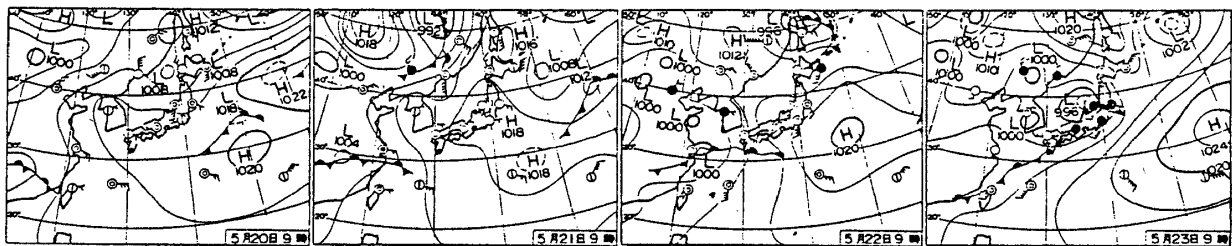
F。東シナ海にのびF上のL。九州に接近。c-f北日本を通り、はゞ全国的に●。1745愛媛県に大雨洪水警報。20時アメダス高知県東部39mm。日雨量207mm、高知33mmの●。

## 14日(木)久々の雨

Lは本州の南岸沿いを東進。東京でも23.5mmの●で先月26日以来の2桁の雨量。天城山151mmを始め、静岡・長野県下で100mm以上。利根川上流でも80mm前後となりホッと一息。

## 15日(金)根室サクラ開花

早朝、八丈島近海からL東海上へ。西日本○だが紀伊半島から東海・関東では回復が遅れ。昼頃まで●の残る所も。北東気流入り。東京正午の気温14.6℃(平年比-6℃)。大島II。



## 20日(水)カッコウ初鳴

丹沢山系や水戸で。本州付近はH場となるが、午後内陸にヒートL。北海道ではLが次々と通過。札幌の午後○夕方におか●の変化。北海道沿岸、32年ぶりのニシン豊漁で沸く。

## 21日(木)大阪初の真夏日

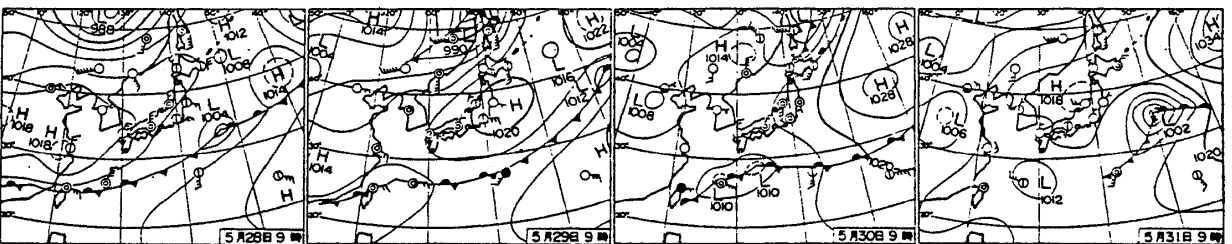
5月中の出現は10年に一回ぐらい。max豊岡31.4℃を最高に京都、奈良、長野、甲府、敦賀、日田でも真夏日。東京は27.9℃。湿度30%で比較的さわやか。夜遅く。九州で●。

## 22日(金)雨域ひろがる

東シナ海にL進み。Fも九州南部にのびる。●域は豊後東海地方。夜関東にひろがる。日雨量、九州一四国南部で100mm以上。沖縄に警報も。カナダ身障青年。車イスで世界一週。

## 23日(土)メイストーム

L発達しながら日本海を東進。0500大雨情報も。暖湿流入り。静岡県下で大●。天城山では昨日からの●が358mm。風も強く、暴風雨警報下の千葉で31.9m/sの突風(5月第3位)。



## 28日(木)北日本低温

F帯。島根近海まで南下。移動Hにおかれるが寒気入る。06時富士山-10.0℃まで下り。大気不安定となる。1200～10分間、河口湖で径5mmの降雪。0603頃京都府中部、京都III。

## 29日(金)気温向上く

H勢力を強め日本付近をおう。朝の内、はゞ全国的に○。午後西から雲域東進して夜、全国的に○。富士山正午1.8℃に回復。北陸～東北でmax平年比-2～3℃程度となる。

## 30日(土)前線停滞

F上の九州の南にL発生。30°N上を東進。全国的に○で。九州南部一四国で小●バラつく。0721頃福島県沖、水戸、小名浜II、皇居周辺のアジサイ色付き始め。早生種の花蕾満開。

## 31日(日)帯広で竜巻

日本海のH。日本付近をひろくお。い全国的に○。終日快晴の地方も。max上り前橋30.7℃。名古屋30.2℃で平年比+5～6℃。1220頃帯広で竜巻。中学体育祭中のテント飛び15名負傷。

付表 降積雪に伴う被害記事一覧

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)    | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1986.11.11<br>スリップ  | 南魚沼郡湯沢町三国<br>新. 11. 12-18 | 15時ごろ, 国道17号線で, 普通トラックが雪のためスリップし, 反対車線のガードロープを突き破り, がけ下へ7m転落した. 六日町署の調べによると, 男性(24才)運転者は両足を強く打って重傷. 事故当時, 路面は3~5cmのシャーベット状の雪が積もっており, 県境越えにはチェーンが必要な状況で, トラックは普通タイヤだった.                                                                                     |
| 11.11<br>高波<br>規制   | 糸魚川市<br>新. 11. 12-18      | 16時20分ごろ, 国道8号線の通称糸魚川バイパスで, 走行中の軽四輪車が波の直撃を受けて横転した. 高波のため, 建設省糸魚川国道維持出張所は16時半, 同国道の寺島交差点から寺町交差点間1.8kmを上下線とも通行止めにした. 高波による全面通行止めは, 今冬初めてで昨年より30日も早い. (12日19時30分, 27時間ぶりに規制は解除された).                                                                           |
| 11.11<br>河川         | 南魚沼郡塩沢町清水<br>毎. 11. 12-20 | 11時15分ごろ, 登川堰堤工事現場で, 測量中の男性(77才)作業員が, 現場付近に積もっていた10cmほどの雪に足を滑らせて, 7m下の川に転落, 頭を打ち病院に運ばれたが, 死亡した.                                                                                                                                                            |
| 11.11<br>突風         | 柏崎市栄町<br>朝. 11. 12-21     | 10時15分ごろ, 市武道館わきの市道をバイクで走っていた男性(50才)が, 突風にあおられて転倒しながら, 反対側の電柱に衝突した. 柏崎署の調べでは, 男性は内蔵を損傷した疑いがあり, 市内の病院へ入院した. 事故当時, 現場付近では風速30m/sの雨まじりの突風が吹いていた.                                                                                                              |
| 11.11<br>警報         | 新潟地方气象台<br>毎. 11. 12-20   | 新潟地方气象台は08時50分, 暴風雪波浪警報を発令した. 県内は西高東低の冬型の気圧配置が強まり, 北西の季節風が吹き, 県境付近では積雪を記録, 海岸は高波が押し寄せる大荒れの日となった.                                                                                                                                                           |
| 11.16<br>スリップ<br>規制 | 南魚沼郡湯沢町土樽<br>新. 11. 17夕-3 | 17時半ごろ, 関越自動車道下り線で, スリップして止まっていた乗用車にトラックが追突, 乗用車の前に止まっていたライトバンに玉突き衝突し, ライトバンの同乗女性(43才)が3週間のムチ打ち症. 県警高速隊湯沢分駐隊の調べでは, 路面が凍結していたため, 下り線のチェーン規制は15時に解除されていたが, 18時10分に再びチェーン規制となった. 事故当時, 雪が降り始めており, 直後に同じようなスリップ事故が発生し, 2件の事故処理のため, 下り線は開通後最高の1時間半に渡って通行止めになった. |
| 11.16<br>土砂崩れ       | 中魚沼郡中里村倉俣<br>新. 11. 17夕-3 | 20時半ごろ, 土倉集落入り口付近の国道353号線の通称葎沢で土砂崩れが発生, 約300m <sup>2</sup> の土砂が同国道を埋めた. 十日町土木事務所で排土作業を行っているが, 復旧は17日いっぱいかかる見込み. 降り続く雨で, 雨水が浸み込み崩れたらしい.                                                                                                                     |
| 11.25<br>雪情報        | 新潟地方气象台<br>朝. 11. 26-21   | 新潟地方气象台は午後, 県内に雪に関する情報を出した. それによると, 26日以降, 中国東北部の上空5,000mにある-39℃の寒気団の影響で, 北西の風が強まり, 山間部で20~30cm, 平野部で5~10cmの降雪があると見ている. 今冬, 雪に関する情報が出されたのは15日に次いで2度目. 平野部を含めての情報は初めて.                                                                                      |

| 発生年月日<br>(事 項)               | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                         | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1986.11.26<br>スリップ           | 青森県十和田市相坂<br>新. 11. 27-22                      | 4時20分ごろ, 国道4号線で, 米軍の地雷や爆薬約510kgを運送中のトラックが雪でスリップし, 道路左側の商店と民家に突っ込んだ。十和田署の調べでは, 運転者(男性, 37才)が右足に2週間のけがをし, 商店と民家の壁などが壊れたが, 地雷や爆薬などに異常はなかった。事故現場は緩い左カーブの上り坂で, 約1cmの雪が凍結しており, トラックは普通タイヤでチェーンを巻いていなかった。 |
| 11.26<br>高波<br>規制            | 糸魚川市<br>朝. 11. 27-21                           | 16時30分, 建設省糸魚川国道維持出張所は, 国道8号線の糸魚川バイパス寺町～大町間約1.4kmを高波のため全面通行止めにした。同バイパス付近は, 25日夜から高波が押し寄せ, 同出張所は26日6時10分から海側の車線を通行止めにしていて, 高波による全面通行止めは今冬3度目。                                                       |
| 11.26<br>規制                  | 南魚沼郡湯沢町土樽<br>新. 11. 27タ-3                      | 関越自動車道の上下線は, 積雪のため土樽チェーンベース～塩沢石打サービスエリア間22kmで, 6時10分から13時過ぎまでチェーン規制となった。また, 同区間は50km/hの速度規制となった。今冬と同自動車道での雪による通行規制は, 11日, 16日に次いで3度目。一方, スリップ事故も相次いだ。六日町署管内で, 26日20時から物損事故11件のうち, 7件がスリップによるものだった。 |
| 11.26<br>欠航<br>11.27<br>視界悪化 | 佐渡汽船<br>朝. 11. 27-21<br>柏崎市松波1<br>新. 11. 27タ-3 | 海上はシケ模様となり, 新潟と佐渡を結ぶジェットfoil, カーフェリー22便のうち10便が欠航した。<br>2時過ぎ, 国道で道路を横断しようとした女性(51才)が, 乗用車にはねられ, 頭と胸を強打した上, 両腕骨折などで死亡した。柏崎署の調べでは, 事故当時, みぞれ模様で視界が悪く, 路面は濡れていた。                                       |
| 11.28<br>スリップ                | 栃尾市原町<br>新. 11. 29-21                          | 7時過ぎ, 市道の原町高架橋から乗用車が約8m下の道路に転落, 大破した。栃尾署の調べでは, 男性(19才)運転者が首を捻挫して2週間のけが, 同乗女性(18才)が右手の指を骨折して2箇月の重傷。朝方の冷え込みで路面の一部が凍結していたためスリップしたらしい。                                                                 |
| 12.4<br>地すべり                 | 東頸城郡安塚町大原<br>毎. 12. 5-20                       | 11月中旬から地すべりが発生, 4日現在, 幅64m, 長さ200mに渡って徐々に崩れており, 役場や安塚署で警戒している。場所は戸沢へ通じる町道の山側で, 近くには牛舎2棟(約70頭飼育)があるだけで, 民家への影響はない。                                                                                  |
| 12.15<br>土砂崩れ<br>規制          | 東蒲原郡三川村内川<br>毎. 12. 17-21                      | 23時ごろ, 村道細越～行地線で, 道路わきの斜面が幅5m, 高さ16mに渡って崩れ, 約200㎡の土砂が道路を埋めた。同村道は現場付近が通行止めとなったが 付近はなお土砂崩れの恐れがあり, 開通の見通しは立っていない。                                                                                     |
| 12.15<br>助成金                 | 福井県福井市<br>山. 12. 16-3                          | 福井市はこのほど, 大型除雪車が入れないことなどから, 住民任せとなっている幅員6m未満の市道について, 今冬から町内会単位で, 除排雪事業協力金を, 交付することを決めた。協力金は1度の除雪について, 積雪1m未満の場合, 1km当たり20,000                                                                      |

| 発生年月日<br>(事 項)           | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)              | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1986.12.17<br>土砂崩れ<br>規制 | 東頸城郡松代町蒲生<br>毎. 12. 18-18           | 円, 積雪が1 mを超えると1 km当たり倍の40,000円となる。協力金で住民の不公平感が少しでも薄らぎ, 除排雪に対する自主性が高まれば, と同市は期待している。                                                                                                                                              |
| 12.18<br>火災              | 三条市西本成寺2<br>新. 12. 18夕-3            | 4時ごろ, 国道253号線の山側斜面が長さ15m, 幅4.5mに渡って崩れ, 約90㎡の土砂が流出して, 同国道の片側1車線を埋めた。安塚署は, 地盤が緩く上部に亀裂があることから, 18時から全面通行止めにして警戒に当たっている。                                                                                                             |
| 12.18<br>スリップ            | 三条市大崎<br>新. 12. 18夕-3               | 5時30分ごろ, 火災を発見して水道で放水しようとしたが, 水道管が凍結していて, 消火活動も思うに任せなかった。この火災で, 木造平屋造住宅1棟約20㎡を全焼, 隣接の鉄骨トタン葺き工場168.4㎡を半焼し, 住宅の男性(50才)1人が焼死した。                                                                                                     |
| 12.18<br>地すべり            | 長岡市蓬平<br>新. 12. 19-23               | 7時ごろ, 国道でトラックが道路左側の鉄骨平屋建て店舗に突っ込み, 同店舗36㎡を半壊した。三條署の調べでは現場は緩い左カーブで, 道路の消雪パイプから漏れた水が, 路面で凍結しておりスリップした。                                                                                                                              |
| 12.21<br>スリップ            | 北海道上川支庁<br>美瑛町花園8丁目<br>朝. 12. 22-18 | 21時ごろ, 市道太田1号線の桑搜橋付近で地すべりが発生, 約14,000㎡の土砂が道路を埋めた。地すべりは幅80m, 高さ20mに渡って発生しており, 復旧には1週間程度かかるとみられている。このため, 同市道の奥の竹之高地地区の29世帯, 103人が孤立する恐れも出ている。また, この地すべりで, 水田20アールが押し流され, 農作業小屋1棟20㎡が全壊した。                                          |
| 12.22<br>スリップ<br>規制      | 兵庫県穴栗郡山崎町<br>葛根<br>山. 12. 23-17     | 10時20分ごろ, 国道237号線で, 乗用車がスリップして対向車線に飛び出し, トラックと衝突, 更にこのトラックに乗用車が衝突した。旭川東署の調べによると, 乗用車は大破, 男性3人(50才, 56才, 61才)が即死, 女性2人(22才, 51才)と男性(59才)の3人が重軽傷を負った。現場は緩いカーブで路面の雪でスリップ, 横向きになったまま対向車線に出たため。周辺の積雪は1 mを超し, 路面も圧雪状態で滑りやすかった。         |
| 12.22<br>スリップ            | 鳥取県米子市八幡<br>山. 12. 24-16            | 7時15分ごろ, 中国自動車道下り線で, 路面凍結のためライトバンがスリップして, 中央分離帯に衝突, 更に後方約1 kmの間でスピードを落とした乗用車やトラックなど計9台が玉突き衝突した。県警高速道路交通警察隊の調べでは, この事故で, 事故処理中の巡査部長(男性, 37才)が接触され軽い打撲傷, 最初のライトバンに同乗していた男性(31才)が軽傷を負った。同自動車道は, 7時に凍結と濃霧のため, 50km/hの速度規制となったばかりだった。 |
| 12.22                    | 鳥取県倉吉市八屋                            | 朝, 八幡橋で乗用車と軽ワゴン車が正面衝突, 軽ワゴン車の男性(44才)運転者が, 右足の骨を折るなど3箇月の重傷を負った。米子署の調べでは, 路面が凍結しており, 乗用車がスリップして対向車線にはみ出し, 対向車と衝突した。                                                                                                                |
|                          |                                     | 21時45分ごろ, 国道179号線の竹田橋で, 乗用車が路面凍結                                                                                                                                                                                                 |

| 発生年月日<br>(事 項)       | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)           | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スリップ                 | 日. 12. 24-18                     | のためスリップ, 道路左側の歩道(高さ10cm)に乗り上げ, 女性(44才)歩行者を跳ねた。女性は衝突の弾みで, 高さ90cmの欄干を越えて8.3 m下の天神川中州に転落, 頭など強く打って即死した。倉吉署の調べによると, 乗用車は普通タイヤだった。同夜は急激な冷え込みで, 各路面が凍結したため, 同署管内で路面凍結による事故が, この他にも8件と相次いだ。                                                                                                             |
| 1986. 12. 22<br>スリップ | 広島県甲奴郡上下町<br>中. 12. 22ター3        | 6時50分ごろ, 県道で軽ライトバンが, 右側のガードレールを突き破って, 約3 m下の岡屋川に転落, 男性(62才)運転者は頭を強く打って即死, 同乗の男性(29才)も肩に軽傷を負った。府中署の調べでは, 軽トラックが先行の普通トラックを追い越して左にハンドルを切ろとしたところ, 路面が凍っていたため, スリップして転落した。                                                                                                                            |
| 12. 23<br>側溝         | 新潟市南笹口2<br>毎. 12. 24-16          | 10時半ごろ, 県道わき側溝(幅1 m, 深さ2 m, 水深30cm)に, 男性(58才)が頭から倒れて死んでいるのが発見された。新潟東署の調べによると, 男性は20日22時ごろ, 現場近くでタクシーを下車したまま行方不明になっていた。死因は凍死で, 酒に酔っていて誤って側溝に転落したまま, 寒さで冷えて死んだと見ている。                                                                                                                               |
| 12. 23<br>スリップ       | 岩手県下閉伊郡<br>川井村田代<br>新. 12. 24-19 | 12時半ごろ, 国道106号線で乗用車がスリップして対向車線にはみ出し, 前から来た大型トラックと激突して大破, 乗用車の女性5人(23才3人, 24才2人)が即死した。宮古署の調べによると, 現場は緩い右カーブの下り坂。直前に橋が架かった吹きさらしで, その直後も日陰となっているため, 雪が融けにくく, 21日夜に降った雪が車で踏み固められ, 約200mに渡って路面が圧雪状態になっていた。乗用車は約40km/hで走っていたが, 摺り減った普通タイヤを装着していた。また, 大型トラックは制限速度50km/hのところを, 60km/hで走行していたことが事故を大きくした。 |
| 12. 26<br>歩行者        | 長岡市中貫町3<br>新. 12. 27ター3          | 19時半前, 県道を歩いていた夫妻が, 対向して来た乗用車に跳ねられ, 夫(42才)は左膝の筋を傷め約2箇月, 妻(46才)は左足骨折で約4箇月の大けがをした。夫妻は歩道に約10cmの積雪があったため, 車道を歩いていた。長岡署では, 車道歩行が原因と見て調べている。                                                                                                                                                           |
| 12. 27<br>スリップ       | 長岡市天神町前田<br>毎. 12. 29-13         | 18時45分ごろ, 関越自動車道上り車線の信濃川大橋で, 乗用車が雪のためスリップ, 中央分離帯のガードロープに衝突, 弾みで乗用車は道路上に横向きになった。後続の乗用車が衝突を避けようと急ブレーキをかけたため, スリップして橋梁に衝突, 更に後続の乗用車やトラックが追突するなど計9台が事故を起こした。                                                                                                                                         |
| 12. 28<br>スリップ       | 新潟市浜浦町2<br>新. 1. 16ター3           | 3時半ごろ, 市道の浜浦橋の中央付近で, 乗用車が路面凍結のためスリップして, 欄干を破損した。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 12. 28               | 茨城県結城市                           | 8時ごろ, 県道鬼怒川大橋上で, 積雪による路面凍結のため,                                                                                                                                                                                                                                                                   |

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)              | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スリップ                | 読. 12. 29-17                        | 乗用車が相次いでスリップ, 正面衝突 1 件, 追突事故 2 件が発生し, 上下線とも約 600 m に渡って渋滞した. けが人は無かった.                                                                                                                                                                                                                           |
| 1986.12.28<br>スリップ  | 福島県石川郡石川町<br>松ノ木下<br>読. 12. 29-17   | 11時10分ごろ, 国道118号線で, 乗用車と 2 ton トラックが衝突, 乗用車の男性 (25才) 運転者が首の骨を折って即死した. 石川署の調べでは, 現場は雪のため路面がシャーベット状態になっていたが, 乗用車は普通タイヤで, スリップして対向車線にはみだしたため.                                                                                                                                                       |
| 12.28<br>スリップ<br>規制 | 福島県安達郡安達町<br>吉倉熊脇<br>毎. 12. 29-14   | 14時過ぎ, 東北自動車道下り線で, チェーン装着のため道路左わきに止まっていた乗用車に普通トラックが追突した. 後続の乗用車など31台が, この事故を避けようと急ブレーキをかけるなどしたことから, 同現場は約 1.5 km の間で, 雪のため次々とスリップして, 追突事故を起こした. 県警高速隊福島分駐隊の調べによると, 事故当時, 未明から降り続いた雪で, 路面は 2~3 cm の雪がシャーベット状になっていた. この事故で女性 1 人が10日間のけがをした. また, 同線は二本松~福島西インター間が閉鎖となり, 帰省客の足に影響が出た.               |
| 12.28<br>スリップ<br>規制 | 島根県鹿足郡六日町<br>六日市町蓼野<br>山. 12. 29-14 | 夕方, 中国縦貫道上り線で, 乗用車が雪のためスリップして, 道路で横向きになったところへ, 後続の乗用車 2 台が相次いで衝突. スリップした乗用車に同乗していた女性 (49才) が左足の骨を折る 3 箇月の大けがを負った. 県警高速道路交通警察隊の調べでは, 現場は緩やかな左カーブの下り坂で, 路面には 1 cm の積雪があった. この日は積雪のため, 事故の20分前から同線は 50 km/h の速度規制が実施されていた. この事故で同線は, 鹿野~六日市間で35分の通行止めになった.                                          |
| 12.28<br>規制         | 茨城県<br>朝. 12. 29-17                 | 県内は北部や内陸部を中心に28日未明から雪に変わり, この雪で常磐自動車道全線で, 10時まで 50 km/h, 14時まで 80 km/h の速度規制が実施された. また, 表筑波, 裏筑波スカイラインとも 9 時30分から全線でチェーン規制となった.                                                                                                                                                                  |
| 12.28<br>スリップ<br>規制 | 栃木県那須郡那須町<br>豊原<br>読. 12. 29タ-18    | 0 時25分ごろ, 東北自動車道上り線でトラックが, 追い越し車線に止まっていたトラックに追突, 更に走行車線に止まっていた乗用車に追突した. 後続の 4 台もトラックに玉突き衝突した. この事故で, 追い越し車線に止まっていたトラックと走行車線に止まっていた乗用車の男性運転者 2 人 (31才, 36才) が, それぞれの車のわきで全身を強く打って死んでいるのが見つかり, 玉突き衝突した乗用車の 4 人が重軽傷を負った. 県警高速隊の調べでは, 同道路は降雪のため, 50 km/h の速度規制となっていた. 事故に関係した 7 台の車両は, いずれも普通タイヤだった. |
| 12.28<br>規制         | 関東地方<br>読. 12. 29-18                | 13時, 気象庁は多摩地方に大雪注意報を出した. 関東地方の雪は午後にはやんだが, 積雪のため, 中央自動車道も 50 km/h の速度規制するなど各地でチェーン規制などが実施された.                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)           | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)               | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1986.12.28<br>スリップ<br>規制 | 茨城県筑波郡<br>谷和原村鬼長<br>茨 . 12 . 30 - 15 | 23時35分ごろ, 常磐自動車道下り線で, 軽トラックが乗用車2台と衝突, 更に軽トラックに後続のトラックが追突した. この事故で軽トラックの男性(42才)運転者は, 頭を打って間もなく死亡, 軽トラックの同乗女性(40才)は, 肩の骨を折って2箇月の重傷を負った. 県警高速隊の調べでは, この他, 28日23時半から29日1時半の間, 同村付近から千葉県柏市内にかけて, 路面凍結によるスリップ事故が8件起きた. 28日未明から29日早朝まで, 区間ごとに断続的な速度規制を実施した. |
| 12.28<br>スリップ<br>規制      | 長野県茅野市宮川<br>毎 . 12 . 29 - 14         | 1時20分ごろ, 中央自動車道西宮線下りの追い越し車線で, ワゴン車にチェーンを付けていたところに乗用車が追突. この弾みで男性(22才)が走行車線にほうり出されて, 走って来た乗用車に跳ねられ, 首の骨を折って即死した. 県警高速交通隊の調べによると, 同線は積雪のためチェーン規制中だった. ワゴン車はスパイクタイヤを付けていたが, 雪のためスリップし, 中央分離帯に衝突して停車, そこでチェーンを付けていた.                                     |
| 12.29<br>除雪中             | 長岡市青山<br>新 . 12 . 30 - 19            | 9時ごろ, 自宅前でスノーダンプで除雪中の男性(81才)が, ライトバンに跳ねられて右足骨折で2箇月の重傷を負った.                                                                                                                                                                                           |
| 12.29<br>屋根雪             | 十日町市伊達甲<br>新 . 12 . 30 - 19          | 10時前, 二階窓から屋根雪の雪庇落とし中の男性(73才)がバランスを崩して2.5 m下の側溝に落ち, 頭などを強打して重傷を負った.                                                                                                                                                                                  |
| 12.30<br>屋根雪             | 小千谷市上の山4<br>朝 . 12 . 31 - 21         | 10時15分ごろ, 自宅屋根の雪下ろしのため, 梯子を登っていた男性(41才)が, 梯子が滑ったため約7 m下の駐車中の軽乗用車の屋根に転落, 手や足などを打って1週間のけがをした.                                                                                                                                                          |
| 12.30<br>転落<br>登山者       | 長野県<br>毎 . 1 . 3 - 23                | 北アルプスの槍ヶ岳(標高3,180 m)北鎌屋根を登山中の男性(25才)は, 千丈沢へ転落し, 負傷して救助を待っていたが, 1日昼に民間ヘリコプターで救助された. 頭や胸を打って3週間のけが.                                                                                                                                                    |
| 12.30<br>遭難<br>登山者       | 長野県<br>毎 . 1 . 3 - 23                | 14時40分ごろ, 北アルプスの槍ヶ岳(標高3,180 m)北鎌屋根の第六峰を登山中の男性(22才)が, 頭に落石を受け, 動けない状態だが, 仲間が付き添って, 雪洞の中で待機して救助を待っている.                                                                                                                                                 |
| 12.30<br>規制              | 新潟県<br>朝 . 12 . 31 - 21              | 7時過ぎ, 関越自動車道は, 下り線の関越トンネルの土樽チェーンベース～塩沢インター間でチェーン規制が実施された. 同規制は1時間半後に解除された.                                                                                                                                                                           |
| 12.31<br>土砂崩れ            | 柏崎市石曽根<br>新 . 1 . 3 - 22             | 22時半ごろ, 住宅の裏山が降雨のため長さ13 m, 幅10 mに渡って崩れた. この土砂崩れで木造一部二階建て住宅132 m <sup>2</sup> が半壊したが, 住民は直前に避難して無事だった.                                                                                                                                                |
| 12.31<br>雪崩<br>登山者       | 長野県上伊那郡<br>毎 . 1 . 3 - 23            | 13時ごろ, 中央アルプス空木岳(標高2,864 m)の小地獄付近で, 登山中の2人が雪崩に遭い, 男性(24才)1人が行方不明, 男性(24才)1人が自力で脱出したが, 両手足に2週間の凍傷.(行方不明の男性は5月4日遺体で, 登山道から500 m下の沢で発見された. 毎 . 5 . 5 - 23)                                                                                              |

| 発生年月日<br>(事 項)          | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 1<br>凍死<br>登山者 | 長野県<br>新. 1. 3 - 23               | 北アルプスの西穂高岳(標高 2,909m)で, 男性(43才)が, 死んでいるのが発見された. 豪雪と強風でテントがつぶれ, 脱出したものの凍死したらしい. 遺体はテントの20m先にあった                                                                                                      |
| 1. 1<br>凍死<br>登山者       | 長野県<br>毎. 1. 3 - 23               | 0時ごろ, 北アルプスの東天井岳(標高 2,811m)頂上付近で, 登山者2人が雪洞の中でビバーク中, 突風で雪洞が崩れたため, 2人は脱出して簡易テントに移って居たが, 男性(33才)は6時ごろ凍死, 女性(39才)は自力で大天荘に辿り着いたが, 両手足に2週間の凍傷.                                                            |
| 1. 1<br>凍死<br>登山者       | 静岡県田代<br>新. 1. 3 - 23             | 11時半ごろ, 南アルプスの上河内岳(標高 2,803m)頂上付近で, 雪で半分埋まったテントの中で, 男性(32才)が凍死しているのが発見された.                                                                                                                          |
| 1. 3<br>スリップ            | 岩手県北上市飯豊町<br>字村崎野<br>毎. 1. 4 - 23 | 10時20分ごろ, 東北自動車道上り線で, 大型観光バスが乗用車に追突, 乗用車の助手席に乗っていた女性(23才)が, 全身を強く打って間もなく死亡, 運転者も肋骨を折り重傷. 県警高速隊の調べによると, 乗用車がシャーベット状の路面にハンドルをとられてスリップ, 横向きになって追い越し車線にはみ出したところへ, 追い越しを始めていたバスが追突した. バスの乗客23人にはけがは無かった. |
| 1. 4<br>土砂崩れ<br>規制      | 長岡市宮本3<br>新. 1. 6 - 21            | 9時半ごろ, 県道長岡～西山線で路肩が長さ25m, 幅3mに渡って決壊, 同線は13時から全面通行止めになった. 県長岡土木事務所によると, 現場は薬師トンネルの長岡市側約2kmの所. 昨年3月, 雪融け水での路肩決壊現場の隣で, 谷側へ約600m <sup>2</sup> の路肩部分の土砂が決壊した. 復旧の見通しは立っていない.                             |
| 1. 4<br>吹雪<br>列車<br>欠航  | 北海道<br>新. 1. 5 - 22               | 北海道は4日, 冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に朝から猛吹雪となり, 各地で雪の吹溜りが出来, 国鉄はポイントの切り替え作業に支障が生じ, 特急列車18本を含め急行列車, 普通列車の合計202本を運休した. 運転された列車も5時間から1時間の遅れを出し, 乗客12,500人が影響を受けた. また, 千歳空港では道内便に欠航が出た他は通常運航をした.                  |
| 1. 4<br>スリップ            | 岩手県東磐井郡<br>川崎村<br>毎. 1. 5 - 27    | 10時40分ごろ, 県国で乗用車が道路左側約20m下の北上川(幅50m, 水深10m)に転落, 水没した. 千厩署の調べによると, 乗用車が急カーブを曲がった際, 圧雪路面でスリップして, 高さ20cmのコンクリート製ガードレールを乗り越え転落した. 同乗の女性(26才)は水死, 男性(25才)運転者は行方不明.                                       |
| 1. 4<br>遭難              | 岩手県岩手郡滝沢村<br>新. 1. 9 - 21         | 11時半ごろ, 山中の林道で車が動かなくなり, 雪で閉じ込められてしまった身体障害者の男性(48才)が, 狩猟中の男性に救助された. 盛岡西署の調べによると, 男性は12月29日昼過ぎに林道で, 車の車輪が雪でスリップして動けなくなり, 雪を食べて命をつないでいた.                                                               |
| 1. 4<br>遭難<br>登山者       | 長野県<br>新. 1. 5 - 23               | 北アルプスの西穂高岳(標高 2,909m)の西穂高山荘から4日までに, 12月30日ごろテントを設営して, 西穂高岳に向かった男性2人(31才, 32才)が, 戻って来ないと豊科署に届けがあ                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)        | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)          | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 4<br>滑落, 登山者 | 長野県・岐阜県境<br>毎. 1. 5 - 27        | った。(2人は5月4日午後, 同山荘近くの沢で遺体となって発見された。読. 5. 5 - 26)                                                                                                                                                            |
| 1. 4<br>列車            | 東京都西多摩郡<br>奥多摩町<br>朝. 1. 5 - 22 | 10時ごろ, 北アルプスの槍ヶ岳山荘付近を下山中の男性(21才)が約300m 滑落, 重傷を負って病院へ収容された。<br>6時半過ぎ, 国鉄青梅線古里駅～鳩ノ巣駅間の将門トンネルで, 普通電車が停電のため停車した。西鉄道管理局の調べでは, 凍結した架線でパンタグラフが破損し, 過電流が生じて停電したらしい。この事故で, 上下線の列車18本が運休, 約5時間半後に復旧するまで500人の乗客に影響が出た。 |
| 1. 5<br>凍死            | 西頸城郡能生町檜<br>新. 1. 6 - 21        | 9時過ぎ, 水田で男性(55才)が死んでいるのを, 通行人が発見して糸魚川署へ届け出た。同署の調べでは, 男性は自宅で酒を飲んで外出して, 寒さのため5日3時ごろ, 心臓衰弱で死亡したと見ている。                                                                                                          |
| 1. 5<br>遭難<br>登山者     | 長野県<br>新. 1. 6 - 23             | 北アルプスの槍ヶ岳(標高 3,180m)方面に向かったまま, 男性3人(25才, 27才, 30才)が行方不明になっている。豊科署では燕山荘から東鎌尾根にかけての稜線で遭難した可能性が強いと見ている。                                                                                                        |
| 1. 5<br>遭難<br>登山者     | 長野県<br>新. 1. 6 - 23             | 北アルプスの後立山連峰に登ったまま, 男性2人(34才, 35才)が下山予定の4日を過ぎても帰らないと, 大町署に届け出があった。                                                                                                                                           |
| 1. 5<br>遭難<br>登山者     | 長野県<br>新. 1. 6 - 23             | 中央アルプスの木曽駒ヶ岳(標高 2,956m)の頂上の木曽小屋付近で行方不明になっていた男性(27才)が, 7日午前, 同岳南側の間の沢で, 遺体となって発見され, 収容された。男性は5日, 疲労で動けなくなった後, 行方不明になっていた。                                                                                    |
| 1. 5<br>滑落<br>登山者     | 富山県<br>新. 1. 6 - 23             | 8時40分ごろ, 北アルプスの立山(標高 3,015m)の尾根を縦走中の男性(37才)が, 足を滑らせ約400m 滑落, 右膝脱臼, 左足捻挫などで3箇月の重傷を負って, ヘリコプターで病院へ収容された。                                                                                                      |
| 1. 5<br>遭難<br>登山者     | 富山県<br>新. 1. 6 - 23             | 北アルプスの剣岳(標高 2,998m)に入山した親子3人(男性24才, 24才, 53才)が, 下山予定の5日になっても戻らず, 県警山岳警備隊は, 遭難の可能性が強いと見て捜索を開始した。                                                                                                             |
| 1. 5<br>雪崩<br>登山者     | 岐阜県<br>新. 1. 6 - 23             | 神岡署に5日夕方入った連絡によると, 北アルプスの滝谷で, 行方不明になっていた男性登山者2人(29才, 31才)は, 滝谷避難小屋の南西400mの沢の, 雪の中から相次いで遺体で見つかった。現場一帯には登山者を挟んで幅約30cm, 長さ50cm, 深さ5mの雪崩の起きた跡があることから, 同署では2人が下山途中に雪崩に巻き込まれ, 遭難したと見ている。                          |
| 1. 5<br>注意報           | 関東, 甲信地方<br>朝. 1. 6 - 1         | 関東, 甲信地方は, 午後から各地で雪が降り始め, 夜に入ってから強まった。気象庁は首都圏を含む同地方の全域に大雪注意報を出し, 警戒を呼び掛けた。東京地方の降雪は, 先月28日, 今月2日に次ぎ, この冬3度目。                                                                                                 |
| 1. 5                  | 東京都日野市                          | 20時24分ごろ, 国鉄中央線豊田駅構内で, ポイント凍結防止                                                                                                                                                                             |

| 発生年月日<br>(事 項)              | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 列車                          | 新 . 1 . 6 タ - 3                       | 用のカンテラに給油, 点検作業中の助役 (男性, 45才) が, 特急列車に跳ねられ即死した。                                                                                                                                                                                            |
| 1987. 1 . 5<br>視界悪化<br>スリップ | 東京都品川区大井 1<br>毎 . 1 . 6 タ - 11        | 21時ごろ, 第一京浜国道で, 250cc オートバイを運転中の男性 (27才) が, 自転車で横断中の男性に接触して転倒, 首の骨を折って間もなく死亡。自転車の男性 (41才) も顔などに軽いけがをした。大井署の調べによると, 事故当時は雪で視界が悪く, オートバイの運転者が自転車に気づくのが遅れ, 慌てて急ハンドルを切り, 路面でスリップしたらしい。                                                         |
| 1 . 5<br>転落                 | 東京都町田市<br>東玉川学園 2<br>毎 . 1 . 6 タ - 11 | 21時15分ごろ, 男性 (63才) が屋外階段から, 雪のため足を滑らせて転落し, 鎖骨を折った。                                                                                                                                                                                         |
| 1 . 5<br>注意報                | 水戸地方<br>茨 . 1 . 6 - 23                | 16時45分, 水戸地方気象台は, 県内全域に今冬初の大雪注意報を出し, 警戒を呼び掛けた。                                                                                                                                                                                             |
| 1 . 5<br>規制                 | 茨城県<br>茨 . 1 . 6 - 23                 | 県南地方を中心に今冬 2 度目の降雪があり, この雪で常磐自動車道は, 15時10分から一部区間で, 80~50km/h の速度規制が実施され, 16時から全線が50km/h に速度規制された。                                                                                                                                          |
| 1 . 6<br>停電<br>列車           | 岩船郡山北町府屋<br>新 . 1 . 7 - 19            | 17時 5 分ごろ, 国鉄羽越線の府屋駅~五十川駅間で, 異常電流による停電事故が起き, 上下線とも不通となった。上り線は18時半, 下り線は21時 4 分に復旧した。新潟鉄道管理局では, 事故原因は架線にみぞれが凍り着いて電気が通りにくくなったか, あるいはパンタグラフなど電気系統の故障と見て, 詳しく調べている。この事故で, 特急列車 1 本の運転を折り切ったのを始め, 特急列車 4 本に 3 時間から 1 時間半の遅れが出た。また, 普通列車にも影響が出た。 |
| 1 . 6<br>踏み切り               | 群馬県富岡市富岡<br>朝 . 1 . 6 タ - 12          | 7時45分ごろ, 上信電鉄踏み切りで普通電車と乗用車が衝突し, 乗用車は約35m引きずられて, 電車と民家のブロック塀に挟まれて大破した。富岡署の調べによると, 現場は遮断機と警報機が無く, 民家の塀で見通しが悪いため, 乗用車は踏み切り内に車体を出して安全を確認したところ, 電車が来るのに気づき慌ててバックしようとしたが, 車輪が雪で空転し立ち往生した。                                                        |
| 1 . 6<br>スリップ<br>規制         | 茨城県<br>茨 . 1 . 7 - 22                 | 5日午後から6日朝にかけて, 県内では, 筑波山中腹で最高16cmなど, 各地で10cm以上の積雪を記録した。この雪のため, 常磐自動車道が全線で5日15時37分から6日13時半まで50km/h の速度規制が実施された他, 県道石岡~下館線の上曽峠や筑波スカイラインなど 5 路線が全面通行止めになった。県警交通企画課のまとめでは, この雪によるスリップ事故は人身 1 件, 物損17件の合計18件。水戸地方気象台は, 県内に5日夕方には今冬初の大雪注意報を出した。  |
| 1 . 6<br>スリップ               | 茨城県鹿島郡大洋村<br>台濁沢<br>茨 . 1 . 7 - 23    | 2時25分ごろ, 国道51号線で少年 (17才) が運転していた乗用車が横滑りして, センターラインを越えたところへ, 対向して来た大型トラックが正面衝突した。この事故で, 乗用車は大                                                                                                                                               |

| 発生年月日<br>(事 項)     | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 6<br>転倒   | 東京都<br>毎. 1. 6 ター11               | 破し, 運転していた少年と同乗していた少年(17才)が, 全身を強く打って即死した. 銚田署の調べでは, 事故当時, 現場は折からの雪で路面に積もった雪がシャーベット状態で, 滑りやすい状態だった.<br>首都圏では5日夜から6日朝にかけて, 雪による事故が相次いだ. 東京消防庁や警視庁によると, 都内では1人が死亡, 35人がけが(うち骨折12人)をした.                                                                    |
| 1. 6<br>スリップ       | 東京都葛飾区柴又2<br>毎. 1. 6 ター11         | 1時34分ごろ, 自転車に乗っていた男性(40才)が, 路上の雪でスリップして転び, 左足を骨折して入院した.                                                                                                                                                                                                 |
| 1. 6<br>スリップ       | 東京都府中市若松町<br>毎. 1. 6 ター11         | 2時10分ごろ, 路上でタクシーがスリップして電柱に衝突, 乗客ら2人が顔などに軽いけがをした.                                                                                                                                                                                                        |
| 1. 6<br>転倒         | 東京都町田市森野3<br>毎. 1. 6 ター11         | 6時40分ごろ, 出勤しようとした男性(42才)が, 自宅玄関を出たところで, 雪のため滑って転倒し, 左腕の骨を折り入院した.                                                                                                                                                                                        |
| 1. 6<br>空港         | 成田空港, 羽田空港<br>中. 1. 6 ター3         | 空のダイヤは成田空港で計3便に30分から1時間の遅れが出たが, 羽田空港は滑走路に積雪が殆ど無く影響は無かった.                                                                                                                                                                                                |
| 1. 6<br>列車<br>規制   | 国鉄新幹線総局<br>毎. 1. 6 ター11           | 東海道新幹線は, 東京駅～熱海駅間の75km区間で, 始発から170km/hの徐行運転で, 上下49本の列車に最高11分から5分の遅れが出て, 23,000人の足が乱れた. しかし, 10時ごろ徐行区間を新横浜駅～小田原駅間の20kmに短縮, 11時15分には平常運転に戻った.                                                                                                             |
| 1. 6<br>規制         | 高速自動車道<br>毎. 1. 6 ター11            | 日本道路交通情報センターによると, 9時半現在, 静岡県の伊豆スカイラインと国道136号線の船原峠が, 積雪のため全面通行止め, 中央高速道の相模以西, 関越道の赤城パーキングエリア～関越トンネル間では, チェーン規制, また, 東関東自動車道, 京葉道路で50km/h, 東名高速道で80km/hの速度規制が続いている. 一般道路では, 甲州街道の大碓氷峠, 秋川街道の小峰峠, 一日市～青梅線の梅ヶ谷峠, 富士五湖周辺の国道137, 138, 139号線などでチェーン規制が実施されている. |
| 1. 6<br>転倒<br>スリップ | 神奈川県横浜市<br>戸塚区川上町<br>毎. 1. 6 ター11 | 7時ごろ, 国鉄東海道線の東戸塚駅前で, 出勤途中の男性(26才)が, 凍った路面に足を滑らせ転倒, 右足を骨折した. 同市消防局のまとめによると, 同市内ではこの他雪のため, 転倒したりして2人が骨折, 7人が打撲などで救急車で病院に運ばれた. また, 県内ではスリップなどによる交通事故が20件発生して, 4人が軽いけがをした. 横浜市内は5日夕から6日朝にかけて6cmの積雪が有り, 朝の冷え込みで, 一部の路面が凍結し, 滑りやすい状態だった,                      |
| 1. 6<br>列車         | 千葉県夷隅郡岬町<br>毎. 1. 6 ター11          | 5時52分ごろ, 国鉄外房線の太東駅で, ポイントに雪が詰まり, 普通列車が動けなくなった. 手動でポイントを切り替え, 44分後に運転を再開した. この影響で総武線に乗り入れている快速上り列車2本と普通列車上下7本の計9本が36分から5分以上遅れた.                                                                                                                          |

| 発生年月日<br>(事 項)     | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 6<br>スリップ | 広島県三次市<br>西酒屋町<br>中. 1. 6ター1 | 7時40分ごろ, 中国自動車道下り線で, 大型トラックが前の大型トラックを追い越したとたん, 路面が凍結していたためスリップして, 左側の斜面上に乗り上げた. このため追い越された大型トラックが事故を避けるため急ブレーキをかけたところ, 車はスピンをして反転, 中央分離帯に衝突した. 更に後続の6台の大型トラックも急ブレーキを踏んだため, 2台が横転, 2台が中央分離帯や左側ガードレールに衝突した, この事故で, 最後に追突した大型トラックの男性(25才)運転者が, 右足骨折の重傷を負った. |
| 1. 9<br>警報         | 新潟地方気象台<br>新. 1. 10-23       | 新潟地方気象台は17時30分, 上越, 中越, 下越地方に, 今冬初めての大雪警報と強風, 雪崩, 着雪注意報を出した, 佐渡地方には, 風雪, 波浪注意報が継続している.                                                                                                                                                                   |
| 1. 9<br>突風         | 佐渡郡相川町羽田<br>新. 1. 10-22      | 1時半過ぎ, 突風が吹きホテルの屋根瓦 350 枚が吹き飛んだのを始め, 民家2棟の屋根瓦と道路沿いのスレート屋根が吹き飛んだ. この破片などのため, 住宅4棟の窓ガラスが壊れた他, 駐車してあった2台の車のガラスとボンネットが壊れ, 電話線が1箇所切断され13時過ぎまで不通となった. 相川測候所によると, 同時刻ごろは西北西の風が15~20 m/secの強さで吹いており前線が通過した1時36分には, 瞬間最大風速 26.3 m/secを記録している.                     |
| 1. 9<br>スリップ       | 南蒲原郡中之島町<br>朝. 1. 11-21      | 20時半ごろ, 県道で乗用車が雪のためスリップ, 弾みでこの乗用車が対向車線をふさぐ形となり, 対向して来た乗用車と衝突した. この事故で女性運転者と男性運転者の2人が, 顔などに軽いけがをした.                                                                                                                                                       |
| 1. 10<br>警報        | 新潟地方気象台<br>新. 1. 11-19       | 新潟地方気象台は5時40分, 上越, 中越, 下越地方に, 新たに波浪警報を出した. また, 佐渡地方に波浪警報を継続発令した.                                                                                                                                                                                         |
| 1. 10<br>規制<br>列車  | 国鉄新潟鉄道管理局<br>新. 1. 11-19     | 国鉄新潟鉄道管理局は正午から, 弥彦線を除く全線で, 第1次運転規制に入り, 除雪体制を整えた. また, 18時からは上越線宮内駅~水上駅間と信越線直江津駅~黒姫駅間で, 第2次運転規制に入り, 上越線のスキー臨時列車2本を運休した.                                                                                                                                    |
| 1. 10<br>欠航        | 新潟空港, 新潟港<br>新. 1. 11-19     | 新潟空港に離着陸する名古屋便, 大阪便など16便のすべてが強風と吹雪のため欠航した. また, 佐渡汽船も新潟~両津間のジェットフォイル2往復全便とカーフェリー1往復, 新潟~小木間, 新潟~赤泊間のカーフェリー各1往復が欠航した.                                                                                                                                      |
| 1. 10<br>スリップ      | 小千谷市<br>朝. 1. 11-21          | 8時ごろ, 関越自動車道上り線で, 乗用車が雪のためスリップして中央分離帯に衝突, 後続の乗用車2台が次々と追突するなどの事故が相次いで発生, 9日17時から10日8時までの雪によるスリップ事故は, 人身事故4件を含めて18件起きた. 県警は9日夕方発令した今冬2度目のスリップ注意報を10日も引き続き出して注意を呼び掛けた.                                                                                      |
| 1. 10              | 糸魚川市大町                       | 国道8号線は, 糸魚川市大町~寺島間が, 高波のため通行止                                                                                                                                                                                                                            |

| 発生年月日<br>(事 項)          | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                 | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高波, 規制<br>1.10<br>病人転送  | 毎 . 1 . 11-17<br>佐渡ヶ島<br>新 . 1 . 11-19 | めになった。<br>悪天候で佐渡航路が全便欠航となっていた10日16時半, 両津市民病院に入院中の老人(男性, 75才)と男児(3才)の容体が急変, 連絡を受けた新潟海上保安部は, 巡視船を出動させて新潟市の病院へ転送した。                                                                                           |
| 1.10<br>規制              | 関越, 北陸自動車道<br>朝 . 1 . 11-23            | 関越自動車道, 北陸自動車道は, 70cmを超える積雪が有り, 未明から全線で最高速度が50km/hに規制された他, 関越自動車道の塩沢石打インター～関越トンネル, 関越トンネル～土樽チェーンベース間でチェーン規制が続けられた。                                                                                         |
| 1.10<br>地吹雪             | 小千谷市四ツ子<br>新 . 1 . 11-19               | 15時過ぎ, 県道で軽自動車と乗用車が正面衝突し, 軽自動車の男性(49才)運転者が右膝じん帯断裂などで2箇月の重傷を負った。小千谷署の調べでは, 軽自動車が地吹雪でワイパーがよく利かないのに進行したため, 対向車線に入り衝突した。                                                                                       |
| 1.10<br>スリップ<br>規制      | 北魚沼郡川口町中山<br>新 . 1 . 11-19             | 17時過ぎ, 関越自動車道の川口インター～小出インター間の上り線で, 路面凍結のため普通トラックがスリップして中央分離帯に衝突, この事故で後続の車両13台が追突したり, 雪の壁に突っ込んだりした。このため同線は長岡～小出間が18時から約3時間に渡り通行止めになった。                                                                     |
| 1.10<br>除雪中             | 青森県青森市油川<br>浪岸<br>朝 . 1 . 11-23        | 8時15分ごろ, 自宅前の雪かき作業をしていた老人(男性, 70才)が; 作業中に急性心不全で死亡した。                                                                                                                                                       |
| 1.10<br>警報<br>注意報<br>欠航 | 山形県, 秋田県<br>朝 . 1 . 11-23              | 朝, 山形県では, 今冬初の大雪警報が発令, また, 秋田県には大雪注意報が発令された。本格的な冬の到来で, 山形, 秋田両空港は, 降雪で視界が悪化し, 山形空港では, 1便が欠航, 1便が仙台空港へ回った他, 秋田空港でも着陸が最高45分遅れた。                                                                              |
| 1.11<br>竜巻              | 秋田県南秋田郡<br>新 . 1 . 12-19               | 2時半ごろ, 八郎潟残存湖周辺で竜巻が発生, 住宅や作業小屋など108棟が, 屋根が飛んだり窓が壊れたりした。県警の調べによると, 被害に遭ったのは八竜町52棟, 若見町11棟, 八郎潟町10棟, 大潟村16棟, 井川町2棟。全壊したのは若見町で木造平屋建て住宅1棟, 他に火の見やぐらの倒壊や防雪柵(長さ6m, 高さ4m)2基が道路上に倒れ, 乗用車が柵に突っ込み車の前部を破損したがけが人は無かった。 |
| 1.11<br>規制<br>地吹雪       | 福島県<br>茨 . 1 . 12-14                   | 東北自動車道は, 福島飯坂～白石インター間が, 未明から地吹雪となり同区間の下り線が2時58分から9時50分まで, また, 同区間の上り線が3時半から10時半まで通行止めになった。更に福島西～福島飯坂間も5時25分に閉鎖されたが, 約3時間半後に解除された。                                                                          |
| 1.11<br>規制<br>列車        | 国鉄新幹線総局<br>毎 . 1 . 11-22               | 東海道新幹線は, 関ヶ原付近の降雪のため, 始発列車から10時半まで京都駅～米原駅間の一部の60km間で, 170km/hの徐行運転を行った。                                                                                                                                    |
| 1.12<br>屋根雪             | 中頸城郡妙高村関山<br>新 . 1 . 12夕-3             | 14時過ぎ, 小学生(男子, 9才)が自宅の屋根の雪下ろし中誤って約8m下の軒下に転落。前頭部陥没と両手首骨折の重傷                                                                                                                                                 |

| 発生年月日<br>(事 項)     | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)  | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 12<br>流雪溝 | 栃尾市宮沢<br>新. 1. 29-14    | <p>を負った。新井署の調べによると、積雪1mの屋根の雪下ろしを手伝っていたもので、軒下はコンクリートで地下水を流していたため、雪が無かった。</p> <p>15時過ぎ、国道290号線わきの流雪溝に、下校途中の小学生(女子、6才)が転落するのを、バイクで通りかかった男性が目撃、落ちた地点から49mほど下流で、流雪溝のふたを開けて、仰向けになって流されて来るところを助け上げた。栃尾署の調べによると、小学生が落ちた場所の流雪溝のふたは、近くの人が雪捨てのため外して作業をしていたが、お客が尋ねて来たため、ふたをしないで家の中へ戻った僅かの間の出来事だった。</p> |
| 1. 12<br>屋根雪       | 小千谷市蔦生乙<br>新. 1. 13夕-3  | <p>20時過ぎ、自宅屋根の雪下ろし作業中の男性(57才)が、誤って足を滑らせて高さ5.4mの高床式一階屋根から転落し、肋骨を折って全治1箇月のけがをした。屋根はトタン葺きで、男性はスノーダンプで雪下ろしをしていた。当時、屋根には約80cmの積雪があった。県警本部の調べによると、雪下ろしの事故は今回が7件目。</p>                                                                                                                            |
| 1. 12<br>列車        | 国鉄新幹線総局<br>朝. 1. 12夕-14 | <p>山陽新幹線は7時40分ごろから、岡山県内での雪のため、8時59分ごろには相生駅構内でポイントが動かなくなり、一時列車を止めた。手動でポイントを切り替えて運転を再開したが、上下列車9本が最高30分遅れ、約6,000人が影響を受けた。同線は雪のため相生駅～岡山駅間で徐行運転をした。</p>                                                                                                                                         |
| 1. 12<br>列車        | 東京都<br>朝. 1. 13-23      | <p>首都圏の国鉄は21時20分ごろから22時10分ごろにかけて、武蔵野線東浦和駅や八高線東福生駅、総武線錦糸町駅で、雪でポイントが動かなくなる事故が相次ぎ、上下列車合わせて24本が最高40分遅れた。</p>                                                                                                                                                                                   |
| 1. 12<br>警報<br>注意報 | 気象庁<br>朝. 1. 13-1       | <p>発達した低気圧の東進に伴い関東地方、甲信地方は午後から雪となり、首都圏も夜に入って白一色に雪化粧した。東京では今冬4度目の降雪で、同地方の山間部では更に強い降雪が予想されるため、気象庁は長野県に大雪警報、東京都、神奈川県、栃木県、山梨県など各都県に大雪注意報を出した。</p>                                                                                                                                              |
| 1. 12<br>規制<br>列車  | 国鉄新幹線総局<br>新. 1. 13-19  | <p>東海道新幹線は、関西地方、中国地方に午前中から降り続いた雪のため、昼過ぎから新大阪駅～豊橋駅間の一部区間で、上下線とも170～70km/hの徐行運転をしていたが、上り列車が名古屋駅を発車して間もなく、雪の塊か砂利を跳ねて、車両の床下のブレーキ管を損傷するなどして、上下列車7本が運休、114本が最高7時間の遅れ、約86,000人の足が乱れるなどで大混乱した。</p>                                                                                                 |
| 1. 12<br>規制        | 高速自動車道<br>新. 1. 13-19   | <p>名神高速自動車道では雪のため。上り線が名古屋～栗東インター間、下り線が名古屋～大津インター間で通行止め、岐阜羽島～関ヶ原間は上下線でチェーン規制になったのを始め、名古屋市都市高速道も13時前に全面閉鎖された。</p>                                                                                                                                                                            |
| 1. 12              | 首都圏                     | <p>東京都内では、雪による事故が相次ぎ、13日0時までには雪で</p>                                                                                                                                                                                                                                                       |

| 発生年月日<br>(事 項)       | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)               | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スリップ<br>転倒           | 朝 . 1 . 13 - 23                      | スリップしたオートバイの大学生が, 反対車線に飛び出して乗用車に跳ねられて即死するなど車の接触, 追突事故が52件起き1人が死亡, 16人がけがをした。また, 歩行者が雪で足を滑らせて転び, 骨折するなど23人がけがをして救急車で病院に運ばれ, うち9人が入院した。                                                                                                                                                 |
| 1987 . 1 . 12<br>転倒  | 東京都台東区上野3<br>朝 . 1 . 13 - 23         | 19時15分ごろ, 路上で女性(43才)が雪のため滑って転び, 右足太ももの骨を折る大けがをして, 救急車で近くの病院に運ばれた。                                                                                                                                                                                                                     |
| 1 . 12<br>転倒         | 東京都八王子市<br>朝 . 1 . 13 - 23           | 19時半ごろ, 京王帝都電鉄北野駅前の歩道で, 帰宅途中の中学3年の男子(15才)生徒が, 雪で足を滑らせて転倒し, 路面で顔を打って前歯を4本折った。                                                                                                                                                                                                          |
| 1 . 12<br>転倒         | 東京都小金井市本町<br>朝 . 1 . 13 - 23         | 20時半ごろ, 帰宅途中の女性(20才)が, 路上の雪で滑って転び, 尻の骨を強く打って, 近くの病院に入院した。積雪は, 3cmほど。歩道から車道に通じる斜面で滑った。                                                                                                                                                                                                 |
| 1 . 12<br>規制         | 高速自動車道<br>朝 . 1 . 13 - 23            | 大雪で中央自動車道が, 21時25分から全線に渡ってチェーン規制, 関越自動車道も20時20分から, 同じ処置がとられた。また, 東北自動車道の白河～那須間が21時過ぎから通行止めになった他, 東名高速自動車道, 常磐自動車道などでチェーン規制が相次いだ。                                                                                                                                                      |
| 1 . 12<br>転倒<br>スリップ | 埼玉県草加市<br>毎 . 1 . 13夕 - 9            | 朝, 出勤途中の男性が雪で足を取られて転倒, 右足骨折で3週間の大けがをしたのを始め, 12日夜から13日朝にかけて, 転倒事故で4人が重軽傷を負った。車のスリップ事故も相次ぎ, 同県警本部のまとめによると, 約50件の雪によるスリップ事故が起き, 21人がけがをした。                                                                                                                                               |
| 1 . 12<br>転倒<br>スリップ | 神奈川県横浜市中区<br>相生町3<br>毎 . 1 . 13夕 - 9 | 23時ごろ, 帰宅途中の男性(31才)が, 雪と雨でシャーベット状になった路面に足を取られて転倒, 足を骨折した他, 同市消防局のまとめによると, 転倒などで18人が打撲傷を負った。また, 県内では雪が降り始めた12日夕から13日8時まで, スリップなど雪による交通事故が108件起き, 8人が軽いけがをした。                                                                                                                           |
| 1 . 12<br>スリップ<br>規制 | 千葉県船橋市西浦<br>朝 . 1 . 12夕 - 14         | 5時40分ごろ, 湾岸高速道路の市川～習志野間の上り線で, 乗用車が雪で濡れた路面でスリップして停車したところに, 後続車が追突。更に別の5台が玉突き衝突した。約20分後, 同現場付近の下り線でも, スリップで乗用車1台が道路左側のコンクリート製路肩にぶつかった。この事故の約20分後にも同現場から200m離れた市川市二俣の同道路下り線で, 乗用車など4台が玉突き衝突した。けが人は無かったが, 事故処理などのため約20時間に渡って通行規制をしたことから, 上下線とも, 約10kmに渡って渋滞した。県警高速隊の調べによると, 降雪によるスリップが原因。 |
| 1 . 12<br>病気         | 千葉県勝浦市興津<br>新 . 1 . 13夕 - 2          | 16時ごろ, 市道で耐寒マラソン中の少女(15才)が, 突然倒れ病院に運ばれたが, 間もなく心臓マヒで死亡した。                                                                                                                                                                                                                              |

| 発生年月日<br>(事 項)            | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)           | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 12<br>スリップ<br>規制 | 茨城県<br>朝. 1. 13-21               | 県内では雪や路面凍結によるスリップ事故が相次ぎ, 県警本部の夕方までのまとめによると, スリップ事故30件(人身事故6件, けが人は8人, いずれも軽傷)が発生した. また, 常磐自動車道は7時から11時まで, 全線で80~50km/hの速度規制が実施された.                                                                                  |
| 1. 12<br>スリップ<br>規制       | 茨城県筑波郡<br>矢田部町<br>読. 1. 12夕-15   | 常磐自動車道の矢田部インター付近で, 乗用車が観光バスに追突するなどの雪によるスリップ事故が相次いだ. このため, 県警高速隊は9時から同自動車道全線で, 50km/hの速度規制を実施した.                                                                                                                     |
| 1. 12<br>スリップ             | 静岡県御殿場市神場<br>読. 1. 13夕-15        | 23時50分ごろ, 国道246号線の下り線で, 乗用車が雪でスリップして反対車線に飛び出し, 対向してきたタンクローリー車に正面衝突した. この事故で, 乗車男の男性(29才)運転者が内臓破裂で死亡, 同乗の男性(27才)が顔に1週間のけがをした.                                                                                        |
| 1. 12<br>欠航               | 名古屋空港<br>新. 1. 13-19             | 名古屋空港では, 雪のため12時半に着陸予定の3便が, 大阪空港などに代替着陸したが, それ以降の離着陸便は全て欠航した. また, 滑走路の除雪作業のため, 16時44分に空港を一時閉鎖した.                                                                                                                    |
| 1. 12<br>転落               | 愛知県名古屋市西区<br>緑場町<br>朝. 1. 13夕-13 | 午後, アパート三階の窓から幼女(6才)が, 誤って転落, 7m下にある隣家のプラスチック製屋根を突き破り, 更に約5m下のコンクリート床にたたきつけられた. しかし, 屋根には約10cmの雪が積もっており, 雪と屋根がクッションになって, 顔などを切っただけで助かった.                                                                            |
| 1. 12<br>規制               | 中国地方<br>中. 1. 12夕-1              | 中国地方は, 北からの寒気が入り込み, 山間部を中心に雪となり, 同地方東部で比較的まとまった雪となっている. この雪で中国自動車道は, 7時から上り線が庄原~新見間で, 下り線が東城~庄原間でチェーン規制となった他, 各地区で50km/hの速度規制が実施された.                                                                                |
| 1. 12<br>列車               | 岡山県<br>中. 1. 12夕-1               | 県南部は朝から雪となり, この冬初の積雪を観測した. この雪のため, 県内の国鉄は, 南部を中心に各地でポイント操作が不能となり, 宇野線で最高40分遅れるなどの影響が出た.                                                                                                                             |
| 1. 13<br>スリップ             | 岩船郡朝日村葡萄<br>新. 1. 13夕-3          | 6時半ごろ, 国道7号線の朝日トンネルの新潟県側出口で, 大型トラックが雪でスリップ, 対向車線に飛び出したため, 対向して来たトラックと正面衝突した. 村上署の調べによると, 事故当時, 路面はシャーベット状の雪が約1cmあった. 大型トラックは全天候型タイヤを付けていたが, かなり摩耗した状態で, 60km/hの速度で走っていた. この事故で, トラックの男性(24才)運転者が, 頭を強く打ち, 脳挫傷で即死した. |
| 1. 13<br>警報               | 新潟地方気象台<br>新. 1. 13夕-3           | 新潟地方気象台は14時過ぎ, 県内全域に暴風雪波浪警報, 上越, 中越, 下越地方に雪崩注意報を出した.                                                                                                                                                                |
| 1. 13<br>欠航               | 佐渡汽船<br>新. 1. 14-19              | 佐渡汽船では, ジェットフォイル2往復の他, 午後と夜の3往復全てを欠航した.                                                                                                                                                                             |

| 発生年月日<br>(事 項)                      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                     | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 13<br>欠航<br>1. 13<br>低気圧情報 | 新潟空港<br>新. 1. 14-19<br>気象庁<br>朝. 1. 13夕-13 | 新潟空港では, 名古屋発の午後の全日空便が強風のため, 着陸出来ず, 羽田空港に引き返した。<br>東海地方から関東地方, 甲信越地方に大雪を降らせた雪雲は, 朝には三陸沖に抜けた。東京でこの冬最高の 6 cm を記録するなど, 首都圏に降り積もった雪は, 各地で雪融け水のぬかるみとなった。気象庁が朝発表した低気圧に関する情報によれば, 日本列島周辺は, 北の寒気団と三つの低気圧に取り囲まれており, 発達中の低気圧が三陸沖, 秋田沖, 山陰沖にある。このため, 日本付近の気象は極めて不安定な状態となっており, 北海道, 西日本, 沖縄にかけて, 日本列島を縦断する形で沿岸部を中心に 10～25 m/sec の強い風が吹き, 大荒れとなった。降雪量は北陸地方から北海道の多い所で。平野部は 20～40 cm, 山沿いで 40～80 cm に達する見込み。 |
| 1. 13<br>除雪<br>規制                   | 東京都<br>朝. 1. 13夕-12                        | 東京都建設局によると, 都内の道路は, 山の手地区の坂や陸橋など 9 路線 11 箇所が通行止めになっていたが, 朝までに奥多摩有料道路と陣馬街道を除き, 除雪をすまして通行止めを解除したが, 深夜の除雪作業に職員 188 人, 委託業者 112 社, 1,257 人, 車両 195 台が動員された。一方, 高速道路は, 東北自動車道の浦和～鹿沼間が前夜から通行止めになっていたが, 9 時過ぎに解除された。中央自動車道の八王子～中津川間では, 12 時までチェーン規制が続いた。首都高速のチェーン規制は 3 時過ぎに全面解除された。                                                                                                                 |
| 1. 13<br>列車                         | 東京都秋川市<br>朝. 1. 13夕-13                     | 7 時 40 分ごろ, 国鉄五日市線西秋留駅で, 普通電車が発車しようとしたところ, 最後部の車両のホーム側のドアがすべて閉まらなくなった。ドア部分の溝に雪や氷が溜まっており, それを取り除いて, 16 分後に発車した。このため, 五日市線の上下列車 3 本, 青梅線の 2 本の列車が 25 分から 3 分遅れ, 約 3,500 人が影響を受けた。                                                                                                                                                                                                              |
| 1. 13<br>転倒                         | 東京消防庁<br>朝. 1. 13夕-13                      | 東京消防庁の 11 時までのまとめによると, 都内では未明から朝にかけて, 雪のため転倒事故が相次ぎ, 12 日夜から 55 人が滑って転んでけがをし, このうち 23 人が指を切断したり, 骨を折るなどして入院した。                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 1. 13<br>休校                         | 東京教育庁<br>朝. 1. 13夕-13                      | 東京教育庁のまとめによると, 雪のため養護学校で全校休校 4 校, 一部自宅学習が 1 校。この他, 多摩地区で小, 中, 盲, 養護学校各 2 校の 6 校が, 始業時間を 1 時間繰り下げた。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 1. 13<br>規制<br>列車                   | 国鉄新幹線総局<br>朝. 1. 13夕-13                    | 国鉄新幹線総局によると, 東海道, 山陽新幹線は, 始発から東京駅～熱海駅, 浜松駅～新大阪駅, 新倉敷駅～博多駅の各一部区間で, 降雪や積雪のため徐行運転を実施した。このため, 東京駅～新大阪駅間は, 軒並み 30 分前後, 東京駅～博多駅間は 1 時間前後の遅れが続き, 午前中だけで上下列車 15 本が遅れた。ダイヤの回復は夕方以後の見込み。                                                                                                                                                                                                               |
| 1. 13                               | 神奈川県                                       | 県教委などによると, 雪のため, 横浜市内や川崎市内などに                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 発生年月日<br>(事 項)             | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)           | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 休校<br>転倒                   | 朝 . 1 . 13夕-12<br>朝 . 1 . 13夕-13 | 在る養護学校 3 校が休校になった他, 全県で小学校 5 校, 中学校 1 校, 高校 3 校の計 9 校が始業時間を30分から2時間遅れさせた. 一方, 県内では通行人が雪で滑って転倒するなど, 救急車で病院などに運ばれた人は, 9 時までには横浜市で 9 人, 川崎市で 3 人.                                                                                                                                            |
| 1987. 1 . 13<br>休校         | 埼玉県<br>朝 . 1 . 13夕-12            | 県教委などによると, 雪のため養護学校 5 校が臨時休校した他, 小学校14校, 中学校 8 校, 高校 2 校, 養護学校 4 校の計28校が, 始業時間を1時間繰り下げた.                                                                                                                                                                                                  |
| 1 . 13<br>休校               | 千葉県<br>朝 . 1 . 13夕-12            | 県教委などによると, 流山市, 柏市, 松戸市の小, 中学校23校が, 雪のため始業時間を1時間遅れさせた.                                                                                                                                                                                                                                    |
| 1 . 13<br>規制<br>列車         | 国鉄山陽新幹線<br>中 . 1 . 13夕- 1        | 広島市内では中心部で初の積雪を観測し, 一面の銀世界に覆われた. この雪の影響で, 山陽新幹線は広島駅〜博多駅, 福山駅〜三原駅間などで徐行運転となり, 午前中の上下線の各列車が50分から10分遅れた.                                                                                                                                                                                     |
| 1 . 13<br>警報               | 広島地方気象台<br>中 . 1 . 13夕- 1        | 中国地方は, 未明から強い寒波の影響で, この冬最高の積雪となった. このため広島, 山口両県を中心に, 陸, 海, 空の便が大幅に乱れ, 道路も渋滞し, 通勤, 通学客の足が乱れた. 雪は正午現在も激しく降り続いており, 広島地方気象台は11時45分, 大雪警報を発令して, 注意を呼び掛けた.                                                                                                                                      |
| 1 . 13<br>規制<br>欠航<br>休校   | 広島県<br>中 . 1 . 13夕- 1            | 県内の道路は雪のため, 中国自動車道が小月〜小郡間で, 一時全面通行止めになった他, 同道路の北房〜下関間約 347 kmが全面的にチェーン規制. 国道 2 号線など広島市内の新幹道路も軒並みに渋滞した.<br>広島空港では, 滑走路の凍結のため, 東京便などの 3 便が欠航, また, 宇部空港でも東京便など 2 便が欠航した. 一方, 広島港では, 広島〜今治間の高速艇 2 便が, 強風のため欠航した.<br>県教委のまとめによると, 養護学校 2 校が臨時休校した他, 県北を中心に小, 中, 養護学校など13校が最高 2 時間, 始業時間を繰り下げた. |
| 1 . 13<br>スリップ<br>転倒       | 広島県<br>中 . 1 . 13夕- 3            | 県警交通部のまとめによると, 雪のためスリップ事故が相次ぎ前夜から 9 時までには, 県内で 3 件のスリップ事故が発生, 8 人が重軽傷を負った. 一方, 凍った道路で足を滑らせ, 転倒してけがをする人も続出, 広島市消防局に入った連絡では, 4 件で 4 人が負傷した.                                                                                                                                                 |
| 1 . 13<br>警報               | 広島地方気象台<br>中 . 1 . 14- 1         | 広島地方気象台は11時45分, この冬初の大雪警報を発令したが21時48分, 北部に大雪注意報, 県内全域に異常低温注意報などにそれぞれ切り替え, 注意を呼び掛けた.                                                                                                                                                                                                       |
| 1 . 13<br>積雪<br>スリップ<br>休校 | 広島県<br>中 . 1 . 14-21             | 中国地方を襲った寒波で, 広島県は県北部を中心に雪が降り続き, 通勤, 通学客の足が大きく乱れた他, スリップ事故も続発, また, 学校は休校や始業時間の繰り下げ, 午前中での授業の打切が相次いだ.<br>県警交通部のまとめによると, 路面凍結による県内のスリッ                                                                                                                                                       |

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)               | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 13<br>スリップ | 広島県広島市<br>安佐南区緑井 6<br>中. 1. 14-21    | <p>ブ事故は, 夕方までに98件起き, 17人が重軽傷を負った.</p> <p>学校は養護学校 2 校, 定時制高校 1 校が, 雪のため臨時休校した他, 県北を中心に小学校13校が, 午後の授業を打ち切った. また, 交通渋滞によるスクールバスの遅れなどで13校が最高 2 時間, 始業時間を遅れさせた.</p> <p>2時半ごろ, 凍結路面で乗用車がスリップして, 道路沿いのコンクリートブロックに激突, 男性 (29才) 運転者が3箇月の重傷を負った.</p>                                                                  |
| 1. 13<br>列車         | 広島県広島市安芸区<br>瀬野 1 丁目<br>中. 1. 13タ-1  | <p>4 時10分ごろ, 国鉄山陽本線瀬野駅構内で, 上下線のポイントが凍結して切り替えが不能となり, 寝台特急列車 1 本が1 時間25分遅れたのを最高に, 通勤, 通学の普通列車上下各 6 本が 21分から 8 分遅れた.</p>                                                                                                                                                                                       |
| 1. 13<br>転倒         | 広島県広島市中区<br>江波西 1 丁目<br>中. 1. 13タ-3  | <p>8 時ごろ, 県道で出勤途中の男性 (28才) が, 凍結路面で足を滑らせて転倒. 路面で頭を強く打って救急車で病院に運ばれた.</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
| 1. 13<br>スリップ       | 広島県広島市佐伯区<br>五日町市中央 6<br>中. 1. 14-23 | <p>22時15分ごろ, 国道 2 号線西広島バイパス高架橋で, 乗用車が凍結路面でスリップしたところに, 後続のトラックが追突, 更に後続のトラック 4 台が次々に追突した. また, この現場から約30m 後方で, 止まりかけていたワゴン車にトラックが追突, 更にタンクローリ車など 2 台のトラックが玉突き衝突した. この事故で, ワゴン車に同乗していた 6 人のうち, 女性 (24才) 1 人が頭に 1 箇月の重傷, 女性 (21才) 1 人が頭などに軽いけがをした. 廿日市署の調べによると, 路面が凍結しているのに, 10台の車はいずれもタイヤに滑り止め措置を施していなかった.</p> |
| 1. 13<br>スリップ<br>規制 | 山口県吉敷郡<br>小郡町真名<br>中. 1. 14-23       | <p>0 時25分ごろ, 中国自動車道上り坂の仏坂トンネル東側入り口付近で, 停車していたトラックに, 大型トラックが追突して道路をふさいだため, 後続の大型トラック15台など, 計17台が次々に追突や接触をした. この事故で, 男性 (29才) 運転者ら 4 人が手足などに軽いけがをした. 県警高速道路交通警察隊の調べによると, 現場付近の道路は凍結しており, 事故当時, 同線は雪のため50km/h の速度規制を実施していた.</p>                                                                                |
| 1. 13<br>吹雪         | 山口県岩国市三角町<br>朝. 1. 14-23             | <p>10時25分ごろ, 米海兵隊岩国基地の滑走路で, 大型ジェット輸送機が吹雪の中を着陸に失敗してオーバーランし, 右主翼のエンジンから火を噴いて, 機体は胴体を地面に着けて停止, 右主翼を大破し, エンジン 1 基が脱落した, この事故で, 乗員と搭乗者の計30人のうち, 4 人が軽い打撲傷などで手当てを受けた.</p>                                                                                                                                         |
| 1. 13<br>スリップ<br>列車 | 鳥取県, 山口県<br>日. 1. 14-17              | <p>各地で強い風と雪となり, 雪によるスリップ事故が多発した. 県警のまとめによると, 15時までに22件の雪によるスリップ事故が発生, 1 人が重傷を負った.</p> <p>県内の国鉄各線は, 山陽新幹線が雪のため遅れた影響で. 伯</p>                                                                                                                                                                                  |

| 発生年月日<br>(事 項)            | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)   | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 13<br>欠航         | 島根県隠岐島後地方<br>山. 1. 14-16 | <p>備線の列車が軒並15分前後遅れた, また, 木次線は雪のため, 倒木の危険が出て来たので, 日登駅~備後落合駅間が, 列車の速度を30km/hにする運転規制を実施したため, 普通列車11本が10分程遅れた. 一方, 山口線も山口県内で, 雪のためポイントの切り替えが出来なくなったため, 特急列車2本が1時間10分から30分遅れた. また, 山陰本線の列車は, 余部鉄橋で25m/secを超える強風を記録し, 約4時間に渡って運転を取り止めた. このため, 上下合わせて10本の列車が部分運休し, 乗客約1,500人に影響が出た.</p> <p>隠岐島後地方でも, 本格的な積雪を記録した. このため, フェリーは全便が欠航, 県営出雲空港でも大阪便1往復が, 視界不良で欠航したため, 本土~隠岐間の交通は, この冬初めて全面的に途絶えた.</p> |
| 1. 13<br>スリップ<br>欠航<br>バス | 島根県<br>山. 1. 14-16       | <p>この冬初の本格的な降雪に見舞われた県内は, 路面の凍結や圧雪でスリップ事故が続発, 空や海の便も欠航が相次ぐなど, 交通網が乱れた. 県警のまとめによると, 12日夜から13日15時までに, 雪によるスリップ事故が56件発生, いずれも物損事故であった. 一方, 一畑バスも須佐~板山間の6便が全面運休, 河井線の三成~内谷新市間など2路線で6便が部分運休した.</p> <p>隠岐島地方でも本格的な積雪を記録した. シケのため, 隠岐汽船のカーフェリー全4便が欠航した. このため, 本土~隠岐間の交通は, この冬初めて全面的に途絶えた. また, 県営出雲空港でも, 大阪便, 東京便など8往復16便が, 視界不良や積雪のため欠航した.</p>                                                     |
| 1. 13<br>列車<br>規制         | 国鉄新幹線総局<br>朝. 1. 14-23   | <p>西日本地方の降雪や関ヶ原付近の積雪のため, 東海道, 山陽新幹線は, 終日徐行運転を実施, 一部の短距離列車を除く上り130本, 下り133本の列車に, 最高2時間40分の遅れが出た. このため, 約270,000人に影響が出た.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 1. 14<br>土砂崩れ<br>規制       | 長岡市宮本3<br>新. 1. 14-15    | <p>路肩決壊のため, 1月4日から全面通行止めとなっていた県道長岡~西山線は, 山側に仮道が完成, 8時から16時30分まで通行可能となった. 夜間は危険なため, 通行止めを継続する.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 1. 14<br>列車<br>規制         | 国鉄新幹線総局<br>朝. 1. 14夕-14  | <p>国鉄新幹線総局によると, 東海道, 山陽新幹線は, 雪による徐行運転で始発から最高40分から50分の遅れが出た. 岐阜県不破郡関ヶ原町と山口県厚狭郡楠町付近に10cm程の積雪があるため, 一部区間で120~170km/hの徐行運転をしている. このため, 午前中に上下合わせて87本の列車ダイヤが乱れた.</p>                                                                                                                                                                                                                            |
| 1. 14<br>雪害               | 国鉄新幹線総局<br>朝. 1. 15-22   | <p>国鉄新幹線総局は, 車体に付着した雪の塊が落下して, 線路の碎石を跳ね飛ばし, 沿線に被害を出した東海道新幹線の12日の雪害状況をまとめた. 範囲は滋賀県蒲生郡安土町付近から愛知県名古屋市南区付近までで, 人身事故2件, 自動車被害6件, 家屋被害7件の計15件であった. 被害は12日昼過ぎから夕方までの間に発生した.</p>                                                                                                                                                                                                                    |

| 発生年月日<br>(事 項)                       | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁) | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.14<br>列車<br>規制<br>スリップ<br>欠航<br>休校 | 中国地方<br>中. 1.14夕-3     | <p>中国地方西部を中心に降り積もった雪のため、同地方の交通機関の乱れが引き続き、国鉄山陽新幹線は広島駅～博多駅間で徐行運転となり、上下線の各列車が20分から30分遅れとなった。また、山陽本線宇部駅構内で雪のため、ポイントが一時切り替え不能となり、上り列車が10分から30分遅れた。</p> <p>道路は、中国自動車道の上り線が小月～北房間、下り線が北房～小郡間で全面的にチェーン規制となった。また、一般道路も凍結で渋滞が相次ぎ、スリップ事故は広島県内で23件発生、1人が軽傷を負った。</p> <p>空の便は、午前中の出雲～東京便が県営出雲空港の積雪のため、離着陸の2便が欠航となった他、広島空港でも滑走路の凍結のため、広島～東京便の1便が20分遅れた。</p> <p>広島県内では、高校など3校が臨時休校、県北の小、中学校17校が始業時間を最高2時間繰り下げた。</p>                                                |
| 1.14<br>欠航<br>列車<br>バス               | 鳥取県<br>日. 1.15-16      | <p>強い冬型の気圧配置となった山陰地方は、この冬一番の冷え込みと積雪を記録した。この冷え込みと雪のため、空の便や列車、バスなどのダイヤが大きく乱れ、通勤、通学客の足に影響が出た。</p> <p>米子空港では、積雪のため東京便が1便欠航した他、鳥取空港でも除雪のため、東京便が50分遅れた。</p> <p>また、各路線バスも午前中、1時間前後の遅れが出た他、百谷線が午前中百谷口で折り返し運転となった。</p> <p>国鉄関係では、山陰本線滝山信号所で、雪のため列車の行き違いが出来なくなり、県東部を中心に普通列車が10分から20分遅れた。</p> <p>一方、三江線では、島根県邑知郡邑知町の浜原駅～沢谷駅間で、線路わきの松の木(直径25cm, 長さ12m)1本が、雪の重みで線路に倒れかかった他、同郡川本町川本の木路原駅構内で、杉の木5本が線路に倒れかかった。この影響で上り普通列車が1時間40分遅れた他、後続の普通列車2本も、それぞれ1時間10分遅れた。</p> |
| 1.14<br>スリップ<br>欠航<br>列車<br>バス<br>休校 | 島根県<br>山. 1.15-16      | <p>米子鉄道管理局は、山陰本線の鳥取駅～居組駅間に、この冬初めてラッセル車を1往復運転、ダイヤの確保に務めた。</p> <p>寒気団が居座った県下は雪が降り続き、スリップ事故が多発した他、バスなど一部交通機関のダイヤが乱れ、山間部では休校が相次いだ。</p> <p>県警が13日夜から14日15時までにとまとめた、雪によるスリップ事故は24件、うち人身事故は2件で1人が大けが、2人が軽いけがをした。</p> <p>一方、各交通機関は、県営出雲空港では積雪のため、離着陸が出来なくなり、東京～出雲便の1往復が欠航した。</p> <p>国鉄三江駅は、口羽駅のポイントに雪が挟まり、作動不能と</p>                                                                                                                                        |

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)           | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 14<br>列車   | 広島県芸北地方<br>中 . 1 . 15-19         | なり, 普通列車 3 本が 1 時間10分から 1 時間40分遅れた。<br>一畑バスは, 佐田町などで 3 路線12便が運休した。また, 松江市では, 路線バスが 1 時間から 1 時間半の遅れが出て, 通勤, 通学客の足が乱れた。<br>また, 休校や始業時間を繰り下げる学校も続出。小学校 3 校, 中学校 1 校が休校した他, 小学校 8 校, 中学校 5 校が始業時間を 30分から 2 時間繰り下げた。<br>この冬一番の寒波に見舞われた芸北地方は, 30cm以上の積雪となり, 国鉄可部線にラッセル車が初出動した。ラッセル車は積雪30cmを超えると出動する。昨年は 9 回出動した。 |
| 1. 15<br>ガス中毒       | 北海道北見市<br>とん田西町<br>新 . 1 . 16夕-3 | 住宅の寝室で夫婦が死んでいるのが発見された。北見署の調べによると, 石油ストーブをつけたまま就寝中。煙突の内部が凍結したため, 排気口がふさがれ不完全燃焼を起こし, 一酸化炭素中毒死したことが分かった。屋外に出ている煙突の内部が約30cmに渡って凍結していた。昨年も道内で同様の中毒死が 1 件あった。                                                                                                                                                    |
| 1. 15<br>側溝         | 三条市一ノ門<br>新 . 1 . 17-21          | 夕方, 友人宅で飲酒後, 帰宅途中の男性 (53才) が, 誤って側溝 (幅40cm, 深さ58cm) に転落, 凍死した。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 1. 17<br>強風<br>列車   | 長岡市下条町<br>新 . 1 . 1-18           | 13時前, 国鉄上越線宮内駅~越後滝谷駅間で, 強風にあおられて線路わきから飛んで来たパイプ製車庫が, レールの上に落ちて線路をふさいだ。このため, 通りかかった普通列車が急停止し, 事故は免れたが24分遅れた他, 普通列車 1 本が30分遅れた。                                                                                                                                                                               |
| 1. 18<br>吹雪<br>規制   | 南魚沼郡湯沢町土樽<br>新 . 1 . 19-18       | 9時20分ごろ, 関越自動車道下り線で追突事故が相次ぎ, 同線の湯沢インター~谷川パーキングエリア間が, 事故処理のため40分間通行止めとなった。同線で9時ごろ, 吹雪のため停車していた乗用車に, 乗用車 2 台が次々に追突, 5 台が関係した物損事故が起き, これと前後して計 8 台の物損事故が起きた。県警高速隊湯沢分駐隊の調べによると, 事故当時, 吹雪で視界が悪く, 路面には 3 ~ 4 cmの圧雪があった。                                                                                          |
| 1. 19<br>用水路        | 上越市稲荷<br>新 . 1 . 20-17           | 7時50分ごろ, 農業用水路 (幅 1 m, 深さ 1 m, 水深50cm) で男性 (45才) が, 水死しているのが発見された。上越南署の調べによると, 男性は17日夕方, 新年会の帰りに誤って用水路に落ち水死したらしい。当夜はみぞれ混じりの悪天候であった。                                                                                                                                                                        |
| 1. 19<br>屋根雪        | 新井市大濁<br>新 . 1 . 20-17           | 9時半ごろ, 自宅の下屋の雪下ろしをするため, 屋根に上がろうとしたところ, 梯子が倒れ, 約 2.8 m下の踏み固めた雪の上に転落した男性 (50才) が, 肋骨骨折の1箇月の重傷を負った。                                                                                                                                                                                                           |
| 1. 19<br>スリップ<br>規制 | 中頸城郡妙高高原町<br>関川<br>新 . 1 . 20-19 | 12時ごろ, 県道でスキー客を乗せた観光バスが, 車庫に突っ込むなど合わせて 7 件のスリップ事故が発生し, 同県道は 3 時間以上通行止めとなった。新井署の調べによると, この事故で, スキー客 4 人が, 腰や足に軽い打撲傷を負い, バスは前部を大破した。他の 6 件は, 追突や衝突などの物損事故で, けが人は                                                                                                                                             |

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)         | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 19<br>用水路  | 中頸城郡妙高村<br>岡新田<br>新. 1. 20-19  | 無かった。<br>15時過ぎ, 自宅わきの除雪作業に出たまま行方不明になっていた老女(75才)が, 18時ごろ, 自宅から約15m下流の用水路(幅50cm, 深さ50cm)で死亡していた。新井署の調べでは, 除雪中に雪で足を滑らせ, 用水路に転落して水死したらしい。                                                                     |
| 1. 19<br>警報         | 新潟地方気象台<br>朝. 1. 20-21         | 新潟地方気象台は17時40分, 佐渡を除く県内に発令していた大雪注意報を, 大雪警報に切り替えた。大雪警報が出されるのは, 9日に次いでこの冬2度目。                                                                                                                               |
| 1. 19<br>スリップ       | 鳥取県西伯郡大山町<br>日. 1. 20-16       | 13時5分ごろ, 通称大山観光道路で, 車を止めてタイヤチェーンを装着していた男性(64才)が, 雪のためスリップして来た車に跳ねられて死亡した。米子署の調べによると, 事故当時現場は積雪約1cmの凍結状態で, 対向して来た乗用車が, 下り坂でブレーキをかけたため, 車がスリップして, 車の前輪部分にチェーンを装着していた男性にぶつかった。スリップした乗用車は, 前輪部分にチェーンが装着してあった。 |
| 1. 20<br>流雪溝        | 中魚沼郡中里村<br>田沢戊<br>新. 1. 21-18  | 12時半ごろ, 老人(男性, 83才)が, 流雪溝の中で死亡しているのが発見された。十日町署の調べによると, 老人は8時半ごろから自宅前の流雪溝(幅50cm, 深さ90cm)に, スノーダンプを使って雪を捨てていることから, 排雪作業中に誤って流雪溝に落ち, ショック死したらしい。事故当時, 積雪は1.3m程あった。                                           |
| 1. 20<br>スリップ       | 島根県出雲市神門町<br>日. 1. 21-16       | 3時10分ごろ, 国道9号線で軽乗用車が, 道路左側に停車していた大型トラックに追突。軽乗用車の男性(18才)運転者が頭の骨を折るなどで意識不明の重体。出雲署の調べによると, 事故現場は見通しの良い直線道路で, 事故当時は路面が凍結ぎみで, 大型トラックは, 直前で起きたスリップ事故の通報のため。駐車灯を点滅して停車中だった。                                      |
| 1. 22<br>屋根雪        | 中魚沼郡川西町<br>新町新田<br>新. 1. 23-21 | 16時ごろ, 自宅二階の屋根の雪下ろし中の男性(45才)が, 約5mの高さから雪の上に転落, 右足と左腕の骨を折る重傷を負った。十日町署の調べでは, 男性は雪下ろし作業を終えて, 屋根から降りる際, トタン屋根で足を滑らせた。                                                                                         |
| 1. 23<br>列車         | 南魚沼郡塩沢町<br>朝. 1. 24-21         | 7時15分ごろ, 国鉄上越線塩沢駅～大沢駅間で, パンタグラフの故障で列車が止まった。新潟鉄道管理局の調べでは, 冷え込みで架線が凍結したため, パンタグラフが故障した。この事故で, 普通列車3本が1時間40～30分遅れた。                                                                                          |
| 1. 23<br>列車         | 刈羽郡西山町和田<br>朝. 1. 24-21        | 7時40分ごろ, 国鉄越後線西山駅構内で, 普通列車がパンタグラフの故障で運転不能となった。新潟鉄道管理局の調べでは, 冷え込みで架線が凍結したため, パンタグラフが故障した。この事故で, 普通列車3本に1時間30分～30分の遅れが出た。                                                                                   |
| 1. 24<br>土砂崩れ<br>規制 | 中魚沼郡中里村田沢<br>新. 1. 25-23       | 16時ごろ, 国道353号線沿いの山側斜面で土砂崩れが発生, 約400m <sup>2</sup> の土砂が幅約20m, 高さ約30mに渡って崩れ落ちた。このため, 同国道が幅10m, 長さ20m, 厚さ2mの土砂で埋ま                                                                                            |

| 発生年月日<br>(事 項)              | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                         | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.1.24<br>スリップ<br>規制     | 南魚沼郡湯沢町土樽<br>朝. 1. 26-21                       | <p>った。県十日町土木事務所では、排土作業をしたが、再発の危険があるため、通行止めにした、開通は、現場確認のうえ、25日8時の予定。</p> <p>18時10分ごろ、関越自動車道下り線で、大型トレーラーが雪でスリップ、横向きになりながら中央分離帯のガードレールに衝突し、車線をふさぎ約2時間に渡って同線は、湯沢インターから関越トンネルの群馬県側入り口まで通行止めになった。県警高速隊湯沢分駐隊の調べでは、後続車の乗用車が大型トレーラーを追い越す際スリップしたため、大型トレーラーが接触を避けようと急ブレーキをかけたところ、更にスリップした。</p> |
| 1.24<br>土砂崩れ                | 小千谷市小栗山<br>新. 1. 25-23                         | <p>18時半ごろ、国道291号線で土砂崩れがあり、延長40mに渡って厚さ約3~3.5mの土砂が道路を埋め、通行不能になった。</p>                                                                                                                                                                                                                 |
| 1.25<br>スリップ                | 新潟市鳥屋野<br>新. 1. 26-23                          | <p>8時過ぎ、市道カーブで乗用車と対向して来たライトバンが正面衝突した。この事故で、ライトバンの父親(45才)運転者は首の骨を折って重体、同乗の長女(18才)も頭を切る軽傷を負った。新潟東署の調べでは、凍結路面でスリップし、対向車線寄りに滑り出したため。</p>                                                                                                                                                |
| 1.25<br>スリップ                | 柏崎市与三<br>新. 1. 26-23                           | <p>10時半過ぎ、県道で乗用車が対向して来た軽トラックに正面衝突した。この事故で、軽トラックの女性(34才)運転者が右足骨折で重傷、同乗の少女(9才)も頭などに打撲の軽傷を負った。柏崎署の調べでは、乗用車が左カーブの圧雪凍結路面でスリップして、対向車線に入ったのが原因。</p>                                                                                                                                        |
| 1.25<br>警報                  | 新潟地方気象台<br>新. 1. 26-23                         | <p>新潟地方気象台は17時10分、上越、中越、下越地方にこの冬3度目の大雪警報を発令した。同地方には強風、波浪、雪崩注意報も出ている。(警報は26日9時40分、注意報に切り替えた)</p>                                                                                                                                                                                     |
| 1.25<br>吹雪<br>河川            | 北魚沼郡湯之谷村<br>新. 1. 27-19                        | <p>20時15分ごろ、老人(男性、69才)が帰宅しないと、家族から小出署に届け出があった。小出署の調べでは、老人は13時半ごろ、老人憩いの家から歩いて帰る途中、行方不明になった。行方不明になったと見られる当時は、現場付近は吹雪だった。</p> <p>(31日17時5分ごろ、自宅から約500m離れた佐梨川で、凍死体となって発見された。小出署では、吹雪で方向を見失い、誤って川に転落したものと見ている)。</p>                                                                      |
| 1.25<br>規制、列車<br>1.25<br>欠航 | 国鉄新潟鉄道管理局<br>新. 1. 26夕-3<br>鳥取県<br>日. 1. 26-18 | <p>新潟鉄道管理局は、19時から雪のため信越線直江津駅~黒姫駅間、上越線宮内駅~水上駅間で、第2次運転規制を実施した。</p> <p>山陰地方は、強い冬型の気圧配置となって、本格的な雪に見舞われた。この雪のため、鳥取空港では全便が欠航となった他、米子空港でも大阪便2便が欠航、県営出雲空港でも最終便を除いて全て欠航した。</p>                                                                                                               |
| 1.25<br>踏み切り                | 鳥取県東伯郡泊村原<br>日. 1. 26-18                       | <p>10時20分ごろ、国鉄山陰本線泊駅~松崎駅間の青崎踏み切り(第3種、警報機付き)で、積雪のため立ち往生した軽四輪駆動車に、快速電車が衝突。この事故で、列車は約3時間に渡っ</p>                                                                                                                                                                                        |

| 発生年月日<br>(事 項)                        | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)         | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 25<br>休校<br>スリップ<br>規制<br>列車 | 広島県<br>山. 1. 26夕-3             | <p>て現場に停車。特急列車2本に2時間40分から25分、また、普通列車10本に3時間から20分の遅れが出た、倉吉署の調べによると、踏み切りの幅は約2.5mで、積雪のため踏み切りが良く見えなかった。乗客200人と車の運転者などにはけがは無かった。</p> <p>中国地方は、米子市の上空5,000mで-33℃という第一級の寒気団が南下して来たため、西部の中国山地沿いを中心に本格的な雪となり、各地でこの冬の最低気温を記録した。</p> <p>雪のため小学校1校が臨時休校した他、小学校2校が始業時間を1時間繰り下げた。</p> <p>また、雪によるスリップ事故の影響で、中国自動車道は17時半過ぎから約2時間、美祢～小月間の上り線が通行止めになった他、26日朝も山口～高田間、庄原～東城間、山陽自動車道の広島北～五日市の3区間でチェーン規制が続いた。</p> <p>山陽新幹線は、雪のため始発から9時まで小郡駅～博多駅間で徐行運転し、上り列車7本が5分～10分遅れた。下り列車は米原地区の積雪のため、40分～50分遅れとなった。</p> |
| 1. 26<br>規制, 列車                       | 国鉄新潟鉄道管理局<br>新. 1. 27夕-3       | <p>国鉄新潟鉄道管理局は、信越線直江津駅～黒姫駅間に、13時から第1次運転規制を実施している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 1. 26<br>除雪中?                         | 北魚沼郡守門村<br>福田門村<br>新. 1. 28-19 | <p>7時10分ごろ、独り暮らしの老女(79才)が、自宅で死亡しているのが見つかった。小出署の調べによると、老女は25日2時半ごろ、道路付近で除雪しているのを見た人が居り、同署では除雪作業中に引き逃げされたか、高い所から転落するなどの事故に遭ったのではないかと見て捜査している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 1. 26<br>規制<br>欠航                     | 鳥取県<br>日. 1. 27-18             | <p>強い冬型の気圧配置に覆われた県内では、平野部でも本格的な積雪を記録した他、県外へ通じる主要道路の各峠では、いずれもチェーンが必要となった。</p> <p>また、鳥取空港では、午前の東京便が離着陸便とも1時間程遅れた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 1. 27<br>スリップ                         | 小千谷市西新田<br>新. 1. 28-19         | <p>15時ごろ、関越自動車道の小千谷インターから、上り線への合流点付近で、止まっていた大型トラックに、乗用車が追突した。この事故で、乗用車は大破し、運転していた父親(36才)と長女(1才)が頭の骨が折れるなどで、収容先の病院で2時間後に死亡した。助手席に同乗の長女の母親(28才)は、顎の骨が折れるなど大けがをした。県警高速隊小出分駐隊の調べでは、事故当時、路面の圧雪は1～2cmであった、大型トラックはチェーンを着けるため加速車線で止まっていた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                |
| 1. 27<br>用水路                          | 新井市稲荷<br>新. 1. 28-18           | <p>15時半ごろ、用水路(幅2m、水深20cm)で、男性(51才)が死んでいるのを、新井署員が発見した。同署の調べでは、男性は26日19時半過ぎに家を出たまま行方不明になっていた。同署では誤って用水路に転落、凍死したものと見ている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 1. 28<br>倒壊                           | 栃尾市大町<br>新. 1. 28夕-3           | <p>5時過ぎ、改築中の木造二階建て延べ138㎡が、屋根に積もった80cm程の雪の重みで倒壊した。このあおりで隣の店舗一階</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

| 発生年月日<br>(事 項)     | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)           | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 28<br>屋根雪 | 刈羽郡小国町諏訪井<br>新. 1. 29-17         | <p>の壁と二階のサッシ戸1枚が壊れた。</p> <p>9時半ごろ, 自宅車庫の屋根の除雪中, 誤って転落, 肋骨3本を折る大けがをした。柏崎署の調べでは, 男性(76才)がカンジキを履いて, 梯子に上がって除雪を始めたところ, 4~5m下の圧雪状態のところへ落ちた。</p>                                                                                                                            |
| 1. 28<br>屋根雪       | 小千谷市西吉谷丙<br>新. 1. 29-19          | <p>15時半過ぎ, 自宅屋根の雪下ろしを終えた女性(54才)が, 一階屋根から梯子で降りようとしたところ, カンジキを履いていたため, 足を滑らせて約2mの高さから下の雪山に転落, 首の骨などを強く打って重傷を負った。</p>                                                                                                                                                    |
| 1. 28<br>屋根雪       | 栃尾市金町<br>新. 1. 30-23             | <p>18時半過ぎ, 自宅前の車庫の屋根の雪下ろし作業中の男性(57才)が, 誤って約3m下に転落, コンクリート製の側溝に首を打ち, 脊椎損傷の疑いがある重傷を負った。</p>                                                                                                                                                                             |
| 1. 29<br>屋根雪       | 南魚沼郡塩沢町塩沢<br>新. 1. 30-23         | <p>13時ごろ, 自宅近くの木造平屋建てトタン葺き車庫の, 屋根の雪下ろし中の男性(48才)が, 誤って足を滑らせ, 約3m下のコンクリート敷きの地面に落ち, 左手の骨を折る大けがをした。</p>                                                                                                                                                                   |
| 1. 29<br>雪崩        | 北海道十勝支庁<br>清水市日勝峠<br>新. 1. 30-23 | <p>11時ごろ, 国道274号線の日勝トンネル清水町入り口真上で, 長さ約200m, 幅約70m, 厚さ約50cmの雪崩が発生した, 同国道わきの駐車帯にいた電気保安作業員7人と頂上へ向かっていた電気作業員3人が雪崩に巻き込まれ, 男性(40才)作業員1人が全身圧迫や首の骨が折れるなどして, 間もなく死亡, 男性2人が骨折や打撲で重傷, 4人が軽傷で病院に収容された, 新得署の調べでは, 今年は雪が多く, 現場付近の斜面は例年の倍の1~1.2mの積雪だった。2, 3日前からの暖気で雪が緩んでいたと見られる。</p> |
| 1. 29<br>屋根雪       | 南魚沼郡六日町山谷<br>新. 1. 30-23         | <p>16時ごろ, 自宅(木造二階建て瓦葺き)屋根の雪下ろし作業中の老人(84才)が, 足を滑らせて2m下の下屋に一旦落ち, そのまま6m下の地上にスコップと一緒に転落, 頭を強く打ち重傷を負った。</p>                                                                                                                                                               |
| 1. 29<br>文書        | 新潟県警・新井署<br>新. 1. 30-21          | <p>観光バスや乗用車のスリップ事故が続発しているため, 新井署はバス会社と道路管理者の県, 町などに文書を配り, 異例の事故防止を呼び掛けている。同署管内の町道と県道で, 25日までに, 26件の事故が発生した。このうち観光バスの事故は3件で, 合わせて6人がけがをしている。また, 25日には乗用車5台が玉突き衝突するスリップ事故も起きた。事故はこの他にも今月の4日, 9日, 19日, 20日など降雪の続いた後に集中している。</p>                                          |
| 1. 29<br>裁判        | 東京地方裁判所<br>山. 1. 31-18           | <p>高速道路で, 路肩に車を止めてタイヤにチェーンを取り付け作業中に, トラックに跳ねられて死亡した会社員の両親が, 保険会社に「搭乗者保険」に基づき, 10,000,000円の保険金支払いを求めた訴訟で, 東京地裁の小林明裁判官は, 「車外に出た場合は搭乗中には当たらない」として, 請求棄却の判決を言い渡した。</p>                                                                                                    |

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 1. 29<br>スキー場 | 鳥取県西伯郡大山町<br>上の原<br>日 . 1 . 30 - 18   | 12時10分ごろ, 国立公園・大山の大山国際スキー場で, スキー競技の練習中の男子(14才)中学生が, 誤って立木に激突, 頭を強く打って意識不明の重体. 同スキー場では, 昭和60年3月と昭和61年3月にも, それぞれ滑降競技中の大学生が, 立木に激突して死亡している.                                                                                                                                |
| 1. 29<br>凍 死        | 広島県広島市佐伯区<br>五日市町石打<br>中 . 2 . 2 - 15 | 朝, 行方不明になった精薄者収容施設の男性(58才)が, 2月1日, 同施設から800 m離れた山林で死んでいるのを狩猟中の人が見つけた. 廿日市署の調べでは, 山林をさまよい歩いているうち, 凍死したのではないかと見ている.                                                                                                                                                       |
| 1. 31<br>視界不良       | 燕市東太田<br>朝 . 2 . 2 - 17               | 19時15分ごろ, 国道289号線で, 自転車で横断中の男性(58才)が, 乗用車に跳ねられ, 道路端の側溝(幅約3 m, 深さ約2 m)に転落し, 頭の骨を折る大けがをした, 燕署の調べでは, 自転車のライト部分に雪が着いていて, 前方に光が届かず, 自転車の発見が遅れたらしい.                                                                                                                           |
| 2. 1<br>流雪溝         | 小千谷市吉富町<br>新 . 2 . 2 - 19             | 10時過ぎ, 老女(68才)が外出のため, 自宅玄関先を出たところ, 除雪のためフタを外してあった流雪溝(50cm, 深さ70cm, 水深10cm)に転落するのを, 車で通りかかった男性が目撃し, 先回りして助けた. 流雪溝は, 市道に沿って設置しており, 老女はフタがしてある流雪溝を, 約150 m流されたが, 川へ出る寸前で救助された.                                                                                             |
| 2. 2<br>最低気温        | 新潟県<br>新 . 2 . 3 - 19                 | 朝, 県内はこの冬一番の冷え込みとなり, 山沿い地方を中心に最低気温が, -10℃以下を記録した. 新潟地方気象台によると, 上空に-30℃を超える, 寒気が入り込んだうえ, 地熱が奪われる放射冷却現象によるもので, 各地の冷え込みは最も冷え込んだ小出町は-13.9℃, 津川町-13.4℃, 津南町-11.5℃, 十日町市-11.4℃, 柏崎市-11.1℃, 湯沢町-10.4℃, 都市部でも上越市は-7.1℃, 長岡市-9.4℃, 新潟市-4.7℃となった.                                 |
| 2. 2<br>規制<br>列車    | 国鉄新幹線総局<br>毎 . 2 . 3 - 19             | 東海道, 山陽新幹線は, 雪のため2日始発から東京駅～熱海駅間で, 午後から新大阪駅～福山駅間で, 最終列車まで徐行運転を続け, 上下列車97本が28分から20分遅れ, 約4,500人に影響が出た. また, 18時過ぎ, 米原駅～岐阜羽島駅間で, 上り列車の窓ガラス4枚, 広島駅発の上り列車の食堂車の窓ガラス1枚に, 放射状のひび割れが入っているのが見つかった. 両列車とも応急処置をして運転を続行したが, 両列車は約50分遅れた. 列車の床下に付着した雪の塊が線路に落ち, 列車に跳ね飛ばされて窓ガラスにぶつかったらしい. |
| 2. 2<br>注意報         | 東海地方, 関東地方<br>毎 . 2 . 3 - 19          | 気象庁は夕方, 日本列島の周辺にある, 三つの低気圧の影響で, 2日から3日にかけて10～80cm近い雪が降ると見られるため, 東海地方から関東地方にかけてのほぼ全域に大雪注意報を出した.                                                                                                                                                                          |
| 2. 2<br>スリップ        | 東京都消防庁<br>朝 . 2 . 3 - 23              | 東京都消防庁のまとめによると, 22時までに雪のため滑べるなどして転んで, 病院に運ばれた人は, 都内で14人, うち8人                                                                                                                                                                                                           |

| 発生年月日<br>(事 項)                      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)         | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 転倒<br>1987.2.2<br>スリップ              | 東京都調布市<br>新. 2. 3ター3           | が骨折などで入院した。<br>23時40分ごろ, 大型トレーラーが雪のためスリップし, 大型トレーラーがタクシーに衝突, 男性(26才)1人が胸部打撲による出血のため死亡した他, 3日8時まで49件のスリップ事故が起き, 56人が重軽傷を負った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2.2<br>スリップ<br>規制<br>列車<br>休校<br>バス | 茨城県<br>読. 2. 3-18              | 県内は鹿行地方の一部を除いて雪に見舞われ, 水戸市でこの冬6度目の積雪を記録した。このため, 各地で雪によるスリップなどの交通事故が続発した。県警交通企画課の15時までのまとめによると, 雪による事故は一日としては, この冬最高の126件にのぼり, 重傷2人を含む20人がけがをした。<br>県警交通規制課は午後, 八郷町と真壁町を結ぶ県道2路線の湯袋峠, 上曽峠, 筑波スカイライン, 表筑波スカイライン, 日立市内の県道の一部区間を相次いで通行止めにした。<br>常磐自動車道も未明から区間ごとに80km/h, 50km/hの最高速度規制を繰り返した後, 夕方から全線で最高速度を50km/hに規制した。<br>一方, 国鉄は常磐線日立駅の下りホームを, 10時5分ごろ発車しようとした普通列車が, 車両床下に付着した雪が融けて, 電気回路を納めたボックスに浸み込み, 回線がショートしたため, 約1時間半に渡って立ち往生した。このため, 後続の特急列車1本と普通車列2本が14~15分遅れ, 約600人が影響を受けた。<br>バスダイヤも乱れ, 雪による混乱で県内の各学校では, 始業時間の繰り下げや授業の打ち切りなどが相次ぎ, 県教育委員会のまとめによると, この冬最多の小, 中学校173校, 高校31校, 特殊学校3校の計207校の授業に影響が出た。 |
| 2.2<br>スリップ                         | 茨城県東茨城郡<br>内原町大足<br>朝. 2. 3-21 | 7時過ぎ, 国道50号線で, 男性(45才)がバイクで横転, 頭の骨を折り3箇月の重傷を負った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 2.2<br>スリップ                         | 茨城県日立市田尻町<br>朝. 2. 3-21        | 9時前, 市道で軽乗用車が雪のため, スリップして対向車に接触, はずみで道路左側を歩いていた女性(46才)を跳ね, 首や胸などに2箇月のけがを負わせた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2.2<br>スリップ                         | 山梨県大月市<br>新. 2. 3ター3           | 21時ごろ, 中央自動車道下り線で, 乗用車が雪でスリップして走行車線に止まった。後続のタンクローリー車は無事に停車したが, 更に後から来たトラックがタンクローリー車に追突, はずみでスリップした乗用車にタンクローリー車が玉突き衝突したため, 乗用車の助手席に乗っていた女性(48才)が, 頭を打って大けがをした。この他, 山梨県内の中央自動車道では, 2日夜から3日未明にかけて, スリップによる物損事故が12件あった。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2.3<br>注意報                          | 新潟地方気象台<br>新. 2. 3ター3          | 新潟地方気象台は10時, 中越, 下以地方に大雪注意報を出した。3日から4日にかけて全国的に大荒れの天気が続く, 日本海側の地方を中心に大雪となる恐れがあり, 気象庁は午前, 低                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

| 発生年月日<br>(事 項)                   | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                          | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 2. 3<br>警報<br>2. 3<br>スリップ | 新潟地方気象台<br>新. 2. 4 - 19<br>新潟県警<br>新. 2. 4 - 14 | 気圧と大雪に関する情報を出して, 注意を呼び掛けている.<br>新潟地方気象台は15時15分, 中越, 下越地方の大雪注意報を, 県内全域の暴風雪, 波浪注意報に切り替えた.<br>県警高速隊湯沢分駐隊管内の関越トンネル内を除く六日町～土樽チェーンベースの明かり部分約30kmの1月中の交通事故件数を発表した. それによると, 事故件数は69件で, 昨年同月の38件の8割アップ. うち県外車の事故件数は58件と全事故の84%を占めている. 事故は, 雪によるスリップ事故がほとんどで, 土, 日曜日に多く, 昨年に比べ早朝の発生が目立っている. |
| 2. 3<br>列車<br>不通                 | 福島県, 宮城県<br>新. 2. 3 ター 3                        | 2時40分ごろ, 国鉄常磐線の原ノ町駅構内で, ポイントが雪のため転換出来なくなり, 同駅と宮城県の岩沼駅間が不通になった. このため, 下り特急列車1本が相馬駅で運転打ち切りとなり, 乗客200人はバスで代替え輸送した. この他, 国鉄東北線の岩沼駅～名取駅間が一時不通になったのを始め, 東北地方の国鉄仙石線, 石巻線, 陸羽東線の3線が全線不通になった.                                                                                              |
| 2. 3<br>列車<br>規制                 | 国鉄新幹線総局<br>朝. 2. 3 ター10                         | 国鉄新幹線総局によると, 東海道, 山陽新幹線は, 前日からの雪のため, 始発から東京駅～熱海駅間, 豊橋駅～新大阪駅～岡山駅間, 広島駅～博多駅間で, それぞれ徐行運転を実施した. このため, 午前中の上下列車95本が最高80分遅れ, 65,000人が影響を受けた. 東北新幹線は6時57分ごろ, 福島県郡山市の郡山駅構内で, 雪のためポイントが動かなくなり, 上下列車各1本が最高30分遅れた.                                                                           |
| 2. 3<br>列車<br>規制                 | 国鉄新幹線総局<br>朝. 2. 4 - 22                         | 国鉄新幹線総局によると, 東海道, 山陽新幹線は, 雪のため始発列車から徐行運転したため, 終日で上下列車247本が最高1時間30分遅れ, 170,000人が影響を受けた.                                                                                                                                                                                            |
| 2. 3<br>列車                       | 国鉄常磐線<br>朝. 2. 3 ター10                           | 国鉄常磐線では2時40分ごろ, 原ノ町駅～岩沼駅間の各駅でポイントが, 雪のため切り替えが出来なくなった. このため, 特急寝台列車が平駅まで引き返した.                                                                                                                                                                                                     |
| 2. 3<br>列車                       | 国鉄中央線<br>新. 2. 3 ター 3                           | 7時17分ごろ, 国鉄中央線で, 立川駅を発車した上り快速電車のパンタグラフに異常があるのを職員が見つけた. 次の国立駅で点検したところ, 2両目のパンタグラフが壊れており, 同電車は同駅で運転打ち切りとなった. この影響で, 同線の列車に最高25分の遅れが出て, 通勤, 通学客の足が乱れた.                                                                                                                               |
| 2. 3<br>注意報                      | 気象庁<br>読. 2. 3 - 22                             | 気象庁は, 関東地方を含む日本列島のほぼ全域に, 大雪注意報を出した. 日本列島は, この冬一番の強い寒気団の南下と低気圧の影響で, 近畿地方から北海道までの広い地域で, 大雪が降る荒れ模様の天気となった.                                                                                                                                                                           |
| 2. 3<br>休校                       | 東京教育庁<br>新. 2. 3 ター 3                           | 東京教育庁が3日まとめたところによると, 降雪のため都内の公立校は小, 中学校各1校, 養護学校4校の計6校が休校, 始業時間の繰り下げ15校などの影響が出た.                                                                                                                                                                                                  |
| 2. 3<br>転倒                       | 東京消防庁<br>朝. 2. 3 ター10                           | 消防庁のまとめによると, 9時までの雪による事故での救急車の出動は89件. 雪道で転倒するなどして81人がけが, うち13                                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)          | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)          | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.2.3<br>欠航          | 羽田空港<br>朝. 2. 3 - 10            | 人が入院した。雪によるスリップなどの交通事故は51件で、1人が死亡、11人が負傷して入院した。                                                                                                                                                          |
| 2.3<br>授業               | 神奈川県<br>朝. 2. 3 - 10            | 羽田空港からの空の便も松山、穴部、米子、高松、出雲の各空港行きの全日空、東亜国内航空の便が欠航した。                                                                                                                                                       |
| 2.3<br>規制<br>授業         | 茨城県<br>茨. 2. 4 - 15             | 県内では雪の影響で、県北を中心に中学校1校と養護学校1校が休校、小、中、高校合わせて17校で、始業時間を2時間から10分間遅れさせた。                                                                                                                                      |
| 2.3<br>スリップ             | 福島県福島市<br>飯坂町中野<br>茨. 2. 4 - 14 | 2日未明から県内に降っていた雪は、県北西部で降り続き、山間部はかなりの積雪を記録した、この雪で常磐自動車道は、岩間インターから北で路面凍結が予想されるため、11時過ぎから50～80km/hの速度規制を実施。太田南～日立北間は同規制を夕方まで続けた。また、筑波スカイラインや県北の山間部の道路は、積雪のため車両のチェーン装着が義務付けられた。                               |
| 2.3<br>スリップ<br>規制<br>列車 | 広島県<br>中. 2. 3 ター1              | 一方、県教委のまとめによると、県内の約350校が雪のため始業時間が1時間遅れさせたり、生徒らを早めに帰宅させるなどの措置を取った。この内訳は小学校が40%に当たる239校、中学校が91校。                                                                                                           |
| 2.3<br>警報               | 松江地方気象台<br>日. 2. 4 - 18         | また、水戸地方気象台は4時、県下に出していた大雪注意報を解除した。                                                                                                                                                                        |
| 2.3<br>警報               | 鳥取地方気象台<br>日. 2. 4 - 18         | 10時半ごろ、国道13号線の待避所で、トラックのタイヤチェーンの掛け直し作業をしていた男性(45才)が、乗用車に跳ねられ、全身を強く打って約3時間後に死んだ。飯坂署の調べによると、現場は路面凍結と圧雪状態の急な下り坂。乗用車は約50km/h速度で、同待避所に入ろうとしてスリップし、蛇行しながら約30m滑走、対向車などに接触して男性にぶつかった。                            |
|                         |                                 | 中国地方を襲った強い寒波の影響で、県内は山沿いを中心に大雪となり、沿岸部の冷え込みも一段と強まって、寒い一日となった。このため、中国自動車道は、圧雪や路面凍結で滑りやすくなり、同道路の三次～高田間の下り線では、車がスリップして接触、追突する事故が7箇所が発生。同区間は3時20分から8時半まで、事故処理のため通行止めになった。また、同道路の三次～北房、小月～戸河内間が午後、全面チェーン規制となった。 |
|                         |                                 | また、山陽新幹線は、東日本と山口県下の雪のため、上下線とも新岩国駅～博多駅間などで速度規制した。このため、広島駅を通過する列車は、軒並み下り列車が70分～80分、上り列車が60分程度遅れるなど、一日中ダイヤが乱れた。                                                                                             |
|                         |                                 | 松江地方気象台は16時40分、島根県内全域に今冬初めての暴風雪波浪警報を出した。山陰地方は、この冬一番の強い寒気に見舞われて、強い冬型の気圧配置となった。                                                                                                                            |
|                         |                                 | 鳥取地方気象台は16時40分、県内全域に今冬2度目の暴風雪波浪警報を出した。                                                                                                                                                                   |

| 発生年月日<br>(事 項)       | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.2.3<br>欠航<br>停電 | 鳥取県<br>日.2.4-18              | 鳥取空港では, 強風のため午後の東京便, 大阪便の各便を, また, 米子空港でも朝の東京便が, それぞれ欠航した. また, 鳥取市湖山町3丁目と同市吉成の2箇所, 電線が切れ, 湖山町3丁目の約100戸が, 16時55分ごろから18時ごろまで停電した他, 吉成地区を中心に約100戸が17時15分ごろから最高1時間45分程停電した.                                                                                                      |
| 2.5<br>流雪溝           | 北魚沼郡広神村<br>中島新田<br>新.4.12-20 | 道路の側溝(豪雪処理の流雪溝)に誤って転落, 側溝のフタにつかまって助けを求めている小学男子(12才)が, 通りかかった男性に救助された.(4月10日, 県警小出署(宮沢実署長)は, 男性を人命救助で表彰した).                                                                                                                                                                  |
| 2.6<br>屋根雪           | 中頸城郡妙高高原町<br>赤倉<br>新.2.7-21  | 13時15分ごろ, ホテルの一階屋根の雪下ろし作業をしていた, 同ホテルの臨時従業員3人が, 約16㎡の屋根に積もっていた雪とともに, 約1m下の雪の上に転落し, 全身がすっぽりと埋まった. 3人は救助されたが男性(41才)1人が, 左足骨折で約2箇月の重傷. 男性(24才)1人が右足首に軽いけがをした.                                                                                                                   |
| 2.6<br>雪崩            | 長岡市浦瀬町<br>新.2.7-23           | 朝, タヌキ捕り中の男性2人(63才, 64才)が, 全層雪崩の下敷きになり, 1人は21時43分に意識不明で, 沢の中に倒れていたところを発見され, 病院に収容されたが, 23時過ぎに死亡した. 1人は22時55分, 2mもの雪の中で遺体となって発見された. 現場は国道351号線から約30m離れた, 通称鷺の巣沢付近で, 雪崩は長さ40m, 幅10m, 厚さ1m, 約400㎡の規模で発生した.(7日午前, 雪崩災害現地調査を実施した).                                               |
| 2.7<br>除雪中           | 栃尾市小向<br>毎.2.9-19            | 15時ごろ, 自宅の玄関わきの除雪作業中の女性(55才)が, 崩れてきた高さ2mの雪の下敷きになり, 助けを求めているところを, 通りかかった人に救出された. 栃尾署の調べによると, 雪の山をかまくら式に掘り崩す際, 上部の雪が崩れ落ち, 生き埋めになった. 女性は左足の骨を折って重傷.                                                                                                                            |
| 2.12<br>警報           | 新潟地方気象台<br>新.2.12夕-3         | 新潟地方気象台は5時, 上越, 中越, 下越地方に, 大雨洪水警報を発令した. それによると, 県内全域で昨日から雨が降り続けている. この雨で山沿い地方の雪融けが進み, 河川の氾濫, 低地の浸水, 山崩れ, がけ崩れ, 雪崩なども予想され, 警戒を呼び掛けている. 2月での同警報の発令は初めて.                                                                                                                       |
| 2.12<br>融雪洪水<br>規制   | 岩船郡朝日村岩沢<br>新.2.12夕-3        | 7時ごろ, 三面川に架かる県道高根～村上線の岩沢橋で, 橋げたの一部が落ち, 同線は通行止めになった. 県村上土木事務所の調べによると, 同橋(長さ185.4m, 幅4.85m)の14箇所の橋脚のうち, 左岸側から9番目の橋脚が壊れ, 左岸から約100m付近で30mに渡って橋げたが崩れ落ちた. 同事務所では, 数日来の暖気による融雪水で河床が洗い掘りされ, 橋脚が倒れたと見ている. 付近には国, 県道の迂回路があるものの, 橋に併設された同村営の上水道送水管とN T Tの電話回線も同時に壊れたため, 村民生活の一部に支障が出た. |
| 2.12                 | 新潟地方気象台                      | 新潟地方気象台は10時過ぎ, 県内の大雨がヤマを越えたため                                                                                                                                                                                                                                               |

| 発生年月日<br>(事 項)               | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)          | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 警報<br>注意報<br>1987.2.12<br>洪水 | 朝. 2.13-21<br>新潟県<br>朝. 2.13-21 | 大雨警報を大雨注意報に切り替え, 夕方には解除した.<br>また, 洪水警報は夕方, 洪水注意報に切り替えた.<br>県内はこの時期としては珍しく大雨に見舞われ, 河川の水量が増し, 雪融け水なども混じって, 加茂川と合流する信濃川の南蒲原郡田上町保明新田では11時, 警戒水位を4cm超える5.64mを記録. また, 同時刻ごろ, 同川の白根市の臼井橋近くでは, 警戒水位の前段階の3.10mの指定(通報)水位を12cm超え, 地元消防団員が待機, 警戒に当たった. |
| 2.13<br>用水路                  | 佐渡郡新穂村瓜生屋<br>新. 2.14-23         | 17時前, 村道わきの用水路(幅1m, 深さ60cm, 水深22cm)に男性(59才)が自転車と共に転落, 溺死状態で病院に運ばれたが, 間もなく死亡した. 両津署の調べによると, 男性は昼ごろから酒を飲み, 15時ごろ帰宅する途中で誤って用水路に転落したらしい.                                                                                                       |
| 2.14<br>雪崩                   | 東頸城郡松代町峠<br>新. 2.14夕-3          | 9時40分ごろ, 県道付近で雪崩が発生, 約90m <sup>2</sup> の雪が県道を埋めた. 安塚署の調べによると, 雪崩は幅3m, 高さ30cm, 厚さ1mで小規模. 県道は正午前に開通した.                                                                                                                                       |
| 2.15<br>踏み切り                 | 東蒲原郡津川町清川<br>新. 2.16-19         | 19時前, 国鉄磐越西線の清川小学校前踏み切りで, 軽四輪ライトバンが雪で立ち往生して, 快速電車と衝突した. 男性(56才)運転者は車外へ脱出したものの, 車と共に跳ね飛ばされ, 全身打撲などで死亡した. 列車は現場に約40分停車. 事故のあった踏み切りは, 第1種半自動踏み切りで遮断機, 警報機の両方が設置してあった.                                                                         |
| 1987.2.15<br>登山者<br>滑落       | 長野県茅野市<br>新. 2.16-19            | 午前, ハケ岳連峰の横岳(2,835)南側稜線から, 登山者2人が相次いで約200m滑落した. 男性(26才)1人が全身を強く打って死亡, 男性(42才)1人が足の骨を折るなどで重傷.                                                                                                                                               |
| 2.15<br>登山者<br>滑落            | 長野県茅野市<br>新. 2.16-19            | 10時25分ごろ, ハケ岳連峰の赤岳(2,899m)頂上付近の南側稜線から, 登山者が誤って約150m滑落, 頭部挫傷の重傷を負い, 県警のヘリコプターで諏訪市の病院に収容された.                                                                                                                                                 |
| 2.16<br>スリップ                 | 福島県西白河郡<br>西郷村小田倉<br>新. 2.17-19 | 9時40分ごろから10時15分ごろにかけて, 東北自動車道の白河インター近くの下り線で, 雪のためトラックや回送中の観光バスなど計13台を巻き込んだ4件の玉突き衝突事故が起き, 6人が重軽傷を負った.                                                                                                                                       |
| 2.17<br>スリップ                 | 東京都渋谷区広尾1<br>毎. 2.18夕-11        | 22時半ごろ, 明治通り交差点で, 信号待ちしていた乗用車に乗用車が追突, 信号待ちしていた乗用車の同乗女性2人(38才, 66才)が, 全治1~2週間のムチ打ち症を負った. 渋谷署の調べによると, 夜に降りはじめた雪で, 乗用車がスリップしたらしい.                                                                                                             |
| 2.18<br>転倒                   | 東京都<br>毎. 2.18夕-11              | 6時10分ごろ, 練馬区内の西武池袋線大泉学園前の路上で女性(74才)が, 雪で滑って転倒, 右足を骨折するなど, 未明から朝にかけて, 都内で3人が雪で滑って転び骨折した.                                                                                                                                                    |
| 2.18<br>列車                   | 東京都<br>朝. 2.18夕-11              | 関東地方と甲信地方は, 前夜から降っていた雨やみぞれが, 各地で雪となった. 東京地方の雪は, 今冬7度目. 2日以上に                                                                                                                                                                               |

| 発生年月日<br>(事 項)           | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)      | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 規制<br>休校                 |                             | <p>渡って降った日などを通算した「雪日数」では、12日となり12月～2月の「雪日数」の平年値である7日を大きく上回った。</p> <p>この雪のため、東海道新幹線は、始発から東京駅～熱海駅、名古屋駅～京都駅間の一部区間で徐行運転した。この影響で上下線とも、列車が5～10分遅れた。</p> <p>道路は17日深夜から雪のため、東名高速道路の東京～沼津間で50km/hの速度規制を実施した他、関越自動車道、常磐自動車道の各道路の一部区間で、チェーン規制となった。</p> <p>一方、都教委によると、雪のため養護学校1校が臨時休校となった。</p>                                     |
| 1987.2.18<br>転倒<br>スリップ  | 神奈川県横浜市<br>毎.2.18夕-11       | <p>7時20分ごろ、緑区荏田北の東急田園調布線江田駅改札口前で、出勤途中の女性(49才)が、積もった雪に足をとられて転倒、右足を骨折した。この他、同市内で積雪による車のスリップ事故が2件発生し、2人が首や足に軽いけがをした。</p>                                                                                                                                                                                                  |
| 2.18<br>授業               | 神奈川県<br>朝.2.18夕-11          | <p>県教委のまとめによると、雪のため高校1校が始業時間を2時間遅れさせたのを始め、高校3校が始業時間を遅れさせた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2.18<br>授業               | 千葉県<br>朝.2.18夕-11           | <p>県教委のまとめによると、雪の影響で27の小、中学校で始業時間を45分から60分遅れさせた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2.18<br>注意報<br>スリップ      | 茨城県<br>朝.2.18夕-11           | <p>県内は0時過ぎから雪が降り始め、水戸地方気象台は全県に大雪注意報を発令した。今冬7度目の降雪で、県内で8時半までに雪によるスリップ事故が発生、いずれも物損事故でけが人は無かった。</p>                                                                                                                                                                                                                       |
| 2.18<br>規制<br>スリップ<br>授業 | 茨城県<br>読.2.19-18            | <p>県内は未明から一部の地域を除いて、今冬8回目の積雪を記録した。この雪の影響で、常磐自動車道は1時から全線で50km/hの速度規制が実施され、表筑波スカイラインが11時から、八郷町と真壁町を結ぶ県道の上曽、湯袋の二つの峠も8時から一時通行止めとなった。また、県警交通部のまとめによると、県内で13件のスリップ事故が発生、2人が重軽傷を負った。</p> <p>一方、県教委のまとめによると、この雪で小、中学校76校、高校3校、特殊学校2校の合計81校の授業に影響が出た。多くの学校の始業時間を1～2時間遅れさせた他、県北を中心に小学校1校が午前中で授業を打ち切ったのを始め、小、中学校15校が下校時間を早めた。</p> |
| 2.20<br>スリップ             | 北魚沼郡堀之内町<br>田戸<br>新.2.20夕-3 | <p>4時過ぎ、国道17号線で、大型トラックが、凍結していた道路でスリップ、対向して来た除雪車と衝突、大型トラックは横倒しとなり道路をふさいだ。この事故のため、現場近くに停車していた大型トラックに、後続の大型トラックが追突。後続の大型トラックの男性(26才)運転者が左膝に軽傷。除雪車の運転者らにけがは無かった。現場は上下線とも1kmの渋滞となった。</p>                                                                                                                                    |
| 2.20<br>スリップ             | 柏崎市東条<br>新.2.20夕-3          | <p>7時前、国道で乗用車と乗用車が衝突。乗用車の男性(23才)運転者と同乗男性2人(45才、50才)の3人がムチ打ち症など</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)         | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)  | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.2.20<br>遭難<br>登山者 | 長野県<br>読. 2.20夕-3       | <p>の軽傷を負った。柏崎署の調べによると、路面が凍結していたところで、乗用車が不用意なブレーキ操作をしたため、スリップした。</p> <p>朝、北アルプスの唐松岳(標高2,696m)山頂小屋近くで、県警などの捜索隊が男性(50才)の遺体を見つけた。この男性は2月12日に山岳写真撮影のため、八方尾根から入山して行方不明になっていた。</p>                                                                        |
| 2.21<br>スリップ<br>規制     | 南魚沼郡六日町寺尾<br>新. 2.21夕-3 | <p>5時半過ぎ、国道17号線でタンクローリー車がスリップして、反対車線の雪壁に突っ込んだ。後方を走っていた大型トラックが追突した。この事故で、追突した大型トラックの男性(46才)運転者が、左足の骨を折るなどの重傷を負った。六日町署の調べによると、事故当時、現場付近は路面が凍結して、スリップしやすくなっていた。この他、六日町、大和町でスリップ事故が5件発生したため、5時前から8時半まで、同国道の事故現場付近は全面通行止めになったが、迂回路が利用され渋滞はなかった。</p>     |
| 2.21<br>滑落<br>登山者      | 長野県<br>毎. 2.23-23       | <p>10時半ごろ、中央アルプス中岳(標高2,925m)の通称まき道を、夫妻で登山中、妻(27才)が足を滑らせ谷に滑落、夫(27才)も助けに行く途中で約200m滑り落ちた。夫は自力で尾根まではい上がって、別の登山者に助けられたが、頭や左腕を強く打って重傷、妻は行方不明になっている。駒ヶ根署の調べでは、現場は鎖をつたうため危険で、冬季間は通行禁止になっている。この日もアイスバーン状になっていた。(24日午前、頂上から約800m下の間の沢の滝で、妻は遺体となって発見された)。</p> |
| 2.23<br>視察             | 科学技術庁<br>新. 2.24-15     | <p>三ツ林弥太郎科学技術庁長官は、長岡市を訪れ、雪害実験研究所や市内の消融雪施設を視察した。</p>                                                                                                                                                                                                |
| 2.24<br>スキー場           | 新潟県警<br>毎. 2.25-24      | <p>県警は、昨年12月から今年1月までの、2箇月間のスキー場の人出状況をまとめた。県内には75箇所のスキー場があり、約433万人のスキー客が利用した。一方、スキー客の増加したゲレンデを中心に、雪質の悪化も影響してけが人が増加。昨シーズンの同期間に比べ、132人(4.6%)増えて3,018人に。けがの大部分は、捻挫、打撲だが、足などの骨を折る重傷者は、232人にのぼった。</p>                                                    |
| 2.24<br>低気圧情報          | 気象庁<br>新. 2.24夕-3       | <p>気象庁は、全国的に夜から荒れ模様の天気になるとの低気圧情報を出した。同庁によると、15時現在、黄海に発達中の低気圧があり、東北東に進んでいる。夜には秋田沖に進み、発達しながら25日朝には北海道の西海上に達する見込み。このため夜から、日本の東海上で南寄りの風、日本海方面で北西の季節風が強くなり、海はシケ模様となる。日本海側の地方は25日早朝から、雪の降りやすい状態となり、同日9時までには降雪が10~30cmに達する所もあるという。</p>                    |
| 2.24                   | 北海道釧路市                  | <p>釧路市の沿岸に、今冬初めて流水が接岸した。平年より11日</p>                                                                                                                                                                                                                |

| 発生年月日<br>(事 項)                               | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)          | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 流水<br>1987.2.25<br>強風<br>雷<br>停電<br>列車<br>欠航 | 新. 2.24夕-3<br>新潟県<br>新. 2.25夕-3 | <p>昨年より20日早い。</p> <p>県内は朝方、上越地方を中心に雪や雷を伴った強風が吹き荒れた。この影響で、上越地方では、送電線が切れて停電が相次ぎ、列車が区間運休した他、幹線道路の信号が作動しなくなるなど一時混乱した。</p> <p>7時過ぎ、上越市の東北電力(株)上越変電所と中頸城郡板倉町の同社鳥坂変電所を結ぶ「上鳥線」(66,000V)が、強風などにより自動的に送電が止まった。このため、新井市と中頸城郡妙高高原町方面を中心に、約20,000戸が1時間に渡って停電した。他、上越市内でも1,500戸が停電したが、8時過ぎには復旧した。この他、上越市内の事業所では、雷が原因と思われるファックスなど通信機器が誤作動するなどの影響もあった。</p> <p>また、7時14分ごろ、信越線の直江津駅～妙高高原駅間でも送電がストップした。このため、同区間の普通列車4本が妙高高原駅や高田駅など4駅で立ち往生した。8時30分から列車の運転が再開されたが、普通列車3本が一部区間を運休したのを始め、特急列車や急行列車など4本に、20分から2時間30分の遅れが出て、約4,000人の乗客が影響を受けた。</p> <p>一方、佐渡汽船では、新潟～両津間のカーフェリーが1往復2便、新潟～赤泊間1往復2便、直江津～小木間1往復2便が欠航した他、ジェットフォイル2往復4便も欠航した。</p> <p>新潟空港では、午前中の新潟～大阪間の2便が欠航した。</p> |
| 2.25<br>落雷                                   | 佐渡郡赤泊村<br>朝. 2.26-21            | <p>7時10分ごろ、村営多目的グラウンドのナイター照明塔1基に落雷があり、グラウンド内の照明塔6基全部に強い電流が流れて、照明灯や配電盤などが壊れた。また、この照明塔の中間部に固定してあったコンクリート部分も飛び散り、民家のガラス窓が壊れた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2.25<br>警報                                   | 新潟地方気象台<br>新. 2.25夕-3           | <p>発達した低気圧の日本海通過による影響で、県内は未明から大荒れの天気となった。新潟地方気象台によると、冬型の気圧配置となっており、更に寒気団の南下で次第に吹雪模様となってくる見込み。このため同気象台は、7時に暴風雪警報と波浪警報を出して、注意を呼び掛けている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2.25<br>高波<br>規制                             | 糸魚川市<br>毎. 2.27-24              | <p>11時から、国道8号線の糸魚川バイパスは、高波のため糸魚川市寺島～大町間1.4kmが全面通行止めとなった。このため、同市の中心街を通る旧国道が迂回路となり、車の渋滞が終日続いた。同国道の通行止めの解除は26日夜以後になる見込み。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2.25<br>予算                                   | 北魚沼郡守門村<br>新. 2.26-18           | <p>守門村は、昭和62年度予算案をまとめた。それによると、道路除雪用の除雪車の購入や除雪対策への投資が目立つ。また、大規模雪崩災害をきっかけとした防災無線施設整備にも力を入れている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2.25<br>規制                                   | 中国地方<br>中. 2.25夕-3              | <p>中国地方は強い冬型の気圧配置の影響で、山沿いを中心に未明から雪となった。明け方の最低気温も、各地で氷点下を記録</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)                             | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)        | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スリップ<br><br>1987.2.25<br>注意報<br>スリップ<br>欠航 | 鳥取県<br>日.2.26-18              | <p>した。このため、広島県の北部などの山間部では、凍結した道路でスリップする車が続出して、中国自動車道も各区间でチェーン規制や速度規制を実施した。同自動車道は、24日深夜から上り線が徳地～高田間、庄原～東城間、下り線が東城～徳地間がチェーン規制、上り線の高田～庄原間が速度規制となった。</p> <p>鳥取地方気象台は9時30分、県内全域に22日ぶりに大雪注意報を発令した。</p> <p>県内は、未明から冬型の気圧配置が強まって、沿岸部を中心に3週間ぶりに、本格的な雪に見舞われた。この雪のため、各地でスリップ事故が相次ぎ、15時までに合わせて46件の事故があり、3人が軽いけがをした。また、鳥取空港では、午前中の東京便と大阪便、午後のお阪便が欠航した他、米子空港でも午前の東京便が欠航した。</p> |
| 2.25<br>スリップ<br>規制                         | 山口県都濃郡鹿野町<br>上鹿野<br>中.2.26-15 | <p>21時半ごろ、中国自動車道上り線で、大型トラックが横転し、男性(46才)運転者が頭を強く打って、間もなく死亡した。また、後続のトラック2台が、横転した大型トラックに追突、男性運転者2人(29才、36才)が足にけがをした。県警高速道路交通警察隊の調べによると、横転した大型トラックが雪でスリップしたらしい。この事故のため、同自動車道上り線は21時40分から、鹿野～六日市インター間が通行止めになった。</p>                                                                                                                                                   |
| 2.25<br>踏み切り                               | 島根県出雲市高松町<br>山.2.26-19        | <p>8時10分ごろ、国鉄大社線の増原踏み切り(警報機、遮断機なし)で、雪でスリップして立ち往生していた乗用車が、普通列車と接触。乗用車を運転していた男性(61才)と同乗していた男子(11才)が胸や頭を打って軽いけがをした。出雲署の調べによると、踏み切りに進入した乗用車が、雪のため滑って止まったところに、列車が接触した。列車は、現場に20分止まって発車、乗客38人にけがはなかった。</p>                                                                                                                                                             |
| 2.26<br>スリップ                               | 新潟県<br>新.2.26タ-3              | <p>強い寒気の南下により、25日から26日朝にかけて、県内は吹雪と強風が吹き荒れ、スリップ事故が人身、物損合わせて66件あった。事故の多かったのは、自動車道と新潟市内。自動車道では21件、坂の多い新潟地区でも19件の事故があった。</p>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2.26<br>路面凍結                               | 上越市三ツ屋<br>新.2.26タ-3           | <p>7時ごろ、国道8号線と国道253号線の交差点で、軽四輪駆動車とトラックが衝突、軽四輪駆動車は100m近くも跳ね飛ばされ、トラックも道路わきの空き家に飛び込み、玄関部分を壊した。この事故で、軽四輪駆動車の男性(49才)運転者が、胸を強く打って間もなく死亡、トラックの男性(25才)運転者も、両膝に軽いけがをした。上越北署で原因を調べているが、路面は前夜からの冷え込みで凍結していた。</p>                                                                                                                                                            |
| 2.26<br>スリップ                               | 南魚沼郡六日町<br>上の原<br>新.2.27タ-3   | <p>21時過ぎ、国道253号線で、事故車の牽引作業をしているところへ、大型トラックがスリップして追突した。この事故で、作業をしていた男性(32才)が、事故車と牽引車の間に挟まれ、頭や胸を強く打って即死した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)                                           | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.2.26<br>警報<br>注意報<br>規制<br>2.26<br>スリップ<br>吹雪<br>規制 | 北陸地方<br>新. 2.26夕-3<br><br>岩手県花巻市棚ノ目<br>朝. 2.27-23 | <p>北陸地方は、前日から続いている冬型の気圧配置が一段と強まり、26日も石川県、富山県に波浪警報、石川県、福井県に大雪注意報が発令された。この雪で、北陸自動車道は、全線で50km/hの速度規制と普通車のチェーン着用が義務付けられた。</p> <p>6時50分ごろ、東北自動車道下り線で、スリップした大型トラックに、車41台が次々と追突事故を起こし、男性(32才)1人が死亡、3人が重傷の他、15人が軽いけがをした。県警高速隊の調べによると、現場は花巻南インターから北へ約1kmの地点で、事故当時は吹雪で、視界は50m以下、路面は圧雪状態で滑りやすく、同道路は50km/hの速度規制になっていた。この事故で8時50分から下り線が一関～花巻インター間、上り線も一関～盛岡南インター間が閉鎖されたが、吹雪がひどく復旧作業は難航し、19時現在下り線は事故処理のため、水沢～紫波インター間、上り線は水沢～盛岡南インター間が閉鎖されている。</p> |
| 2.26<br>列車<br>不通                                         | 岐阜県不破郡垂井町<br>新. 2.26夕-3                           | <p>3時29分ごろ、国鉄東海道線大垣駅～関ヶ原駅間で、下り貨物列車の機関士が雪によると見られる倒木が、架線に引っ掛かっているのを見つけた。同列車は現場で停車、復旧作業で同区間は、約3時間に渡り上下線とも不通になった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2.26<br>スリップ<br>規制                                       | 広島県高田郡<br>八千代町勝田<br>中. 2.29-21                    | <p>21時過ぎ、国道54号線でトラックが、雪のためスリップし側溝に脱輪、後続車3台が停車していたところ、後から走って来たトラックがスリップし、最後尾に止まっていた車に追突、残りの3台に次々と玉突き衝突した。この事故で、最初にスリップしたトラックの男性(22才)運転者が右足骨折の重傷、停車していた最後尾の車の男性(25才)運転者ら2人が軽傷を負った。現場は路上に燃料が流れ出し、この処理で3時間に渡り全面通行止めとなった。</p>                                                                                                                                                                                                            |
| 2.26<br>欠航<br>交通機関<br>停電                                 | 山陰地方<br>日. 2.27-18                                | <p>強い寒気団にすっぽりと覆われている山陰地方は、25日夜から26日にかけて、鳥取県の東部沿岸から兵庫県北部を中心に、雪が降り続いた。この雪のため、鳥取空港では午前の東京便、大阪便が欠航した。また、鳥取市内では、朝のラッシュ時を中心に、ノロノロ運転が相次ぎ、バスダイヤが1時間前後遅れた。8時50分ごろ、鳥取市永楽温泉町で、電柱に設置された避雷器が、積雪のため外れ、永楽温泉町、末広温泉町、富安の一部で合わせて480戸が、1時間程度停電した。一方、国鉄米子鉄道管理局でも、鳥取駅～居間駅間で、今冬2度目のラッセル車を出動させ、除雪作業を行った。</p>                                                                                                                                               |
| 2.27<br>高波<br>規制                                         | 糸魚川市<br>新. 2.27夕-3                                | <p>国道8号線バイパスは、高波のため25日11時から、今冬13回目の通行止めになっており、27日も引き続き通行止めのため、糸魚川市寺島～大町間1.4kmの区間を、迂回する大型車が、市街地に入り込み、市街地の道路の渋滞が続いた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2.27<br>規制                                               | 国鉄新幹線総局<br>朝. 2.27夕-3                             | <p>東海道、山陽新幹線は、岐阜、滋賀両県下の積雪のため、豊橋駅～新大阪駅間の一部区間で徐行運転し、始発から上下列車</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

| 発生年月日<br>(事 項)         | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)          | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 列車                     |                                 | とも30～40分の遅れが出た。新幹線総局のまとめによると、午前中の上り列車36本、下り列車31本のダイヤが乱れ、約45,000人に影響が出た。同新幹線の雪による遅れは2日連続。                                                                                                                                                                                                                 |
| 1987.2.27<br>積雪        | 山陰地方<br>日. 2. 28-18             | 強い冬型の気圧配置が続いている山陰地方は、26日から27日朝にかけ、鳥取県の東部沿岸部や西部の山沿いを中心に、新たに10～20cmの積雪があり、鳥取市では27日9時現在、積雪が48cmと、今冬最高を記録した。                                                                                                                                                                                                 |
| 2.27<br>吹雪             | 鳥取県気高郡青谷町<br>青谷<br>日. 2. 28-18  | 5時20分ごろ、国道9号線で、大型トラックと普通トラックが、正面衝突した。この事故で、普通トラックの男性(43才)運転者が、車内に閉じ込められ、気高消防署員ら5人により、約50分後に助け出されたが、両足と胸の骨を折るなどして3箇月の大けがをした。この事故で、現場は約20分間に渡って、全面通行止めになった。浜村署の調べによると、事故当時、現場は吹雪で見通しが悪く、路面には約2cmの圧雪があった。                                                                                                   |
| 2.27<br>欠航             | 島根県<br>山. 2. 28-18              | 冬型の気圧配置が強まり、上空に寒気が流れ込んだため、島根県地方は、27日未明から断続的に雪が降る、寒い一日となった。この雪と荒天のため、県営出雲空港では、東京便、大阪便などの4便が欠航した。                                                                                                                                                                                                          |
| 2.28<br>積雪<br>列車<br>規制 | 中国地方<br>中. 2. 28夕-6             | 中国地方は、冬型の気圧配置が強まり、北からの寒気が入り込んだため、27日夜半から山沿いを中心に、激しく雪が降り、沿岸部では28日未明、今冬一番の冷え込みを記録した。27日の降り始めから28日9時までの積雪は、広島県山県郡戸河内町の恐羅漢山の50cmを始め、同県太田市の三瓶山で40cm、山口県阿武郡阿東町の船津山で10cmなどと、各地ともまとまった積雪となった。この雪のため、山陽新幹線は始発列車から、広島駅～博多駅間などで徐行運転となり、広島駅を通過する上下線の列車が20～30分遅れた。中国自動車道では、徳地～戸河内間の上下線でチェーン規制となった。                    |
| 2.28<br>スリップ<br>規制     | 山口県新南陽市川崎<br>2丁目<br>中. 2. 28夕-6 | 3時半ごろ、国道2号線下り車線で、路面凍結のため乗用車がスリップし、側壁に接触して停車したところに、後続の大型トラックと乗用車が追突した。更に後続の大型トラックが、前の乗用車と大型トラックに追突し、最後の大型トラックの男性(36才)運転者が、顔や手に軽いけがをした。また、5分後、現場から80m後方で、大型トラックが路面凍結のため、スリップし、道路をふさぐ形で側壁に接触して止まった。このため後続のタクシーとトラックが停車したところ、後ろから走って来た大型トラックが追突し、前のタクシーと大型トラックに次々と玉突き衝突した。この事故で、同国道は約4時間に渡り閉鎖され、後続車は県道を迂回した。 |
| 2.28<br>列車             | 国鉄新幹線総局<br>中. 3. 1-15           | 東海道、山陽新幹線は、岐阜県、滋賀県、山口県下の降雪で、終日ダイヤが乱れた。新幹線総局によると、豊橋駅～新大阪駅間、広島駅～博多駅間などで、所によっては午後まで徐行運転                                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)                 | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)             | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 2 .28<br>低温<br>水道管<br>欠航 | 山陰地方<br>日 . 3 . 1 - 18             | <p>していたため, 上下 233 本の列車が最高48分遅れるなど, 10分前後の遅れが出て, 乗客 160,000 人に影響が出た。</p> <p>山陰地方は, 27日夜から28日朝にかけて, 寒気が入り込み, 各地でこの冬低気温を記録するなど, 厳しい冷え込みとなった。この冷え込みのため, 鳥取市内では朝方, 路面が凍結し, 市内の道路では車のノロノロ運転が続き渋滞した。また, 今冬初めて, 水道管の破裂が 5 件あった。一方, 雪のため米子空港では, 午前の東京便が欠航した。</p> |
| 3 . 1<br>寒波<br>積雪              | 新潟県<br>新 . 3 . 2 - 1               | <p>28日夜から 1 日にかけて, 県内は厳しい寒波に見舞われ, 新潟市では23cmと, この冬一番の積雪となり, 初めて除雪車がフル出動, グレーダーなど約 200 台で道路確保に当たった。</p>                                                                                                                                                   |
| 3 . 1<br>屋根雪                   | 南魚沼郡大和町<br>一村尾<br>朝 . 3 . 3 - 21   | <p>9 時過ぎ, 自宅隣の作業小屋の屋根の雪下ろしをしていた老人 (男性, 73才) が, 二階の屋根から転落, 頭の骨を折って, 約 2 時間後に死亡した。六日町署の調べによると, 屋根の端で誤って, 足を踏み外して転落したらしい。今冬の雪下ろしによる死亡は 2 人目。</p>                                                                                                           |
| 3 . 1<br>積雪<br>警報<br>欠航        | 鳥取県<br>日 . 3 . 2 - 18              | <p>強い寒波にすっぱり覆われている山陰地方は, 断続的に雪が降り続き, 1 日16時現在で鳥取市では, 積雪が 6 cm に達し, 今冬の最高を記録した。鳥取地方気象台は12時30分, 県内に大雪警報を発令した。鳥取空港では, 午前の東京発便が視界不良のため, 大阪空港に引き返すなど, 全便が欠航した。米子空港でも, 全日空の全便が欠航, 東亜国内航空の 5 便のうち 3 便が欠航した。</p>                                                |
| 3 . 1<br>欠航                    | 島根県<br>山 . 3 . 2 - 15              | <p>県内は冬型の気圧配置が再び強まり, 終日雪が降り続いた。この雪のため, 県営出雲空港では, 東京便 3 往復全便と隠岐便 1 往復便が欠航。隠岐空港でも大阪発米子経由の便が, 米子の天候不良のため, 大阪からの直行便に変更になるなどの影響が出た。</p>                                                                                                                      |
| 3 . 1<br>スリップ                  | 鳥取県鳥取市小沢見<br>山 . 3 . 2 - 16        | <p>朝, 国道 9 号線で, 乗用車が雪のためスリップ, 対向の普通トラックと衝突, 乗用車に同乗していた女性 (52才) が, 首の骨を折る 3 箇月の大けがをした。</p>                                                                                                                                                               |
| 3 . 1<br>スリップ<br>規制            | 兵庫県加東部東条町<br>天神<br>日 . 3 . 2 - 19  | <p>1 時45分ごろ, 中国自動車道下り線で, 大型トラックが雪でスリップし, 追い越し車線で止まっていた, 2 台の乗用車を避けようとして, 走行車線で止まった。この大型トラックに後続の普通トラックと乗用車が追突, 乗用車に同乗していた男性 (25才) が死亡, 乗用車の男性 (29才) 運転者が軽傷, 普通トラックの男性 (34才) が, 両足の骨を折って重傷を負った。同自動車道は2時から, 滝野社～西宮北インター間で, 通行止めになったが, 6 時40分に開通した。</p>     |
| 3 . 1<br>スリップ<br>規制            | 大分県大分郡<br>湯布院町川上<br>日 . 3 . 2 - 19 | <p>9 時ごろ, 九州横断道路 (通称やまなみハイウェイ) で, 大型観光バスが, 路上から約 2 m 下の草地に, 転落して横転した。乗員 3 人と乗客41人のうち, 女性 (66才) 1 人が頭の骨にひび</p>                                                                                                                                           |

| 発生年月日<br>(事 項)       | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)     | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.3.1<br>列車<br>規制 | 中国地方<br>中.3.2-15           | <p>が入る1箇月の重傷, 他の1人も腰を強く打ち, いずれも入院した. 他に31人が打撲などで手当てを受けた. 大分南署の調べによると, 現場は緩やかな左のカーブで, 事故当時は雪が舞い, 路面が凍結していた. また, 同道路は別府市の一部を除き, 大分県内の全線が, チェーン規制中だった. 観光バスは後輪4個のうち, 外側の左右にそれぞれチェーンを巻いていた. 路面には約1.5cmの雪が硬く凍り着いていた.</p> <p>中国地方は, 山間部を中心に, 終日雪が降り続き, 鳥取市では61cmと今冬最高の積雪となった. この雪のため, 東海道, 山陽新幹線は, 西明石駅~岡山駅間などで徐行運転となり, 最高30分遅れたのを始め, 上下線の列車ダイヤは終日乱れた.</p> <p>中国自動車道は, 徳地~高田間, 庄原~東城間の上り線が, チェーン規制になった他, 山口~徳地間の上下線が, 50km/hの速度規制となった.</p> |
| 3.2<br>列車<br>不通      | 南魚沼郡塩沢町<br>新.3.3-19        | <p>13時25分ごろ, 国鉄上越線塩沢駅で, 普通列車が雪を抱き込み, 運転不能になった. このため, 上り線が一時不通となったが, 除雪を行い15時25分に運転を再開した. この影響で, 上下普通列車10本に, 30分から2時間の遅れが出た.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3.2<br>スリップ          | 豊栄市上大月<br>朝.3.4-21         | <p>20時50分ごろ, 県道でワゴン車と大型トラックが正面衝突した. この事故で, ワゴン車に同乗していた男性(17才)が, 左足の骨が折れるなどして, 6箇月の大けがをした他, ワゴン車の男性(35才)運転者も, 顔に軽いけがをした. 豊栄署の調べによると, 現場は緩いカーブで, 事故当時は路面が凍結していた. また, ワゴン車のスパイクタイヤのスリップ跡があった.</p>                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3.2<br>踏み切り          | 新津市草生津1丁目<br>新.3.3ター3      | <p>23時半ごろ, 国鉄磐越西線新関駅~東新津駅間の通称第3村松街道踏み切り(遮断機, 警報機付き)で, 乗用車が路面凍結のため, スリップして脱輪, 立ち往生しているところへ, 普通列車が衝突した. 乗用車は大破したが, 乗員と乗客, 乗用車の運転者にはけがは無かった. 列車は現場に30分停車した.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3.2<br>規制<br>雪崩      | 中魚沼郡中里村<br>新.3.3ター3        | <p>中魚沼郡中里村と南魚沼郡塩沢町を結ぶ国道353号線は, 17時から当分の間, 全面通行止めとなった. 郡境の十二峠付近で雪崩が発生する恐れがあるため, 通行止めの解除にはしばらくかかる見込み.(7日, 正午に解除された).</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 3.2<br>屋根雪           | 南蒲原郡下田村<br>大谷内<br>新.3.4ター3 | <p>自宅屋根の雪下ろし作業中の老人(男性, 75才)が, 誤って屋根から転落, 肩の骨を折るけがをした. 村役場はトタン葺き, アタン葺きの屋根で雪下ろしをする場合は, 雪が緩んでいるので, 気を付けて欲しいと, 注意を呼び掛けている.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 3.2<br>注意報           | 新潟県<br>新.3.2ター3            | <p>県内は朝の冷え込みが厳しく, 新潟市で最低気温が-2.7℃となったのを始め, 各地で平年値を0.4~2.8℃も下回った. 新潟地方気象台によると, 1日夜, 輪島上空5,000m付近に, -43℃の強い寒気団が入って, 冬型の気圧配置が強まったため. 上越, 中越, 下越地方の大雪注意報は, 2月27日から出され放となっ</p>                                                                                                                                                                                                                                                             |

| 発生年月日<br>(事 項)        | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.2.3<br>スリップ      | 三重県飯南郡飯高町<br>赤桶<br>新. 3. 2ター3     | <p>ている。</p> <p>7時5分ごろ、国道166号線で路線バス同士が正面衝突、乗客25人が軽いけがをした。松坂署の調べによると、現場は片側1車線で、一方のバスが雪でスリップして、センターラインを越えたいらしい。</p>                                                                                               |
| 3.2<br>列車<br>規制<br>授業 | 中国地方<br>中. 3. 2ター6                | <p>中国地方は1日夜から2日朝にかけて、山口県など西部を中心に、更にかなりの雪が降った。この雪のため、東海道、山陽新幹線は始発列車から、上下線とも20～30分遅れで広島駅を発車した。中国自動車道は、徳地～佐用間の上り線と北房～徳地間の下り線で、チェーン規制が行われた他、徳地～小月間の上下線で50km/hの速度規制となった。また、広島市内では雪のため、小、中学校5校が、最高2時間授業時間を繰り下げた。</p> |
| 3.2<br>スリップ           | 広島県広島市<br>安佐南区緑井6丁目<br>中. 3. 2ター6 | <p>5時ごろ、国道54号線で普通トラックが、大型トラックに追突した。この事故で、普通トラックの男性(55才)運転者が、足の骨を折って約3箇月の重傷を負った。広島北署の調べによると、路面が凍結していたため、スリップしたらしい。</p>                                                                                          |
| 3.2<br>警報             | 鳥取県<br>日. 3. 3-18                 | <p>3月としては記録的な大雪となった山陰地方は、昭和18年に鳥取地方気象台が開設されて以来、昭和59年と並んで積雪が最高を記録した。1日昼には鳥取県内全域に、大雪警報が出された。しかし、2日朝には寒波も緩み、同気象台は6時10分、大雪警報を解除した。一方、大雪のため、東伯郡羽合町と同郡北条町で、合わせてビニールハウス2棟が倒壊、8,745,000円の被害が出た。</p>                    |
| 3.2<br>遭難<br>登山者      | 鳥取県西伯郡大山町<br>山. 3. 3-18           | <p>2月27日、国立公園・大山に1人で登ったまま、消息を絶っていた男性(26才)は、捜索隊により12時20分、頂上小屋から南へ約30mの一ノ沢上部で、テントに居るところを発見され、15時半過ぎ自力で無事下山した。</p>                                                                                                |
| 3.3<br>除雪車            | 中頸城郡大潟町<br>土底浜<br>新. 3. 4-18      | <p>10時前、町立大潟町小学校正面玄関付近で、小型ロータリー除雪車(25馬力)を使って、除雪作業をしていた男性(41才)が、ロータリーに右手を巻き込まれて、中指切断の重傷を負った。</p>                                                                                                                |
| 3.3<br>屋根雪            | 南蒲原郡下田村<br>大谷内<br>新. 3. 4ター3      | <p>18時ごろ、木造トタン葺き車庫の屋根の、雪下ろし作業をしていた主婦(56才)が、誤って約3mの高さから車庫の裏を流れる用水路(コンクリート製幅1.1m、深さ約1m)の中に転落、頭部骨折による脳挫傷で死亡した。</p>                                                                                                |
| 3.4<br>屋根雪            | 十日町市中条<br>新. 3. 5ター3              | <p>14時過ぎ、自宅屋根の雪下ろし作業中の男性(62才)が、誤って3m下の下屋に転落、頭部打撲などで重傷を負った。</p>                                                                                                                                                 |
| 3.7<br>スリップ           | 群馬県藤岡市下日野<br>朝. 3. 9-23           | <p>18時半ごろ、民宿の私道で7人が乗ったワゴン車が、斜面を転がって20m下の雑木林に転落、1人が骨折の重傷を負った他、全員がけがをした。藤岡署の調べによると、現場は山林の中の幅3mの舗装道路で、折からの雪で車輪が滑って右路肩から脱輪、あわてて反対方向へ急ハンドルを切ったため転落した。</p>                                                           |

| 発生年月日<br>(事 項)              | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.3.7<br>雪崩<br>登山者       | 群馬県利根郡水上町<br>朝. 3. 9-23                      | 12時半ごろ, 谷川岳(標高 1,963m)一ノ倉沢を, 単独で登山中の男性(30才)が, 雪崩に巻き込まれて約 200 m 滑落した. 近くに居た17人の登山者が, 男性を救助して下山したが, 男性は頭と右手の骨を折るなどして4週間の重傷.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3.7<br>踏み切り                 | 神奈川県海老名市<br>社家<br>朝. 3. 8-23                 | 17時7分ごろ, 国鉄相模線の宇治山第2踏み切りで, トラックが雪のためスリップして, 立ち往生していたところへ, 普通列車が衝突した. この事故で, 乗員, 乗客とトラックの運転者にはけがはなかった. 列車は現場に約1時間停車, 区間運休6本の列車が出た. 座間署の調べによると, トラックが踏み切り内に進入, レールの上の雪でスリップして右前輪が脱輪, 車から降りたところ, 警報機が鳴り出し, 列車が来たという.                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 3.7<br>スリップ                 | 千葉県東金市田間<br>朝. 3. 8-23                       | 19時40分ごろ, 国道126号線で, 軽トラックを止めて, チェーンを付けていたところへ, 乗用車が雪でスリップして突っ込み, 軽トラックの男性(51才)運転者が, 胸などを強く打って, 間もなく死亡した. 東金署の調べによると, 現場から約30m手前で, 乗用車はブレーキを踏んだが, 路面にはシャーベット状の雪が, 約3cm積もっていたためスリップした.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3.7<br>列車                   | 千葉県<br>朝. 3. 8-23                            | 国鉄千葉鉄道管理局管内では, 内房線木更津駅構内など9駅で, ポイントが変換出来なくなり, 県内全線でダイヤが乱れ23時までに内房, 外房, 総武線の快速電車, 普通列車など上下の列車12本が運休. この他, 131本の列車が最高2時間40分遅れた.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3.7<br>注意報<br>列車            | 茨城県<br>茨. 3. 8-15                            | 水戸地方気象台は, 16時過ぎに大雪注意報を出した. 県内は8日朝方まで, 雪が降り続く見込み. 県内の本格的な雪は, 今冬9回目になるが, この雪の影響で, 国鉄常磐線の列車のパンタグラフに雪が着き, 大半の列車が5~10分遅れた.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3.7<br>警報<br>転倒<br>欠航<br>規制 | 首都圏<br>朝. 3. 8-1<br>朝. 3. 8-23<br>読. 3. 8-22 | 関東地方, 甲信地方, 東海地方は午後, 低気圧の通過に伴って, 各地で春の大雪となった. このため, 気象庁は静岡県の東部と神奈川県全域に大雪警報, 東京都など首都圏を含む, これらの全域に大雪注意報を出した. 首都圏の降雪は, 今冬9度目. 東京消防庁が23時までにまとめたところによると, この雪のため都内で, 雪による歩行者の転倒や交通事故などで, 26人が病院に運ばれた. うち, 歩行中路上などで転倒し, けがをしたのは17人. 9人が足の骨を折るなどして入院し, 8人が軽傷. 内訳は男性7人, 女性10人, 年齢では, 50才以上の人が多い.<br>また, 羽田空港では, 離着陸を電波で誘導する計器着陸装置に雪が積もったため, 一時計器が不調になるなどした影響で, 離着陸機のコントロール機能が低下し, 午後の空の便は, 全国的に乱れた. 日本航空2便, 全日空56便, 東亜国内航空37便, 計95便が欠航. 乗客約15,000人の足に影響が出た. 欠航便以外でも, 沖縄発大阪行きの便が, 大阪空港に着陸出来ず, 一旦羽田空港に降りてから大阪空港へ戻ったため, 3時間40分遅れる |

| 発生年月日<br>(事 項)     | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)   | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 3. 7<br>規制   | 中国自動車道<br>中. 3. 8-22     | <p>など、各便が大混乱した。成田空港でも雪のため、発着ダイヤが乱れ、夜になって出発便が捌き切れなくなり、23時までの運用時間を1時間延長した。</p> <p>首都圏の国鉄は、横須賀線の鎌倉駅～逗子駅間で、2本の列車が20分程度遅れた他、総武線や南武線でも運休が出た。</p> <p>また、東海道、山陽新幹線は、昼から夜にかけて、上下線とも東京駅～広島駅間の一部区間で、120～170 km/hの徐行運転をした、この影響で、ダイヤの乱れは終日続き、上下170本の列車が最高1時間半遅れるなどして、約120,000人が影響を受けた。</p> <p>雪の影響で高速道路は、東名高速道路が東京～沼津間と中央高速道路の八王子以西がチェーン装着車以外は通行禁止となった他、名神高速道路が西宮～京都南間で、13時過ぎから上下線とも通行止めとなった。また、東京都西多摩郡奥多摩町～桧原村間の、都多摩有料道路は、積雪のため14時半から、全面通行止めとなった。</p> |
| 3. 7<br>競輪中止       | 兵庫県西宮市高松町<br>日. 3. 8-19  | <p>中国自動車道は、広島地方で朝から降り始めた雪のため終日各区间でチェーン規制や速度制限を実施した。道路公団三次管理事務所の調べによると、10時前に東城～高田間でチェーン規制が実施されたのを始め、他の区間も相次いでチェーン規制に入った。</p> <p>開催予定の西宮競輪が、降雪で中止になった。このため、ファン約500人が入場料の払い戻しを求め、また、約200人が交通費の払い戻しを求めたが、県警西宮署は署員約70人を出動させ警備に当たった。ファンも13時ごろ、引き揚げ大きな混乱はなかった。</p>                                                                                                                                                                               |
| 3. 7<br>電波障害       | 神奈川県<br>読. 3. 8-22       | <p>雪の影響で、県内の横浜以西の一部地域で、19時半ごろからテレビの映像が映らなくなる受信障害があった。テレビ朝日の話では、吹くほどの降雪で、電波が雪の結晶に当たってハネ返され、拡散状態になって減衰する現象。同社へ視聴者から問い合わせや、苦情の電話が殺到した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 3. 7<br>スリップ       | 南魚沼郡湯沢町三国<br>新. 3. 10-19 | <p>15時過ぎ、国道17号線で、乗用車がスリップして、道路左側に停車中のワゴン車に追突した。六日町署の調べによると、停車中のワゴン車は、チェーン着きのタイヤを丸ごと普通タイヤに取り替える作業をしており、作業中の男性2人(23才、26才)が意識不明などで重体。乗用車の男性(59才)運転者も手や胸などを打撲して2週間のけがを負った。事故当時、現場の路面の一部が凍っていた。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 3. 8<br>スリップ<br>規制 | 埼玉県羽生市上村君<br>朝. 3. 9-23  | <p>6時45分ごろ、東北自動車道下り線で、トラックがスリップして、道路右側の分離帯ガードロープに衝突したのをきっかけに、乗用車など49台が付近4箇所で、玉突き状態の追突事故を起こした。この事故で、男性(58才)が止めた車から降りたところを、後続の車に跳ねられ、全身を強く打って間もなく死亡</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 発生年月日<br>(事 項)     | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 3. 8<br>スリップ | 栃木県黒磯市下厚崎<br>朝. 3. 9-23      | <p>した他, 男性 2 人 (27才, 28才) が頭の骨や肋骨を折る重傷, 35人が軽傷を負い, 4人が入院した. 同道路は事故処理などのため, 下り線が13時40分まで, 上り線が11時20分まで約 2 時間閉鎖された. 県警交通高速隊の調べによると, 事故当時, 路面が前日からの雪が融けて一部凍っていたため, 同道路は50km/h の速度規制が実施されていた. また, 濃い霧で視界も悪く, 同隊はスリップとスピードの出し過ぎが, 玉突きの原因と見ている.</p> <p>4 時50分ごろ, 国道 4 号線バイパスで, 乗用車が雪のため凍結した路面でスリップして, 対向車線にはみ出し, 前から来たトラックと衝突した. この事故で, 乗用車の男性運転者と同乗男性 2 人 (18才, 19才) が, 頭の骨を折って間もなく死亡した. 黒磯署の調べによると, 乗用車はスパイクタイヤだったが, 約 10cm の積雪が路面に凍結しており, ハンドル操作を誤ってスリップしたらしい.</p> |
| 3. 8<br>スリップ       | 栃木県栃木市<br>小野口町<br>朝. 3. 9-23 | <p>5 時半ごろ, 東北自動車道下り線で, 乗用車が雪でスリップして, 横向きになって止まったところへ, 後続のワゴン車が衝突した. この事故で, 乗用車の同乗男性 (19才) が, 内臓破裂で即死, 乗用車の男性 (20才) 運転者が, 腰の骨を折って 3 箇月の重傷を負った他, ワゴン車の 5 人が首などに軽いけがをした. 県警高速隊の調べによると, 乗用車は普通タイヤだった.</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3. 8<br>スリップ       | 茨城県水戸市赤塚 1<br>茨. 3. 9-15     | <p>4 時40分ごろ, 市道でバイクが凍結した路面でスリップして転倒, 運転していた男性 (22才) が, 右足骨折の 3 箇月の大けがをした.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 3. 8<br>スリップ<br>規制 | 茨城県<br>茨. 3. 9-15            | <p>春の雪に見舞われた県内は, 各地でスリップ事故が, 発生した. 県警のまとめによると, 人身事故は15件, うち 1 人が重傷, 19人が軽傷を負い, 物損事故も48件起きた.</p> <p>県内の道路では, 常磐自動車道で速度規制があったが, 通行止めとなる区間は無かった.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 3. 8<br>スリップ       | 東京都世田谷区松原<br>新. 3. 9-19      | <p>一方, 国鉄水戸鉄道管理局管内では, 7 日は大半の列車に若干の遅れが出たものの, 8 日のダイヤには影響は無かった.</p> <p>5 時40分ごろ, 首都高速 4 号線の下り線で, 2 ton トラックが雪でスリップ, 渋滞で停車中のトラックに追突, 更に後続の 3 台が玉突き衝突した. けが人は無かったが, 2 ton トラックの男性 (46才) 運転者が, 事故後70cm程のフェンスを乗り越えて, 約19m 下の甲州街道に飛び降り, 間もなく死亡した. 警視庁高速道路交通警察隊と北沢署の調べによると, 男性は事故を苦に発作的に自殺したと見ている.</p>                                                                                                                                                                 |
| 3. 8<br>スリップ<br>規制 | 首都圏<br>新. 3. 9-19            | <p>春の雪に見舞われた関東地方の各地は, 道路の路面凍結や濃霧のため玉突き衝突など, 雪による交通事故が相次ぎ, 栃木, 埼玉, 東京, 山梨の 4 都県で 5 人が死亡, 約 100 人が重軽傷を負った.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

| 発生年月日<br>(事 項)       | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.3.8<br>落雪<br>列車 | 千葉県千葉市浜田<br>新. 3. 9-19            | <p>積雪と濃霧で50km/hに速度規制されていた, 東北自動車道では, 埼玉県内で乗用車など50台が玉突き衝突, 栃木県内でも7人死傷の事故が発生, 上下線が一部区間で不通となった. この他, 都内で41件のスリップ事故が続発, 山梨県内の中央自動車道でも, 6台の玉突き衝突が発生するなど, 首都圏の道路は事故サンデーとなった.</p> <p>8時ごろ, 国鉄京葉線習志野駅～海浜幕張駅間で, 普通列車が走行中, 運転席のフロントガラスに, 架線に積もった雪が落下. フロントガラスが割れて, ガラスの破片で列車の運転士が首筋を切った. 習志野署の調べによると, 運転席の真正面に直径約30cmの穴が空き, 周辺のガラス一面にひびが入っていた. 同署は, 前夜積もった雪が凍結して固まり, 突風で落下したと見ている. 運転士は右耳の後ろから首にかけて, 15cmの切り傷があり, 2週間のけがだった. 列車の乗客は無事だった.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 3.10<br>スリップ<br>規制   | 青森県南津軽郡<br>大鰐町長峰前田<br>朝. 3. 11-23 | <p>9時40分ごろ, 東北自動車道上り線で, 乗用車が除雪作業中の車に接触して止まった, 後続のトラックがこれを避けようとして, 凍結した路面でスリップし, ガードレールに衝突, 後ろから来たトラック2台と大型貸し切りバスが, 相次いでぶつかった. この事故で, けが人は無かったが, 上り線は大鰐インター～碓ヶ関インター間が, 約3時間20分に渡って閉鎖された.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3.10<br>スリップ<br>規制   | 宮城県名取市<br>高館熊野堂北山<br>朝. 3. 11-23  | <p>1時半ごろ, 東北自動車道下り線で, 大型車13台と乗用車3台の計16台が次々と追突し, 13台が炎上, 最初に火が着いた大型トラックの男性(24才)運転者が, 運転席に閉じ込められて焼死した. 約10分後, 現場から200 m南で, 事故に気付いて停車した大型トラックに, 後続車が突っ込み, 計11台の玉突き事故が起きた. この2件の事故で, 7人が重軽傷を負った.</p> <p>県警の調べによると, 事故当時, 雪が降っており, 路面は雪が押し固められて, 凍結状態だった, 事故の発端は, 集団の先頭を走っていたタンクローリー車が, 凍結路面でスリップ, 左側のガードレールにぶつかり, 反転して止まったところに, 後続車がぶつかった. 車が燃え上がったのは, 流出したガソリンに何かの火が引火したためで, 火は小さな爆発とともに, 約4時間燃え続けた. 現場は下り坂ではぼ直線. 雪のため9日夜から50km/hに速度規制されていた. この事故で, 同自動車道は上下線とも, 白石～泉間が通行止めになったが, 上り線は13時半に開通した. 下り線は路面の修復作業のため, 白石～仙台南間で通行止めになっている. 大半の車がスノータイヤやスパイクタイヤを装着していたが, スピードを出し過ぎていたのと, 車間距離を十分取っていなかったため, ブレーキをかけても凍結路面で滑り, 大事故につながったものと, 同県警は見ている. 負傷者は重傷が男性2人(29才, 32才), 軽傷が男性3人(29才, 34才, 41才), 女性2人(21才, 21才)の7人.</p> |

| 発生年月日<br>(事 項)          | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)        | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 3. 11<br>注意報      | 関東地方<br>読. 3. 11夕-3           | 関東地方は, 10日夜からの雨が11日未明から雪に変わり, 宇都宮 5 cm, 秩父 4 cm, 八王子 2 cm, 水戸 1 cm, 熊谷 1 cmの積雪となった, 今冬10度目の雪。都心では6時ごろからみぞれになり, 7時過ぎには一時雪もちらついた。この雪は今夕いっぱい続く見込みで, 気象庁は朝, 東京都の多摩地区に大雪注意報を出した。多摩西部で15~10cm, 多摩東部ど5cm前後, 都区部の西部地域でも2~3cmの見込み。                                                                                                                                                                      |
| 3. 11<br>積雪<br>授業<br>列車 | 茨城県<br>朝. 3. 12-21            | 県内は15時過ぎから雪が降り始め, 今冬10度目の雪で, 下妻市で7cm, 久慈郡大子町で6cmの積雪を記録した。この雪の影響で, 小学校5校が午後の授業を打ち切り, 小学校6校, 中学校2校の計8校が授業を1時間カットした。また, 国鉄常磐線平駅で3時半ごろ, 水戸線羽黒駅で10時前, それぞれの駅で構内のポイントに雪が狭まって動かなくなり, 普通列車2本が6~15分遅れ, 乗客250人に影響が出た。                                                                                                                                                                                    |
| 3. 11<br>融雪剤            | 千葉県山武郡芝山町<br>読. 3. 12-23      | 成田空港からの雪融け水が, 融雪剤の使用で汚染されていることが, 芝山町町議会の一般質問で明らかになった。成田空港では, 降雪の際, 新東京国際空港公団が, 滑走路に融雪剤として尿素を撒いたり, 機体に積もった雪を取り除くため, エチレングリコールを噴き着けている。8,325PPMと最も高い数値が測定された3月8日の前日は, 尿素は撒かなかったものの, 各航空会社が独自にエチレングリコールを使用, 日本航空成田整備工場では, 約20 tonを使ったと言う。それによると, 空港反対派が空港北側の取香川にある貯水池の下流100m地点で, 1月10日から3月8日まで, 断続的に合計9回取水。東京大学工学部の研究室に依頼して分析したところ, 降雪直後の3月8日など4回は, 化学的酸素要求量(COD)が, 一般排出基準(160 PPM)の4倍から52倍を記録した。 |
| 3. 12<br>登山者<br>滑落      | 岐阜県<br>中. 3. 13-23            | 14時ごろ, 北アルプス涸沢岳西尾根を登山中の男性(20才)が, 約30m滑落, 右足首を骨折して動けなくなり, 岐阜県警神岡署に救助を求めて来た。同署の山岳警備隊が, 13日早朝, 救助に向かう。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 3. 13<br>雪崩<br>規制       | 糸魚川市根小屋<br>新. 3. 14-25        | 9時と10時の2回, 国道148号線の糸滝洞門付近で, 小規模の雪崩が発生, 同国道は一時通行止めになったが, 10時20分, 復旧した。雪崩の規模は1回目は400m <sup>3</sup> , 2回目は100m <sup>3</sup> で車両などの被害は無かった。                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 3. 14<br>登山者<br>凍死      | 長野県北安曇郡<br>白馬村<br>読. 3. 16-23 | 昼ごろ, 北アルプスの唐松岳八方尾根を縦走中の登山者が, 稜線から約500m下で, 男性が死んでいるのを見つけ, 大町署に届け出た。同署の調べによると, 男性(49才)は2月26日, 写真撮影に白馬村を訪れ, 宿を出たまま行方不明になっていた。唐松岳に登って写真を撮っているうち道に迷い, 凍死したらしい。                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3. 15                   | 南魚沼郡湯沢町三国                     | 12時15分ごろ, 国道17号線の萱付トンネル内で, 乗用車が大                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 発生年月日<br>(事 項)      | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)     | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スリッパ                | 毎 . 3 . 16-18              | 型トラックに正面衝突。乗用車の同乗男性(25才)が全身打撲で即死, 同乗男性(25才)が右足骨折で重傷, 乗用車の男性(28才)運転者と同乗男性(21才)が軽傷を負った。六日町署の調べによると, 現場は路面に雪がシャーベット状になっていたため, 乗用車が雪でスリップして, センターラインを越えたらしい。                                                                                                                                                                                         |
| 1987. 3. 15<br>スキー場 | 南魚沼郡六日町寺尾<br>毎 . 3 . 17-16 | 夕方, 五日町スキー場で, 男子小学生(10才)が, 誤ってスキー場内の灌漑用水池に転落, 約6時間後に水死体で発見された。池の周囲にある高さ約1mの鉄製の柵は雪に埋もれていた。六日町署の調べによると, 小学生は池に気づかずに転落したらしい。                                                                                                                                                                                                                        |
| 3. 15<br>登山者<br>凍死  | 長野県<br>読 . 3 . 16-23       | 昼すぎ, ハケ岳連峰横岳(標高2,825m)頂上直下の樹林帯で, 男性(65才)が死んでいるのを, 捜索していた家族らが見つけた。男性は山岳写真を撮るために4日に単独で登山, 行方不明になっていた。道に迷って凍死したらしい。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3. 15<br>登山者<br>遭難  | 長野県<br>中 . 3 . 16-15       | 県警豊科署への連絡によると, 北アルプスの穂高岳の屏風岩を登っていた男性(23才)が, 未明, ビバーク中に疲労と寒さのため 睡状態になった。このため, 同行者が救助を求めている。同署は16日に救出する予定。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 1987. 3. 16<br>側溝   | 上越市北本町3丁目<br>朝 . 3 . 17-21 | 7時ごろ, 市道わきの側溝(幅1.5m, 深さ1.8m, 水深20m)で, 男性(56才)が自転車ごと転落して死んでいるのを, 通行人が見つけ上越南署に届け出た。同署の調べによると, 帰宅途中に誤って, 側溝に転落して気を失って, 水死したらしい。                                                                                                                                                                                                                     |
| 3. 16<br>地すべり       | 東頸城郡牧村井沢<br>新 . 3 . 17-18  | 朝, 住宅床下に幅1.5~2.5cm, 長さ20mの亀裂が走っているのを家人が見つけ, 村役場に届け出た。村役場や安塚署などの調べでは, 亀裂は村道から10mの高さのブロック積み側壁の一部でも見つかった。伸縮計など警報装置を設置して警戒に当たっているが, 村では17日朝, 避難勧告を出すかどうかを検討する予定。                                                                                                                                                                                     |
| 3. 19<br>冬山遭難       | 警察庁外勤課<br>新 . 3 . 20-21    | 暖冬の影響で, 今シーズンの全国の冬山遭難は, 発生件数, 遭難者数とも過去10年間の最低を記録したが, 警察庁外勤課の調べで分かった。同課によると, 昨年12月から今年2月までの3箇月間に, 全国の冬山で起きた遭難は32件で, 昨シーズンの57件を25件も下回った。また, 死者は10人で同じく13人の減少。行方不明は逆に5人の増加となったが, 例年, 死者, 行方不明者数は30人を超えており, 今シーズンの21人は, 昭和52年以降の最低記録となった。重軽傷も18人で, 昨シーズンの27人に比べ9人も減っている。山岳系列の発生件数は, 北アルプスが13件, 死者, 行方不明者は15人で最も多く, 中央アルプスは4件, 死者, 行方不明者が3人とこれに続いている。 |
| 3. 22<br>遭難         | 糸魚川市木地屋<br>新 . 3 . 23ター3   | 7時ごろ, 春山スキーツアー中の3人が, 仲間の救助を求めて民家にやって来た。糸魚川署の調べによると, 9人で春山ス                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

| 発生年月日<br>(事 項)                 | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スキー                            | 毎 . 3 . 16-18                     | キーツアー中に、途中で道に迷い1人が足首を捻挫、1人が発熱して動けなくなった。山中に残った6人は、長野県梅池スキー場から出動したヘリコプターで救助された。                                                                                                                                              |
| 1987. 3 . 22<br>土砂崩れ           | 刈羽郡高柳町<br>門出入道久保<br>新 . 3 . 24-19 | 21時ごろ、県道高柳板山線で土砂崩れがあり、同県道が決壊して不通となった。崩れた土砂の量は約 20,000m <sup>3</sup> で、県道は幅 50mに渡って厚さ 7 mの土砂で埋まった。このところの好天で雪が融け、地盤が緩んだらしい。発生当時、通行人や通行車両は無かった。復旧のめどは立っていない。                                                                  |
| 3 . 23<br>流雪溝                  | 北魚沼郡湯之谷村<br>吉田<br>新 . 3 . 23-21   | 11時前、女性(68才)が誤って、流雪溝(幅50cm, 深さ70cm, 水深20cm)に転落した。これを目撃した主婦が、通りかかった男性と協力して助け上げた。転落した女性は病院に収容されたが、顔などに軽いけがをただけだった。<br>(県警小出署(宮沢実署長)は、4月10日2人を人命救助で表彰した。新 . 4 . 12-20)。                                                       |
| 3 . 25<br>突風                   | 東頸城郡安塚町安塚<br>新 . 3 . 26-23        | 15時20分ごろ、災害復旧工事現場の休憩小屋が、突風で吹き飛ばされ、約10 m下の小黒川に転落、中で休んでいた女性(52才)が行方不明となった。小黒川は雪融け水で増水しており、女性はあっと言う間に流れにのみ込まれた(27日9時、現場から約2 km下流で、遺体となって発見された)。                                                                               |
| 3 . 25<br>強風<br>列車<br>規制       | 国鉄新潟鉄道管理局<br>新 . 3 . 26-23        | 強風のため、国鉄新潟鉄道管理局は、上越新幹線の新潟駅～三条駅間で、13時40分から13時20分までの40分間、運転を中止した他、13時20分から17時半前まで、新潟駅～長岡駅間で徐行運転を実施した。このため、上下合わせて30本の列車に最高1時間18分の遅れが出て、約16,000人の乗客に影響が出た。また、昼すぎから同管内の信越線、上越線、羽越線などの各線も徐行運転となり遅れが出た。                           |
| 3 . 25<br>強風                   | 柏崎市川出露沢<br>新 . 3 . 26-23          | 12時半ごろ、コンクリート会社の資材置場で、強風のためトタン屋根(約10m×5m)が吹き飛んで約2 m下に落ち、見回りに来て居た男性(64才)が下敷きになり、肋骨骨折などの重傷を負った。                                                                                                                              |
| 3 . 25<br>強風<br>規制             | 柏崎市青海川<br>朝 . 3 . 26-19           | 13時40分ころ、国道8号線でUターンしようとした、幌付き2tトラックが、突風を受けて横転した。運転者にけがは無かったが、強風が吹き荒れて通行に危険があるため、建設省長岡国道工事事務所は、現場付近から中頸城郡柿崎町上輪地内までの約6 kmの間、同国道を当分の間通行止めにした。                                                                                 |
| 3 . 25<br>警報<br>強風<br>欠航<br>規制 | 新潟県<br>新 . 3 . 26-23              | 県内は、冬型の気圧配置が強まって、西寄りの強風が吹き荒れた。新潟地方气象台によると、この春の嵐は寒冷前線の通過による影響。同气象台では、24日夜から暴風雨警報を出していたが、11時過ぎから暴風雪警報も出した。県内の各地の最大瞬間風速は新潟 29.8m/sec, 相川 30.7m/sec, 柏崎 37.6m/sec (柏崎消防署調べ)、高田 29.4m/sec を記録した。<br>この春の嵐で、県内の各地で被害が発生、佐渡汽船はカーフ |

| 発生年月日<br>(事 項)          | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987. 3. 26<br>低気圧情報    | 毎. 3. 26-20<br><br>気象庁<br>新. 3. 26夕-3 | <p>エリーが, 新潟港, 両津港発とも朝の2便を除いて4便が欠航し, ジェットfoilも朝の1往復を除いて, 2往復が欠航した. また, 新潟～赤泊航路, 直江津～小木航路の各1往復も欠航した. このため, 約1,000人の乗客が影響を受けた.</p> <p>一方, 関越自動車道, 北陸自動車道も強風による事故が相次いだ. 西浦原郡巻町東町の北陸自動車道上り線で2時ごろ, トラックの横転事故が発生, 県警高速隊は2時10分, 新潟～上越インター間を50km/hに速度規制. 3時40分から20分間, 上り線の新潟～巻インター間を全面通行止めにした.</p> <p>非常に発達した低気圧の影響で, 北日本近海は26日いっぱい大シケが続く見込み. このため同庁は早朝, 低気圧に関する情報を出し, 注意を呼び掛けている.</p>                         |
| 3. 25<br>突風             | 岩手県岩手郡葛巻町<br>葛巻<br>朝. 3. 26-23        | <p>14時ごろ, 町道をバイクで走行中, 突風にあおられた男性(63才)がバイクごと1.5m下の川へ転落して流され, 行方不明になった.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3. 25<br>強風<br>列車       | 東北地方<br>朝. 3. 26-23                   | <p>東北地方は, 北海道上空に中心を持つ発達した低気圧の影響で, 強い西風が吹き荒れ, 仙台市では観測史上最高の最大瞬間風速36.7m/secを記録したのを始め, 各地で30m/sec超す突風に見舞われた. 国鉄東北新幹線は, 強風のため14時から16時まで, 福島駅～仙台駅間の一部で70km/hの徐行運転をし, 合計29本の列車に23分から1分の遅れが出た.</p>                                                                                                                                                                                                            |
| 3. 25<br>強風<br>火災<br>焼死 | 秋田県由利郡<br>矢島町立石<br>朝. 3. 26-23        | <p>2時ごろ, 木造かや葺き平屋建て住宅の居間付近から出火, 同住宅300m<sup>2</sup>を全焼, 焼け跡から夫婦(46才, 47才)が, 焼死体で見つかった. また, 同居の父親(81才)と男児(3才)も逃げる際, 手足などに1箇月の焼けどをした. 矢島署の調べによると, 出火場所と見られる居間の薪ストーブの残り火が, 強風のため煙突を伝って居間の天井付近まで舞い上がり, かや葺き屋根の内部に燃え移ったと見ている. 出火当時, 瞬間風速30m/sec程の強風が吹いていた.</p>                                                                                                                                             |
| 3. 25<br>強風<br>列車       | 秋田県<br>毎. 3. 26-23                    | <p>県内は24日夜から25日にかけて, 台風並の強い風雨に見舞われ, 内陸部を中心に, 学校の屋根が吹き飛ばされるなどの被害が出た. 県内の国鉄各線では11時ごろ, 田沢湖線の刺巻駅～田沢湖駅間で, 線路下の盛り土や床石などが幅3m, 深さ3m, 長さ4mに渡って崩落し, 同線は約4時間半に渡って不通となった. このため, 特急列車6本を含む12本の列車が, 刺巻, 田沢湖の両駅で折り返し運転となった.</p> <p>また, 12時56分ごろ, 奥羽線富根駅～鷹巣駅間で, 強風のため変電所内の高圧線が支柱に触れショート, 13時56分ごろには同線の神宮寺駅～刈和野駅間で, 強風による倒木で架線が切断され, 一時不通となった. 更に, 14時20分ごろ男鹿線でも, 南秋田郡天王町内で, 普通列車が倒木に衝突し, 一時運転中止となり, 列車ダイヤは終日混乱した.</p> |

| 発生年月日<br>(事 項)                | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)            | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.3.26<br>追突事故<br>炎上<br>規制 | 西蒲原郡黒崎町島原<br>新. 3.26ター1           | <p>5時半ごろ、北陸自動車道下り線の新潟料金所で、大型トラックがライトバンに追突、更に、大型トラック2台に玉突き衝突して炎上した。この事故で、追突した大型トラックとライトバンの男性運転者2人(33才、40才)が、運転席に閉じ込められて焼死、ライトバンの前の大型トラックの男性(34才)も全身打撲などで死亡した。県内の自動車道で1度に3人が死亡したのは初めて。県警高速隊の調べによると、事故当時、道路公団では50km/hの速度規制を実施しており、路面は雪がシャーベット状態となっていたが、凍結はしていなかった。この事故の影響で、同自動車道の新潟～燕三条インター間で、上り線は8時半まで、下り線は13時半まで、全線通行止めとなった。</p> <p>事故の発端は、現場にブレーキをかけたスリップ跡が無いことから、同署では追突した大型トラックの運転者の居眠りか、わき見運転と見ている。</p> |
| 3.26<br>スキー場                  | 長野県北安曇郡<br>白馬村北城<br>毎. 3.27-19    | <p>11時35分ごろ、八方尾根スキー場の黒菱ゲレンデで、スキーで滑っていた女性(27才)が、急な斜面で転倒、ゲレンデがアイスバーン状になっていたため、約300m転がり落ち、頭を強く打って死亡した、同ゲレンデは傾斜は約30度。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 3.27<br>スリップ                  | 岩手県遠野市<br>綾織新里18地割<br>読. 3.27ター15 | <p>6時30分ごろ、国道283号線でワゴン車と大型トラックが正面衝突した。この事故で、ワゴン車は道路から約5m下の、猿ヶ石川の河原に転落して横転、乗っていた9人のうち男性4人(61才、62才、66才、72才)が即死、男性(59才)運転者ら5人が全身打撲などの大けがをした他、大型トラックの男性(40才)運転者も軽いけがをして、近くの病院に収容された。遠野署の調べによると、現場は見通しの良い直線道路で、27日未明からの雪が2～3cm積もっていた。ワゴン車が凍結した雪道でスリップして、対向車線にはみ出したのが事故の原因。</p>                                                                                                                                 |
| 3.27<br>登山者<br>滑落             | 富山県婦負郡山田村<br>中. 3.28-19           | <p>9時10分ごろ、牛岳スキー場でパトロール隊員が、長野県境の北アルプス唐松岳(標高2,696m)の頂上付近に登っていた6人パーティーのうち、男性(21才)1人が、尾根から滑落したと言う無線連絡を傍受、同隊員から県警上市署に届け出があった。県警山岳警備隊員らが、ヘリコプターで救出に向かい12時20分、同パーティーを発見、滑落した男性は、足に軽いけがをしただけで、全員無事と分かった。</p>                                                                                                                                                                                                     |
| 3.28<br>雪融け水<br>規制            | 岩船郡朝日村岩沢<br>新. 3.27-21            | <p>2月12日から県道高根～村上線の岩沢橋は、雪融け水による一部損壊以来、車の通行止めとなっていたが、28日13時に通行止めを解除、約1箇月ぶりに8ton車以下の通行が可能となる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4.1<br>スリップ                   | 南魚沼郡六日町坂戸<br>新. 4.2-17            | <p>14時過ぎ、八箇トンネル内で、オートバイが転倒、乗っていた男性(23才)が左手に軽いけがをした。十日町署の調べによると、バイクが雪融け水で、スリップして横転した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4.2<br>河川                     | 南蒲原郡下田村荒沢<br>新. 4.2ター3            | <p>9時半過ぎ、30日夕方自宅を出たまま、行方不明になっていた男性(82才)が、自宅から2.5km下流の五十嵐川で、工事用仮</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

| 発生年月日<br>(事 項)   | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.4.2<br>スキー場 | 鳥取県西伯郡大山町<br>日. 4. 3-17      | <p>設橋桁にひっかかって死んでいるのを、捜していた家族が見つ<br/>け、三条署に届け出た。同署の調べによると、男性は3月3日<br/>18時過ぎ、自宅裏口から外出したまま行方不明だったが、自宅<br/>裏を流れる同川の土手に、男性の杖が落ちていたことから、同<br/>署では誤って川に転落、流されたのではないかとみている。</p> <p>大山スキー場管理組合(組合長、入江正雄大山町長)は、今<br/>シーズン中のスキー客の入り込み状況などをまとめて発表した。<br/>それによると、昭和34年以来の記録的な雪不足にたたられ、ス<br/>キー客は昨シーズンに比べ約108,000人も少ない、235,326人だ<br/>った。今シーズンの大山スキー場は、みぞうの雪不足で、予定<br/>されていた各種のスキー大会も、相次いで中止になり、団体客<br/>の入り込みも大幅に減少した。また、シーズン100日間で全く<br/>滑れなかった日は、一般のスキー場で20日間近くあった。県で<br/>は、今シーズンの雪不足により、大きく影響を受けた旅館など<br/>対象に、資金繰り緩和の特別融資を4年ぶりに実施しているが、<br/>大山周辺の旅館60軒のうち40軒が申し込み、融資希望総額は、<br/>約3億円にもなるという。</p> |
| 4.4<br>規制<br>雪崩  | 北魚沼郡湯之谷村<br>新. 4. 3-19       | <p>奥只見ダムへ通じるシルバーラインは、4日から日中(7時<br/>から18時まで)に限り通れることになった。同ラインは、雪崩<br/>の危険を避けるため、今までは朝晩の1日合計4時間しか通れ<br/>なかった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4.4<br>用水路       | 北魚沼郡広神村並柳<br>新. 4. 12-20     | <p>14時前、自宅近くの路上で遊んでいた小学男子2人が、道路<br/>わきの用水路を流れて来る女の子(3才)を発見、救助した。<br/>この子は上流400mの自宅前で、祖母と遊んでいるうち、誤って<br/>転落した。救助された地点からすぐ下流は、用水路が雪で覆わ<br/>れていて、救助することは出来ない状態だった。<br/>(県警小出署(宮沢実署長)は、2人を人命救助で4月10日表<br/>彰した。新. 4. 12-20)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 4.5<br>登山者<br>突風 | 長野県北安曇郡<br>白馬村<br>朝. 4. 6-23 | <p>14時45分ごろ、北アルプス八方尾根第3ルンゼ付近で、八方<br/>尾根スキー場パトロール員が、足を引きずって歩いている男性<br/>(21才)を救助した。男性は山岳ガイド(男性、33才)と2人<br/>で、4日15時ごろ、唐松岳(標高2,696m)の北方の不帰ノ嶮を<br/>縦走中、突風にあおられ2人とも転落したもので、救助された<br/>男性は転落の際、右足を骨折したが、自力で助けを求めて下山<br/>中だった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4.4<br>申し立て      | 長野県弁護士会<br>朝. 4. 5-23        | <p>長野県弁護士会の高野屋三男会長ら弁護士62人が、同県公害<br/>審査会に、自動車タイヤメーカーが、県内でスパイクタイヤを、<br/>販売しないようにして欲しいと、調停の申し立てをした。弁護<br/>士らによると、この種の申し立ては、北海道に次いで2件目。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 4.11<br>条例<br>規制 | 群馬県<br>朝. 4. 9-22            | <p>群馬県条例に基づき、群馬、新潟両県境の谷川岳(標高1,963<br/>m)は、雪崩の危険があるため、同岳のマチガ沢、一ノ倉沢の<br/>南面の危険地区の登山が、11日0時から5月26日12時までの25</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

| 発生年月日<br>(事 項)    | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)         | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.4.14<br>スリップ | 南魚沼郡六日町<br>水尾新田<br>朝. 4. 15-19 | 日間, 登山禁止となる。<br>1時ごろ, 関越自動車道上り線で, 大型トレーラーが横転, 男性(39才)運転者が顔などに3週間のけがをした。この事故で, 大型トレーラーが道路をふさいだため, 同自動車道は, 小出~六日町インター間が, 約4時間に渡って閉鎖された。県警高速隊小出分中隊の調べによると, 事故当時, 路面は凍って滑りやすくなっており, 大型トレーラーが橋の接続部分の段差で, バウンドしたはずみで, ハンドルを取られて横転したらしい。                   |
| 4.14<br>スリップ      | 小千谷市穠生甲<br>朝. 4. 15-19         | 4時ごろ, 国道17号線の小千谷第2トンネルの六日町側出口付近で乗用車が, スリップ事故のため止まっていたトラックに衝突, 乗用車の男性(24才)運転者が足の骨を折り, 約4箇月の大けがを負った。小千谷署の調べによると, 乗用車を運転していた男性の, わき見運転と見ている。                                                                                                           |
| 4.14<br>スキー場      | 南魚沼郡湯沢町<br>新. 4. 15ター3         | 9時ごろ, 神楽スキー場から苗場山の尾根伝いコースに, スキーターに出掛けた男性2人(25才, 27才)が, 夜になっても帰らないと, 宿泊旅館から六日町署に届け出があった。同署では, 遭難の恐れがあると見て, 15日早朝から捜索隊を出して捜していたが, 2人は8時過ぎに無事で下山してきた。同署の調べによると, 2人は途中でコースを間違えて迷っているうち暗くなったため, 雪穴を掘って1夜を明かしたと云う。                                        |
| 4.15<br>規制<br>再開  | 佐渡ヶ島<br>新. 4. 14-19            | 冬季間, 雪のため通行止めになっていた, 大佐渡スカイラインが, おおよそ5箇月ぶりに再開される。同スカイラインは, 昨年11月25日から降雪による通行止め措置がとられており, 県相川土木事務所などでは, 3月23日から除雪作業を進めていた。前年より11日早い開通となる。定期観光バスも再開される。                                                                                               |
| 4.16<br>春山情報      | 長野県<br>新. 4. 17-26             | 県警は春山情報を発表, 県内の山岳は積雪が不安定で, 雪崩やスリップ(滑落)に注意をして欲しいと, 登山者に注意を呼び掛けている。同情報によると, 北アルプスの沢筋の残雪は, 槍ヶ岳, 穂高連峰で3~8m, 後立山連峰で5~10mと平年並み。しかし, 2月の気温の上昇で, アイスバーン状になった上に1~2mの新雪が積もっており, 表層雪崩の起きやすい状態で, 沢筋のルートは十分な注意が必要。また, 稜線でも槍ヶ岳や穂高岳で1~4mの雪底が張り出しており, 慎重な行動が必要だと云う。 |
| 4.17<br>一般公開      | 長岡市栖吉町<br>新. 4. 18-19          | 国立防災科学技術センター雪害実験研究所(中村勉所長)は, 第28回科学技術週間にちなんで, 豊かな発想と明るい雪国をテーマに, 積雪測定具や実験研究施設などを一般公開し, 雪の相談コーナーでは, さまざまな雪問題の相談を受けた。                                                                                                                                  |
| 4.19<br>山スキー      | 南魚沼郡湯沢町土樽<br>新. 4. 20-19       | 13時半ごろ, 平標山(標高1,983m)で, 山スキーをしていた男性(19才)が, 立ち木に衝突, 頭部に重傷を負って動けなくなっていると, 同行者が夕方, 六日町署に救助を求めて来た。同署では県警ヘリコプターの出動要請をするなどして, 20日の                                                                                                                        |

| 発生年月日<br>(事 項)         | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1987.4.19<br>登山者<br>滑落 | 山梨県富士吉田市<br>新. 4. 20-18                      | 夜明けをまって救助に向かう予定。<br>6時ごろ、富士山8合目付近から、男性(40才)が約200m滑落、頭を強く打って死亡した。富士吉田署の調べによると、登山道がアイスバーン状だったため、男性が誤って足を滑らせたのが原因。                                                                                                                                                |
| 5.1<br>山菜採り<br>転落      | 南魚沼郡大和町五箇<br>新. 5. 2-19                      | 12時ごろ、通称十二沢で、山菜採りの男性(63才)が、誤って足を滑らせて10m下の沢の残雪の上に転落、右足を骨折するなどの重傷を負った。                                                                                                                                                                                           |
| 5.2<br>山菜採り<br>転落      | 小千谷市外之沢<br>朝. 5. 2-21                        | 8時半ごろ、山林で山菜採りをしていた男性(60才)が、誤って5m下の沢に転落、頭の骨が折れるなどの3箇月の大けがをした。                                                                                                                                                                                                   |
| 5.2<br>登山者<br>遭難       | 北海道宗谷管内<br>利尻島<br>毎. 5. 6ター-15<br>読. 5. 8-27 | 2日、利尻山(標高1,718m)に登った学生2人(男性、22才、23才)が、下山予定を3日過ぎても戻らず、道警稚内署などが、6日朝から搜索を始めた。<br>2人は7日、13時過ぎ山頂付近で、遺体で搜索隊員に発見された。                                                                                                                                                  |
| 5.3<br>登山者<br>滑落       | 北蒲原郡笹神村<br>毎. 5. 5-17                        | 早朝、五頭山へ登ったまま行方不明になっていた男性(62才)を、4日9時45分ごろ、搜索中の県警ヘリコプターが、北西側の稜線で、手を振って合図している男性を発見、無事救助した。男性は沢に滑り落ちて、背中に軽いけがをしていたが元気であった。                                                                                                                                         |
| 5.3<br>スキー場<br>遭難      | 山形県米沢市関<br>新. 5. 5-18                        | 西吾妻連峰の天元台国際スキー場で、夫妻(54才、54才)が、スキーに出掛けたまま、夜になってもホテルに戻らず行方不明になった。県警米沢署と地元山岳会など40人の搜索隊が、スキー場一帯を搜索したところ、4日15時ごろ、同スキー場西の若女平付近で、うつぶせになって死んでいる妻を発見、16時40分ごろ北へ約300mの山中で座り込んでいる夫を見つけた。夫は市内の病院に収容され、やや衰弱しているものの、生命に別状はなかった。3日の天元台は、午後から濃い霧と強風に見舞われ、夜には雪混じりの雨が降る最悪の天候だった。 |
| 5.4<br>登山者<br>滑落       | 長野県<br>新. 5. 5-19                            | 8時ごろ、北アルプスの奥穂高岳(標高3,190m)と前穂高岳(標高3,090m)の中間の稜線から、男性(33才)が扇状に滑落した。生死は不明。                                                                                                                                                                                        |
| 5.4<br>登山者<br>転落       | 長野県<br>新. 5. 5-19                            | 9時ごろ、北アルプスの槍ヶ岳(標高3,180m)の北鎌尾根P5付近で、男性(24才)が千丈沢に、約400m転落して死亡した。午後、民間のヘリコプターで、遺体を大町市内へ収容した。                                                                                                                                                                      |
| 5.4<br>登山者<br>滑落       | 長野県<br>新. 5. 5-19                            | 14時半ごろ、前穂高岳(標高3,090m)から重太郎新道を下山中の6人パーティーの3人のうち男性(25才)1人が、雪渓でスリップして、約50m滑落して重傷を負った。                                                                                                                                                                             |
| 5.4<br>登山者             | 岐阜県古城郡上宝村<br>毎. 5. 5-23                      | 13時20分ごろ、北アルプスの奥穂高岳(標高3,190m)の鎖場で、男性(35才)が、誤って約400m下に転落して死亡した。                                                                                                                                                                                                 |
| 5.10                   | 南魚沼郡六日町                                      | 8時45分ごろ、住宅裏の10m程の斜面が幅10m、長さ30m、                                                                                                                                                                                                                                |

| 発生年月日<br>(事 項)             | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)       | 記 事 の 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 土砂崩れ<br>避難勧告               | 小栗山<br>新 . 5 . 11-19         | 高さ 6 m に渡って崩れたため, 同住宅など 4 世帯に避難勧告が出された. 六日町署の調べによると, 土砂崩れは 13 時半過ぎにおさまり, 避難勧告は解除された. 土砂崩れの原因となった用水路は, 老朽化が進んだため, 5 年前から改修工事を始めたが, 今回の現場は, まだ本格的な工事が行われていなかった.                                                                                                                                                                                                      |
| 1987 . 5 . 17<br>登山者<br>滑落 | 群馬県利根郡水上町<br>朝 . 5 . 18 夕-12 | 13 時ごろ, 谷川岳の西黒沢で男性 (39 才) が, 雪渓で足を滑らせて約 100 m 滑落, 頭を強く打って 2 週間のけがをした. 同行していた男性 (62 才) が, 行方不明になった. 谷川岳登山センターの調べによると, 2 人は同岳の天神尾根を下山中, 道を間違えて西黒沢に入った. 当時は雨で視界が悪く, 積雪も約 1 m あり, 不明の男性は, 誤って沢に転落した恐れもあると見ている.                                                                                                                                                         |
| 5 . 19<br>登山者<br>滑落        | 富山県<br>中 . 5 . 19 夕-3        | 6 時半ごろ, 北アルプスの別山 (標高 2,750 m) 頂上付近で, 雪渓を横断中の男性 (40 才) が約 300 m 滑落, 全身を強く打って死亡した. 県警山岳警備隊の調べによると, 男性はピッケルとアイゼンを使っていたが, 雪が凍結状態だったために, 足を滑らせたらしい.                                                                                                                                                                                                                     |
| 5 . 26<br>山菜採り             | 糸魚川市山本<br>新 . 5 . 27-19      | 11 時ごろ, 集落近くの裏山の山道で, 老女 (71 才) が死んでいるのを作業中の人が発見して, 糸魚川署に届け出た. 同署の調べによると, 老女は 8 時ごろワラビ採りに出掛けており, 誤って足を滑らせ, 高さ 30 m のガケから落ちたらしい.                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5 . 26<br>土砂崩れ<br>規制       | 両津市浦川<br>新 . 5 . 27-19       | 昼過ぎ, 主要地方道両津～鷺崎～佐和田線の一部が崩落しているのを, 通行者が発見, 県相川土木事務所などに届け出た. 同事務所で調べたところ, 幅員 4.5 m の道路が幅 2.2 m, 長さ 10 m に渡って約 18 m 下の海に樹木もろとも崩落していた. このため, 大型車は全面通行止め, 普通車も 18 時から翌朝 6 時まで, 通行止めになった. 崩落の原因について同事務所では, 地下水が浸透しているところへ, 23 日からの雨で地盤が緩んだためと見ている. また, 復旧の見通しについて, 現場を見た同事務所の道路維持管理課長は, 数箇月かかりそうと云っている. この道路は, 海府地区の生活道路として欠かせないだけでなく, 景勝地外海府周遊コースだけに, 観光シーズンを控えて打撃は大きい. |
| 5 . 27<br>山菜採り<br>滑落       | 北魚沼郡守門村高倉<br>新 . 5 . 28-23   | 18 時過ぎ, 守門岳ふもとの本高地沢で, 早朝 1 人でゼンマイ採りに出掛け, 行方不明になっていた男性 (59 才) が死んでいるのを, 捜していた家族らが見つけ, 県警小出署に届け出た. 同署の調べによると, 男性は沢の入り口から 200 m 程入った, 急斜面を 20 m 程滑り落ちたらしい.                                                                                                                                                                                                            |
| 5 . 27<br>落雷<br>停電         | 新発田市新富町<br>朝 . 5 . 29-19     | 22 時 31 分ごろ, 東北電力 (株) 北新発田変電所に落雷. 新発田市の大手町 3 丁目から 6 丁目や中央町 5 丁目, 緑町, 豊町, 米倉, 川東地区の他, 北蒲原郡紫雲寺町や加治川村の一部など, 合計 6,500 戸が約 50 分～1 時間 20 分に渡って停電した.                                                                                                                                                                                                                      |
| 5 . 27<br>山菜採り             | 山形県西置賜郡<br>小国町小玉川            | 午前, 26 日午前 6 時過ぎ, 山菜採りに出掛けたまま行方不明になっていた男性 (72 才) が, 沢で倒れているのを, 捜索隊が                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 発生年月日<br>(事 項) | 場所・機関等<br>(新聞名, 月日, 頁)                                | 記 事 の 内 容                                                                                                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5.31<br>規制     | <p>新 . 5 . 28-21</p> <p>両津市浦川</p> <p>新 . 6 . 1-18</p> | <p>発見した。男性は病院に収容されたが、13時半ごろ衰弱による心不全で死亡した。</p> <p>26日、一部崩落した主要地方道両津～鷺崎～佐和田線の、仮復旧工事が30日迄に終わり、31日11時から大型車を含む車の通行が可能となった。但し、バスは中型までで、大型バスは通行止めになっている。</p> |